



このたびは、TOA ネットワークオーディオアダプターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 正しくご使用いただくために、必ずこの設置・設定説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い 申し上げます。

## 第1章 システム概要

概	要	1-2
特	長	1-2
各音	<sup>第</sup> の名称とはたらき <sup>前面</sup>	1-3 1-3
Ĩ	後面	1-4
設定	定作業の流れ	1-5

## 第2章 設置と接続

接続のしかた	
電源の接続	
端子の接続	
着脱式ターミナルプラグの接続のしかた	
設置のしかた	
ラックに取り付けるとき	
壁に取り付けるとき	
卓上に置くとき	
設定の前に	
MAC アドレスと設置場所	
入力レベルの調節	

## 第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定

概 要	
NX-300 検出ソフトウェアと NX-300 設定ソフトウェ	· 7 <sup>,</sup>
ネットワークの設定について	
設定ファイルのバックアップについて	
設定更新時のご注意	
ソフトウェアをインストールする	
システムの条件	
ダウンロードのしかた	
必須コンポーネントをインストールする	
NX-300 ソフトウェアをインストールする	
NX-300 ソフトウェアをアンインストールするとき	
フォルダーの構成	

ソフトウェアの構成と設定項目	
設定手順	
NX-300 検出ソフトウェアを起動する	
NX-300 検出ソフトウェアの起動のしかた	
メニュー	
ボタン	
機器を検出する	
画面の説明	
ネットワークに関する機器の設定値を変更する	
機器検出一覧データを保存する	
NX-300 設定ソフトウェアを起動する	
システム編集画面からの操作	
システムを新規に作成するとき	
登録済みのシステムを編集するとき	
登録済みのシステムを削除する	
設定編集画面	
画面の説明	
メニュー	
システム構成の設定をする	
機器検出結果の情報を取り込むとき	
機器リストに機器を追加するとき	
機器リストから機器を削除するとき	
システム全般の設定をする	
ネットワークを設定する	
外部サーバーを設定する(NX-300 のみ)	
放送スペックを設定する	
パターンの設定をする	
パターン設定の概要	
放送パターンを設定する	
接点ブリッジパターンを設定する	
制御パターンを設定する	
制御入力を設定する	
NX-300 の場合	
NX-100/100S の場合	
制御出力を設定する	
シリアルブリッジを設定する(NX-100 のみ)	

音源ファイルを設定する	3-65
音源ファイルをアップロードする	
音源ファイルを削除する	
設定編集画面のメニューからの操作	3-68
松宏設定ファイルを保存する	3-68
システム名・パスワードを変更するとき	3-68
システムのパスワードを変更するとき	
機器設定ファイルをアップロードする	
機器設定ファイルをダウンロードする	
パソコンの時刻をアップロードする	
ネットワーク項目を編集できないようにする	
TOA 商品データダウンロードサイトにアクセスする	
NX-300 設定ソフトウェアのバージョンを確認する	
システム設定例	2 72
ンハノム以上に	
システム191	3-/3

ンステム例	3-73
駅構内にアナウンスを放送するとき	3-74
駅構内に発車メロディーを放送するとき	3-78
パソコンを使って駅構内に発車メロディーを放送するとき	3-82
発車メロディーの放送中にマイクから緊急放送をするとき	3-85
夜間の放送音量を下げるとき	3-89

## 第4章 ブラウザーによる設定と管理

ブラウザーでの設定について	
設定メニュー画面を表示させる	
メニュー項目	
ネットワーク設定	
音源ファイル管理	
ファイルー覧から音源ファイルを削除する	
音源ファイルをすべて削除する	
ログ管理	
動作ログ	
ストリームログ	
ログ保存	
動作状況	4-17
システム管理	
システム名とパスワードを変更する	
機器設定ファイルをアップロードする	
機器設定ファイルをダウンロードする	

すべての機器設定を工場出荷時の状態にする	4-25
ファームウェアを更新する	4-26
時刻を設定する	4-27
設定変更を反映させる(機器再起動)	4-27
設定変更を反映させる(機器再起動)	4-27

## 第5章 NX-300 操作ソフトウェアを使用するときの設定

NX-300 操作ソフトウェアの概要	
起動のしかたと初期画面	5-2
操作画面の説明	
ボタン画面	
ステータス画面	
詳細画面	5-8
操作画面のメニュー	5-10
NX-300 操作ソフトウェアでの設定手順	
ボタンの設定をする	
個別選択ボタンを作成する	5-12
一括選択ボタンを作成する	5-15
作成したボタンを削除する	5-18
各種設定をする	5-20
管理者用パスワードを設定する	5-20
NX-300 操作ソフトウェアのタイトルを変更する	5-22
エラーメッセージ	

## 第6章 付 録

解 説	
IP ネットワークとアドレス	
ネットワークアドレスポート変換(NAPT)	
ブロードキャストと機器検出	
マルチキャストと複数同時放送	
接点ブリッジ動作の詳細	
最大放送先	
優先度	
1 つの音源を複数のチャンネルに入力するとき	
動作ログの取得について	
入力レベル調節器を出力レベル調節器に変更するとき	6-12
表示灯の状態と異常時の対処のしかた	

レベルダイヤグラム	3-15
ブロック図	3-15
レベルダイヤグラム	3-15
音声入力のレベル設定値と調節について	3-16
故障かな?と思ったら	3-17
仕 様	3-19
付属品	3-20
別売品	3-20

第1章

システム概要

# 概要

本機は、LAN やインターネットなどの IP ネットワークを用いて、高品質な音声信号をリアルタイムに伝送で きる機器です。

[音声信号の流れイメージ図]



特 長

- ●遠隔地への伝送には専用線だけでなく、専用線に比べ通信ランニングコストの低いインターネットも使用できます。
- ●ネットワークの遅延がない最適な条件では、20 ms 程度の少ない遅延で音声信号を伝送できます。
- ●制御入出力端子の制御情報が伝送できます。
- 音声入力2チャンネル、音声出力2チャンネルを備え、モノラル音源放送ができます。
- ●同時に双方向の音声信号を伝送できます。
- ●内蔵メモリーに保存した音源ファイルを使った放送ができます。
- ●同時に複数カ所(1 チャンネルあたりユニキャスト\*1 16 カ所、マルチキャスト\*2 64 カ所)へ音声信号を伝送できます。
- ●インターネットなどの混雑したネットワークを経由しても伝送できます。
- 音声入出力、ネットワーク、制御入力(1系統のみ)を常に監視し、動作不良や障害が発生した場合は表示灯 や制御出力で知らせる故障検知機能があります。
- ソフトウェアを使って、パソコンからシステム全体の操作や管理ができます。
- SD カード(市販品)に動作ログを保存することができます。
- ●本機の制御入力を使って音声伝送の開始・終了ができるので、パソコンなしでもシステムを組むことができます。
- AC アダプター (別売品)だけでなく、DC 電源でも動作します。
- \*1 宛先ごとに音声データを作成して送信する1対1の通信方式です。
- \*<sup>2</sup> 1 つの音声データを複数の宛先に同時に送信する通信方式です。

各部の名称とはたらき

[前面]



- INPUT表示灯 [INPUT 1、2] (緑色/赤色) 音声入力端子(21)に入った信号が、入力レベル 調節器で調節され、ネットワークに送出できる 十分なレベルとなっているときに緑色に点灯し ます。この表示灯が赤色に点灯する場合は、音 声信号にひずみが発生しています。 入力レベル調節器(2)または機器設定用 DIP ス イッチ(22)のスイッチ5、6(音声入力 PAD 設定 スイッチ)を適切に設定してください。
- 2. 入力レベル調節器 [VOLUME 1、2] 下図のように、保護カバーを下向きに外して音 声入力レベルを調節します。右に回すとレベル が大きくなり、左に回すと小さくなります。 INPUT表示灯(1)が緑色に点灯し、赤色に点灯 しないように調節してください。 入力レベルの調節については、P. 2-11「入力レ ベルの調節」をお読みください。



#### ご注意

保護カバーは、本機からは取り外せません。

- OUTPUT 表示灯 [OUTPUT 1、2] (緑色) 音声出力端子から出る信号が、十分なレベルと なっているときに点灯します。
- LNK/ACT 表示灯(緑色)
   本機がネットワークに接続されると点灯し、デー タを送受信中は点滅します。

- 5. BUSY 表示灯(緑色) 内蔵メモリーや SD カードへのデータ読み書き 中に点滅します。 放送中に優先度が低い他の放送が入り放送でき なかったときは、1 秒間点灯後、消灯します。
- STATUS 表示灯(緑色) 放送中に点灯します。
- **7. ERROR 表示灯(黄色)** 故障時や通信などのエラー発生時に点滅または 点灯します。
- RUN 表示灯(緑色) 本機が正常なときは点滅し、異常発生時は点灯 または消灯します。
- 9. SD カード挿入口 [SD CARD] 下図のように、保護カバーを下向きに外して、 SD カードのラベル面を上にし、奥まで挿入して ください。



#### ご注意

保護カバーは、本機からは取り外せません。

- MAC アドレス
   本機の MAC アドレスです。
   (ハイフン)区切りの 12 桁の英数字です。
- **11. RESET ボタン** 押すと、機器が再起動します。



- **12. SIGNAL GND 端子**[SIGNAL GND] SIGNAL GND 端子を必ず接地してください。 ※ 安全アースではありません。
- **13. DC 電源入力端子**[DC INPUT] 電源は DC24 V です。
- **14. 電源入力端子[AC ADAPTER]** 別売の AC アダプター AD-246 を接続します。
- **15. ネットワーク接続端子[LAN]** 10BASE-Tまたは 100BASE-TX に対応したネッ トワークに接続します。(イーサネット RJ-45 ジャック)
- 16. 制御出力端子 [CONTROL OUTPUT 9、
   10]
   リレー接点出力(耐電圧: DC30 V、制御電流: 最大 0.5 A)です。
- **17. 制御出力端子** [CONTROL OUTPUT 1~8] オープンコレクター出力(耐電圧:DC30 V、制 御電流:最大 50 mA)です。
- 18. 音声出力端子 [AUDIO OUTPUT 1、2]
   0 dB\*、600 Ω以下、平衡型。
   ラインレベルの音声信号を出力します。
   H:ホット、C:コールド、E:アース(シールド)
- コードクランプ AC アダプターのプラグが抜け落ちないようにす るために、コードを挟み込んで固定します。
- 20. 制御入力端子 [CONTROL INPUT 1~8] 無電圧メイク接点入力(短絡電流:2 mA以下、 開放電圧:24 V)です。

21. 音声入力端子 [AUDIO INPUT 1、2] ラインレベル設定時-20 dB\*、マイクレベル設 定時-60 dB\*、2 kΩ、平衡型/不平衡型切り換 え可。マイクまたはラインレベルの音声信号を 入力します。 H:ホット、C:コールド、E:アース(シールド) **22. 機器設定用 DIP スイッチ** 音声入力を設定するときに使用します。

[DIP スイッチ出荷時設定]



 スイッチ1 グランドリフト切換スイッチ [NORMAL/ GND LIFT]
 本機を他の機器と接続したとき、アースがルー プをつくり雑音(ハム)を生じることがありま す。GND LIFT (下側)にすることで、そのアー スループを切ることができます。
 音声入力1、音声入力2共通の設定です。
 工場出荷時は、NORMAL (上側)に設定されています。

- スイッチ2~4 使用しません。
   工場出荷時は OFF(下側)に設定されています。
   常時 OFF(下側)で使用してください。
- スイッチ5、6 音声入力 PAD 設定スイッチ [ON/OFF]
   音声入力 PAD (-16 dB)の ON/OFF を設定で きます。入力レベルが大きい場合、PAD を ON (上側)にします。
   工場出荷時は OFF(下側)に設定されています。
   スイッチ5 (PAD 1)は音声入力 1、スイッチ6 (PAD 2)は音声入力 2 に対応します。
- スイッチ7、8
   音声入力レベル切換スイッチ [LINE/MIC]
   マイク接続時は MIC (上側)に、その他の場合は
   LINE (下側)に設定します。
   工場出荷時は、LINE (下側)に設定されています。
   スイッチ7 (MIC 1)は音声入力1、スイッチ8
   (MIC 2)は音声入力2に対応します。

\* 0 dB = 1 V

# 設定作業の流れ ①機器の設置・接続 第2章「設置と接続」をお読みください。 ② ソフトウェアのインストール NX-300 設定ソフトウェア、NX-300 検出ソフトウェア、NX-300 操作ソフトウェアをパソコンにイン ストールします。 ●NX-300 設定ソフトウェアとは、ネットワーク上に接続した複数台のNX-300の設定を統合的に行う ソフトウェアです。 ●NX-300 検出ソフトウェアとは、ネットワーク上の NX-300 を検出し、ネットワーク設定を変更する ソフトウェアです。 ●NX-300 操作ソフトウェアとは、放送を起動するなど、パソコンから NX-300 を操作するためのソフ トウェアです。 ※ インストールのしかたは、P. 3-3「ソフトウェアをインストールする」をお読みください。 ③ システムの設定 NX-300 設定ソフトウェア、NX-300 検出ソフトウェアを使用して設定を行います。 NX-300 検出ソフトウェアでローカルネットワークに接続された NX-300 を自動検出し、NX-300 設定 ソフトウェアでシステム全体の設定、管理ができます。

※ 設定のしかたは、第3章「NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定」をお読みください。

# ④ 操作に関する設定

パソコンから放送するには NX-300 操作ソフトウェアが必要です。

NX-300 操作ソフトウェアは、「③ システムの設定」で作成した設定データを使用して設定を行います。 ※ 設定のしかたは、第5章「NX-300 操作ソフトウェアを使用するときの設定」をお読みください。



# 設置と接続

# / 接続のしかた



#### ● DC24 V 電源を使用する場合

本機の DC 電源入力端子 (DC INPUT) に DC24 V 電源を接続します。



#### ご注意

- ●本機の SIGNAL GND 端子は必ず接続してください。
- DC 電源は 400 mA 以上のものを用意してください。
- DC 電源入力端子への入力電圧範囲は、DC21.6 ~ DC26.4 V です。範囲外の電圧を入力すると、誤動作または故障の原因 となることがあります。
- コネクターへの結線は、P. 2-7「着脱式ターミナルプラグの 接続のしかた」をお読みください。
- AC アダプター AD-246 (別売品)を使用する場合

本機の電源入力端子に別売の AC アダプター AD-246 を接続します。 コードをコードクランプに挟み込み、固定してください。



ご注意

本機の SIGNAL GND 端子は必ず接地してください。

メモ

本端子とDC電源入力端子の両方に電源供給すると 電圧の高いほうから電源が供給されます。



## ■ 端子の接続

#### ● ネットワークの接続

本機は 10BASE-T/100BASE-TX のネットワークに自動判別で接続できます。 この接続には、RJ-45 コネクター付き UTP カテゴリー 5 規格以上のストレートケーブルを使用してください。



● 音声入出力端子の接続

※ 音声入力端子、音声出力端子のコネクターへの結線は、P. 2-7「着脱式ターミナルプラグの接続のしかた」 をお読みください。



[同一音源を複数のチャンネルに入力するとき]

本機の音声入力にチャンネルや機器間で同じ音源を使用したい場合は、スルーアウト機能\*を使用して図の ように接続します。

以下のような場合に、この接続が必要です。

●1 チャンネルあたりの最大放送可能数より多くの放送先へ放送する場合

- 同一音源で複数の放送パターンを使用する場合
- \* 音声入力と同じ音声信号を音声出力から常時出力する機能です。 図の接続は一例です。スルーアウト機能については、P. 6-10「1 つの音源を複数のチャンネルに入力するとき」をお読 みください。



#### ご注意

本機の入力設定により1チャンネル通過あたりの減衰量が変わりますので、複数台接続時には注意してくだ さい。

- ●不平衡入力設定の場合: 0 dB
- 平衡入力設定の場合 : -2 dB

#### ● 制御入力端子と制御出力端子の接続

他機の制御入力端子、制御出力端子を各2本の制御線で接続します。

#### ご注意

他機の制御入力端子には、本機の制御線のみ接続してください。 他の機器からの制御線と並列に接続すると、本機の誤動作の原因となります。



<sup>※</sup>制御入力端子、制御出力端子のコネクターへの結線は、P. 2-7「着脱式ターミナルプラグの接続のしかた」 をお読みください。

#### [故障検知をするときの制御入力の接続]

制御入力端子8のみ、外部制御出力機器との配線に故障がないか検知する機能を設定することができます。 故障検知を行う配線には、下図のとおり、抵抗を挿入してください。

※制御入力端子に故障検知機能を設定する方法については、P. 3-56「制御入力を設定する」をお読みください。

#### ご注意

- ●抵抗は必ず下図のとおり接続してください。
   抵抗を接続しなかった場合や規定の抵抗値と異なる抵抗を使用した場合は、故障検知機能が正しく働きません。
- ●安定した動作保証のため、故障検知を行う配線は制御入力端子1~7とは別の独立した配線で、ケーブル 長を10m以内にし、ツイストペアケーブル(シールド付き)を使用することを推奨します。
- ケーブルのシールド線は、本機の SIGNAL GND 端子に接続してください。



\*制御入力の故障検知は、制御入力端子8のみ対応しています。

■ 着脱式ターミナルプラグの接続のしかた

- 1 着脱式ターミナルプラグに線材を接続する。
- 1-1 端子ねじをゆるめて、線材を差し込む。
- 1-2 端子ねじをしっかりと締め付ける。 線材を引っ張って抜けないことを確認してください。 抜けたら、端子ねじをゆるめてやり直してください。
- **2** ターミナルプラグを機器側のターミナルブロック に差し込む。
- 〇(電源入力端子のみ)固定ねじを締め付ける。

#### ご注意

- ●手順の1と2を逆にしないでください。端子ねじを締め付けるときに、内部基板のコネクターピンに力が加わり、接触不良になるおそれがあります。
- ターミナルプラグを抜くときは、まっすぐ引き抜いてください。斜め方向に無理に引き抜くと、ターミナルプラグまたはターミナルブロックの破損の原因となります。

メモ

●接続電線サイズ

	電源入力端子	その他の端子
導体断面積	0.2~2.5 mm <sup>2</sup>	0.14~1.5 mm <sup>2</sup>
AWG	AWG24~12 相当	AWG28~16 相当

● 線材のむきしろ

[単線、より線] 7 mm \*2 ↓ ↓



\*2 絶縁スリーブ付き棒端子を使用する場合 は8 mm以上とし、はみ出た分はカットして ください。 ご注意

より線、シールド線を使用するときは、むきしろ部 分にはんだめっきをしないでください。 線材を締め付けたときに、はんだスズが破砕し接触 抵抗が高くなるため、接続部の温度が異常に上昇す ることがあります。

●1つの端子に2本の線材を接続する場合や信号線を接続する場合などに、心線 がばらけるのを防ぐためには、絶縁スリーブ付き棒端子で圧着してください。

推奨棒端子:電源線以外の線用(フェニックス・コンタクト製)

	品番	а	b	1	2
1	AI 0,34-8 TQ	2 mm	0.8 mm	12.5 mm	8 mm
2	AI 0,5-8 WH	2.5 mm	1.1 mm	14 mm	8 mm

推奨棒端子:電源線用(フェニックス・コンタクト製)

	品番	а	aı	<b>a</b> 2	b	lı	12
3	AI 1,5-8 BK	3.4 mm			1.8 mm	14 mm	8 mm
(4)	AI-TWIN 2 x 1,5-8 BK		6.6 mm	3.6 mm	2.3 mm	16 mm	8 mm

かしめ工具:CRIMPFOX 10S(フェニックス・コンタクト製)







# / 設置のしかた

## ■ ラックに取り付けるとき

ラックに取り付けるときは別売の金具セットを使用してください。

#### ●1台をラックマウントする場合

ラックに1台取り付けるときは、別売金具 MB-15B-BK を使用します。



#### ●2台をラックマウントする場合

ラックに2台取り付けるときは、別売金具 MB-15B-J を使用します。

#### ご注意

本機は、MB-15B-Jで他の機器と連結してラックマウントすることはできません。



## ■ 壁に取り付けるとき

# **1** 別売の壁取付金具 YC-850 を本機に取り付ける。





#### ご注意

- 壁面の材質に応じた取付ねじを使用してください。
- 壁取付金具 YC-850 には木ねじ 3.5 × 20 が付属されています。



## ■ 卓上に置くとき

卓上に置いて使用するときは、付属のプラスチック足を本機の底面に取り付けてください。



# 設定の前に

## ■MAC アドレスと設置場所

機器の設置場所と MAC アドレス\*の対応は、機器のネットワーク属性を設定するときに必要です。 設置時に記録して、後から分かるようにしてください。

\* ネットワーク機器につけられた機器固有のアドレスで、- (ハイフン)区切りの 12 桁の英数字です。



## ■ 入力レベルの調節

入力レベル調節器(VOLUME)で、音声入力レベルを調節します。 図のように右に回すとレベルが大きくなり、左に回すとレベルが小さくなります。INPUT 表示灯が緑色に点 灯し、赤色に点灯しないように調節してください。

#### ご注意

入力レベル調節器のボリュームを回すときは、適切なドライバーを使用し、強く押し込まないで、回してく ださい。ボリュームを強く押し込むと破損の原因となります。



第3章

# NX-300 設定ソフトウェアに よるシステムの設定

# 概要

## ■ NX-300 検出ソフトウェアと NX-300 設定ソフトウェア

#### NX-300 検出ソフトウェアとは

このソフトウェアは、ローカルネットワーク上に接続されている NX-300 を検出し、ネットワークの設定を 行います。NX-300 と同様に NX-100 および NX-100S を検出することができます。

#### NX-300 設定ソフトウェアとは

このソフトウェアは、ローカルネットワーク上の NX-300 を設定するソフトウェアです。 主な特長は次のとおりです。

- 複数の NX-300 に対して設定を行い、同時に設定ファイルのアップロードができます。
- ●複数のシステムの設定ファイルを扱うことができます。

#### ● 設定できる機器

NX-300 設定ソフトウェアを使用して、NX-300 と同様に NX-100 および NX-100S を設定することができます。 これにより NX-300 と NX-100 および NX-100S が混在するシステム構成でも、NX-300 設定ソフトウェアの みを使用して設定できます。

本書では NX-300 の設定を基本に説明します。

画面の表示内容が異なる場合、または、機種により画面が表示されない場合は、場合分けをして説明します。 設定できない項目は、画面上ではグレーで表示されます。

## ■ ネットワークの設定について

NX-300、NX-100 および NX-100S やパソコンのネットワーク設定は、本機を設置している施設のネットワー ク管理者の指示に従って、あらかじめ行ってください。 誤った設定をすると、同じネットワークに接続されている他の機器に影響を与えるおそれがあります。

## | 設定ファイルのバックアップについて

設定内容は、保存するとNX-300 設定ソフトウェアのデータフォルダーに保存されます。 パソコン内の別の場所または外部記憶媒体にバックアップしておくと、万一、NX-300、パソコンが故障した ときでも、復旧が容易です。バックアップしておくことをおすすめします。 バックアップするときは、NX-300 設定ソフトウェアのデータフォルダーをコピーしてください。

#### ご注意

設定変更をしたときは、バックアップファイルも必ず更新してください。

### | 設定更新時のご注意

設定内容の更新中\*は、絶対に NX-300、NX-100 および NX-100S を再起動したり、電源を切ったりしないで ください。

\* 更新中は、NX-300 前面の BUSY 表示灯、NX-100 および NX-100S の STATUS 表示灯が点滅します。

# ソフトウェアをインストールする

NX-300 ソフトウェアをインストールすることで、NX-300 検出ソフトウェア、NX-300 設定ソフトウェア、 および NX-300 操作ソフトウェア\* がインストールされます。

\* NX-300 をパソコンから操作するためのソフトウェアです。詳しくは、第5章「NX-300 操作ソフトウェアを使用する ときの設定」をお読みください。

## ■ システムの条件

NX-300 ソフトウェアを正常に動作させるために、パソコンは以下の条件を推奨します。

OS	<ul> <li>Windows 7 Home Premium、Windows 7 Professional、Windows 8.1、</li> <li>Windows 8.1 Pro、Windows 10 Home、Windows 10 Pro</li> </ul>
必須コンポーネン	ト:Microsoft .NET Framework 4.5.2(Windows 7、Windows 8.1 の場合)
CPU	:1 GHz 以上
RAM	:1 GB 以上(32 ビット)または 2 GB 以上(64 ビット)

※ Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 ※ その他の会社名および製品名も各社の商標です。

## ■ ダウンロードのしかた

本機に関する次のものは、TOA 商品データダウンロードサイト(https://www.toa-products.com/)から最新の ものをダウンロードしてお使いください。 購入後、初めて設置・設定、操作を行う際には、必ずダウンロードしてください。 そのほか、写真、仕様、姿図、ファームウェアも上記サイトからダウンロードできます。

●NX-300 ソフトウェア(本機をパソコンで使用するための専用ソフトウェア)

- ・NX-300 設定ソフトウェア
- ・NX-300 検出ソフトウェア
- ・NX-300 操作ソフトウェア
- ●設置・設定説明書(本書)
- 操作説明書

[バージョンアップ情報]

- ●ファームウェアのバージョン確認および更新は、パソコンからブラウザーを使用して行います。( II ☎ P. 4-19「システム管理」)
- ソフトウェアのバージョンはヘルプメニューから確認できます。

## ■ 必須コンポーネントをインストールする

NX-300 ソフトウェアを動作させるためには、以下のコンポーネントが必要です。

- ・Microsoft .NET Framework 4.5.2 以降\*
- \* Windows 10 の場合は、このコンポーネントのインストールは必要ありません。

#### ご注意

Microsoft .NET Framework 4.5.2 がインストールされていない場合は、インターネットへ接続し、Microsoft Corporation のダウンロードセンターからダウンロードしてインストールしてください。

## ■ NX-300 ソフトウェアをインストールする

1 TOA 商品データダウンロードサイトからダウンロードした zip ファイルを解凍して、「setup. exe」ファイルをダブルクリックする。

インストーラーが起動します。



2 [次へ] ボタンをクリックする。

ライセンス条項の確認画面が表示されます。

· 影 NX-300ソフトウェア	- • •
ライセンス条項	
ライセンス条項をお読みください。以下の条件に同意される場合はに同意する らじなへ」をクリックしてください。その他の場合は「キャンセル」をクリックして	]をクリックしてか ください。
レフトウェア使用許諾契約書 本使用時語契約書(は人下「本契約書)「本契約」)は、TOA 株式会社(以下 トウェア及び付属するマニュアル等の印刷物、電子的なドキュント(以下 フトウェア」)に聞して、お客様(個人または団(す)とTOA との間で締結され 書です。 本ソフトウェアをインストール、複製または使用することによって、お客補 条項「可意されたものとします。本契約書の条項に同意されない場合、T 本ソフトウェアのインストール、複製または使用のいずれも許諾すること	▲ 「TTOA」)製ソフ まとめて「本ソ ふ法かな契約 は本契約書の OA はお客様に まできません。 ▼
<ul> <li>         ・回意しない(D)          ・の意する(A)      </li> <li>         ・キャンセル      <li>         く戻る(B)         </li> </li></ul>	(大へ(N))>

- 3 ライセンス条項を読み、「同意する」を選択 してから [次へ] ボタンをクリックする。
  - ※「同意しない」を選択し、[キャンセル] ボタ ンをクリックすると、インストールせずに終 了します。

#### 第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定

インストール先の選択画面が表示されます。

4 インストール先の変更が必要な場合は、フォ ルダーを選択する。
表示されているものとは異なるフォルダーにインストールしたい場合は、[参照] ボタンまたは [ディスク領域] ボタンをクリックして、フォル ダーを選択してください。

5 [次へ] ボタンをクリックする。

インストール準備完了画面が表示されます。

岗NX-300ソフトウェア	- • ×
インストール フォルダーの選択	<b>_</b>
インストーラーは次のフォルダーへ NX-800ソフトウェア をインストール このフォルダーにインストールするには〔次へ〕をクリックしてください。別ル トールするには、アドレスを入力するか【参照】をクリックしてください。 ー	ます。 のフォルダーにインス
フォルダー(E):  C#Program Files#TOA¥NX~300¥	参照(R) ディスク領域(D)
NX-300ソフトウェア を現在のユーザー用か、またはすべてのユーザー用にイン ② すべてのユーザー(E) ④ このユーザーのみ(M)	<sup>1,2,1-,1,1,3,4</sup>
キャンセル < 戻る(B)	次へ(N) >

湯NX-300ソフトウェア	- • •
インストールの確認	5
NX-300ソフトウェア をインストールする準備ができました。	
[)太へ]をクリックしてインストールを開始してください。	
	6
キャンセル < 戻る(B)	)次へ(N) >

**6** [次へ] ボタンをクリックする。

選択したフォルダーにインストールされ、完了す ると、セットアップの完了画面が表示されます。



7 [閉じる] ボタンをクリックする。

## NX-300 ソフトウェアをアンインストールするとき

[コントロールパネル] → [プログラムと機能] から「NX-300 ソフトウェア」を削除してください。

## ■ フォルダーの構成

NX-300 ソフトウェアは、デフォルトで以下のフォルダーにインストールされます。 32 bit OS:C:¥Program Files¥TOA¥NX-300 64 bit OS:C:¥Program Files (x86)¥TOA¥NX-300

本ソフトウェアの設定ファイルは、以下のフォルダーに保存されます。

C:\ProgramData\TOA\NX-300

フォルダーの構成は下記のとおりです。

フォルダー内のファイル、フォルダーの構成や名前を変更しないでください。



# / ソフトウェアの構成と設定項目

NX-300 設定ソフトウェアとNX-300 検出ソフトウェアを使用し、機器検出、ネットワーク設定を含むすべて の項目を設定できます。 システム設置時に、まずこれらのソフトウェアですべての項目を設定します。

[NX-300 検出ソフトウェア]

機器の検出と、ネットワークの設定を行います。 システムの初期設定時は、まずこのソフトウェアでローカル ネットワークに接続された NX-300、NX-100 または NX-100S の検出を行ってください。

	設定項目
機器検出	( 📭 P. 3-12)
設定更新	( 🐼 P. 3-14)

[NX-300 設定ソフトウェア]

機器の放送や制御入出力など各種設定をします。

NX-300 検出ソフトウェアによるネットワーク設定後、 NX-300 設定ソフトウェアで作成した機器設定ファイルを アップロードします。

設置前に機器設定を入力し、機器設定ファイルをあらかじめ 作成しておくこともできます。

	設定項目
全般設定	( 📭 P. 3-26)
ネットワーク	( 🞼 P. 3-28)
放送スペック	( 📭 P. 3-35)
パターン	( 🞼 P. 3-38)
制御入出力	( 🞼 P. 3-56)
シリアル	( 📭 P. 3-63
音源ファイル	( 🞼 P. 3-65

# 設定手順

パターン1:設置場所ですべての設定をする場合



②の設定を反映させるため、機器設定ファイルをアップロードします。

#### パターン2:あらかじめシステム設定ファイルを作成しておき、設置場所で機器の検出後、 設定ファイルをアップロードする場合

## ① システム設定

NX-300 設定ソフトウェアで、システムに含まれる機器を登録し、IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスク、機器名称を入力します。

- 全般設定 : システム全体に関係する項目を設定します。(NX-300 のみ)
- ●ネットワーク : 機器の IP アドレスやポート番号を設定します。
- ●放送スペック : 放送品質を設定します。
- ●パターン : 機器の放送先、接点ブリッジ先を設定します。
- ●制御入出力 : 機器の制御入出力時の動作を設定します。
- ●シリアル : 機器のシリアルブリッジ接続先を設定します。(NX-100 のみ)
- 音源ファイル : 放送時に使用する音源ファイルを機器にアップロードします。(NX-300のみ)

## ② データファイルを保存

NX-300 設定ソフトウェアのデータフォルダーをパソコンや外部記憶媒体に保存してください。必ず バックアップも取っておいてください。

## ③ 機器検出(ネットワーク設定)

- 設置場所でNX-300 設定ソフトウェアをインストールしたら、データフォルダーに、②で保存しておいたデータフォルダーの内容をコピーします。
- ●NX-300 検出ソフトウェアで機器検出をした後、IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスク、機器名称を設定します。
- ●NX-300 設定ソフトウェアで機器設定ファイルをアップロードします。

# NX-300 検出ソフトウェアを起動する

## ■NX-300 検出ソフトウェアの起動のしかた

ローカルネットワークに接続された機器を検出します。

#### ご注意

NX-300 検出ソフトウェアまたはブラウザーを使用して、IP アドレスを正しく設定してからでないと、 NX-300 設定ソフトウェアを使用して設定情報を機器へ書き込むことはできません。

手順:インストール時、デスクトップに作成された NX-300 検出ソフトウェアのショートカットを ダブルクリックする。または、インストールしたフォルダーに作成された「NX-300Finder. exe」を直接ダブルクリックする。

メモ

パソコンに複数の IP アドレスが設定されている場合のみ、送信元 IP アドレス画面が表示されます。 送信元の IP アドレスを選択して [OK] ボタンをクリックしてください。

[送信元 IP アドレス選択画面]

送信元IPアドレス選択 ×
送信元のIPアドレスを選択してください。
192.168.1.1 ×
ОК

NX-300 検出ソフトウェアの初期画面が表示されます。

MACTEVA	10761.7	+334.4至人7	*** 92 /7	MACZELZ
	IPJY FVX	1度1里泊	(废石:白	
				テノオルトケートウェイ
				Web#-h
				機種名
				機器名
				システム名
				機器検出
				30 <b>+ T</b> + (

メモ

このソフトウェアを終了するときは、メニューから[ファイル] → [終了] を選択してください。

■ NX-300検出ソフトウェア					
ファイル(F) ツール(T) ヘルプ(H)					
上書き保存(S) 名前を付けて保存(A)	ス機種	重名			
終了(X)					

### ■ メニュー

上書き保存(S) :「名前を付けて保存」で保存した XML 形式のファイルに上書き保存します。

名前を付けて保存(A):検出された機器の情報を機器一覧情報の形式([任意の名前].xml)でパソコンへ 保存します。

終了(X) : このソフトウェアを終了します。

● ツール

送信元 IP アドレス選択	(I):	機器検出に使用するときのパソコンの IP アドレスを選択します。
		選択された IP アドレスが含まれるローカルネットワークの機器のみ検出すること
		ができます。
機器検出(F)	:	ローカルネットワークに接続された機器を検出し、表示します。

設定更新(U) : ソフトウェアの画面上で変更した設定内容を機器にアップロードします。

● ヘルプ

バージョン情報(A) : このソフトウェアのバージョンを表示します。

## ■ ボタン



① 機器検出ボタン : ローカルネットワークに接続された機器を検出し、表示します。

② 設定更新ボタン : ソフトウェアの画面上で変更した設定内容を機器にアップロードします。

## ■ 機器を検出する

ローカルネットワークに接続されている機器を検出します。

- **1** NX-300 をネットワーク上に接続し、電源を入れる。 LNK/ACT 表示灯が点灯します。
- 2 NX-300 検出ソフトウェアの初期画面で機器検出ボタンをクリックする、または、メニューから[ツール]→ [機器検出]を選択する。

検出台数を示すダイアログが表示されます。

₩ NX-300検出ソフトウェア	,			- 🗆 X
ファイル(E) ツール(I) ヘル	プ( <u>H</u> )			
MACアドレス 00-05-F9-00-03-00 00-05-F9-00-01-00	IPアドレス 192.168.1.11 192.168.1.12	機種名 NX-300 NX-100	機器名 NX1 NX2	мас アドレス IP アドレス
00-05-F9-00-01-01	192.168.1.13	NX-100S	NX3 <sub> 食出ソフトウェア X</sub>	サフネットマスク デフォルトゲートウェイ Webポート
		0	検出台数:3	機種名 機器名 システム名
		3	ОК	機器検出 設定更新

## **3** [OK] ボタンをクリックする。

ローカルネットワークに接続されている NX-300 のネットワーク情報が一覧表示されます。 工場出荷時は次の値が設定されています。

IP アドレス	: 192.168.1.1
サブネットマスク	: 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	: 0.0.0.0
Web ポート	: 80
機器名	: NX-300

#### ご注意

 ●検出できる範囲は送信元 IP アドレスのブロードキャストが有効な範囲のみです。(■③ P. 6-4「ブロード キャストと機器検出」)

検出できない機器は、ローカルネットワークに接続されている機器のみ、NX-300 設定ソフトウェアから手動で追加してください。

●NX-300 検出ソフトウェアを使用するパソコンのファイアウォール機能を有効にしていると検出できない場合があります。そのときはファイアウォールの設定を変更し、NX-300 検出ソフトウェアへのブロックを解除してください。

## ■ 画面の説明

以下の画面は機器検出後の画面例です。 機器を選択するときは、検出機器リストの該当機器をクリックしてください。

#### 機器情報リスト

н.

機器検出リストで選択されている 機器の情報を表示します。

								~
	NX-300使出ソフトリエア					-		~
-	ファイル(E) ツール(I) ヘル:	フ(円)						
1	мастких	IPアドレス	機種名	機器名	МАСアドレス	00-05-F9-00-	03-00	
	00-05-F9-00-03-00	192.168.1.11	NX-300	NX1	IPアドレス	192.168.1.11		
	00-05-F9-00-01-00	192.168.1.12	NX-100	NX2	サブネットマスク	255 255 255	0	7
	00-05-F9-00-01-01	192.168.1.13	NX-100S	NX3				
					テノオルトクートウエイ	192.168.1.25	4	
					Webポート	80		
					機種名	NX-300		
	検出機	器リスト			機器名	NX1		
	機器検出	出して検出さ	れた機器を表	示します。	システム名	NX-System		
					機器検出			
					設定更新			

[機器情報リストの設定項目]

- MAC アドレス 検出された機器の MAC アドレスを表示します。 変更できません。
- Pアドレス 検出された機器の IP アドレスを設定します。
- ③ **サブネットマスク** 検出された機器のサブネットマスクを設定しま す。
- ④ デフォルトゲートウェイ 検出された機器のデフォルトゲートウェイを設定 します。

- ⑤ Web ポート Web サーバーのポート番号を設定します。
- ⑥ 機種名
   機器の種別を表示します。変更できません。
- ⑦機器名 システムに登録されている機器の名称を設定します。
- システム名(NX-300のみ) 機器に設定されているシステム名を表示します。

## ■ ネットワークに関する機器の設定値を変更する

機器の設定値を個別に変更します。

MACアドレス	IPアドレス	機種名	機器名		ΜΑCアドレス	00-05-F9-00-03-00
00-05-F9-00-03-00	192.168.1.11	NX-300	NX1		IPアドレス	192.168.1.11
00-05-F9-00-01-00	192.168.1.12	NX-100	NX2		サブネットマスク	255 255 255 0
00-05-F9-00-01-01	192.168.1.13	NX-100S	NX3		デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254
					Webポート	80
				2	機種名	NX-300
				2	機器名	NX1
					システム名	NX-System

1 検出機器リストで変更したい機器のセルをクリックする。 機器情報リストが入力できる状態に変わります。

2 機器情報リストに新しい設定値を入力する。

設定できる項目は以下のとおりです。

- ・IP アドレス
- ・サブネットマスク
- ・デフォルトゲートウェイ
- ・Web ポート
- ・機器名

3 変更するすべての機器に対して手順1、2を行う。

**4** すべてを編集したら、設定更新ボタンをクリックする。 新しい設定値が機器にアップロードされます。

#### ご注意

アップロード後は機器を自動的にリセットしますので、放送は停止/終了します。
## ┃機器検出一覧データを保存する

機器検出結果をパソコンに保存します。

NX-300 設定ソフトウェアで検出結果を読み込むことで、効率よく機器設定を行うことができます。( IIS P. 3-20「設定編集画面」)

1 機器検出リストに機器が表示されている状態で、メニューから [ファイル] → [名前を付けて 保存]を選択する。

[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。





2 ファイル名を指定して、[保存] ボタンをクリックする。 機器検出一覧データが XML 形式で保存されます。

第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定 NX-300 設定ソフトウェア

# NX-300 設定ソフトウェアを起動する

手順:インストール時、デスクトップに作成された NX-300 設定ソフトウェアのショートカットを ダブルクリックする。または、インストールしたフォルダーに作成された 「NX-300SettingSoftware.exe」を直接ダブルクリックする。

# システム編集画面からの操作

NX-300 設定ソフトウェアを起動すると、以下の画面が表示されます。 この画面でシステム設定の新規作成、編集を行います。

N	X-300設定ソフトウェア	x
	システム新規作成	
	システム選択	
	システム削除	
	終了	

## ■ システムを新規に作成するとき

新しくシステムを作成します。

**1** システム編集画面で [システム新規作成] ボタンをクリックする。 システムの新規作成画面が表示されます。

システム名 NX-300 パスワード ●●●●● パスワード (再入力) ●●●●●
NX-300 パスワード ●●●●● パスワード (再入力) ●●●●●
バスワード ●●●●●● パスワード (再入力) ●●●●●
<ul> <li>●●●●●●</li> <li>パスワード(再入力)</li> <li>●●●●●</li> </ul>
パスワード (再入力) ●●●●●
·····

2 システム名とパスワードを入力する。

システム名およびパスワードは半角英数記号1~15文字で設定してください。

### ご注意

システム名に¥/:\*?"<> | および半角スペースは使用できません。

3 確認のため、「パスワード(再入力)」に、手順2で入力したパスワードを入力する。

**4** [OK] ボタンをクリックする。

設定編集画面( 🖾 P.3-20)に切り換わります。

第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定 NX-300 設定ソフトウェア:システム編集画面

## ■ 登録済みのシステムを編集するとき

NX-300 設定ソフトウェアに登録されているシステムを編集します。

**1** システム編集画面で [システム選択] ボタンをクリックする。 システムを選択する画面が表示されます。



- 2 登録済みのシステム名から編集するシステムを選択する。
- 3 システムのパスワードを入力する。
- **4** [OK] ボタンをクリックする。 設定編集画面(■③ P. 3-20)に切り換わります。

## ■ 登録済みのシステムを削除する

NX-300 設定ソフトウェアのデータフォルダーに登録済みのシステムを削除します。 システム編集画面で[システム削除]ボタンをクリックすると、既存のシステムを選択する画面が表示され ます。



削除したいシステムを選択し、[削除] ボタンをクリックすると確認ダイアログが表示されます。 [OK] ボタンをクリックすると削除されます。

# 設定編集画面

## ■画面の説明

システム編集画面で新規作成を行うか、システム選択を行うと、設定編集画面が表示されます。 この画面で機器の設定内容を表示し、変更します。

機器を選択するときは、機器リストの該当機器をクリックしてください。

設定する機器を選択すると右側の設定フォームに現在設定されている内容が表示されます。



①システムを構成する機器

システムを構成する機器の台数を機種別に表示し ます。

### ②全般設定ボタン

システム全体に関わる設定をします。 クリックすると全体設定画面が表示されます。 ( ■容 P. 3-26) ③追加ボタン

クリックすると機器を追加するダイアログが表示 されます。

④ インポートボタン

NX-300 検出ソフトウェアで保存した XML 形式の ファイルを選択し、設定を読み込むことができま す。 ⑤ 機種名

システムに登録されている機器の種別一覧です。

- ⑥機器名 システムに登録されている機器の名称一覧です。
- ⑦ IP アドレス システムに登録されている機器の IP アドレスー 覧です。
- ⑧全て選択ボタン クリックすると機器リストに表示されている機器 すべてにチェックが入ります。
- ④ 全て解除ボタン クリックすると機器リストに表示されている機器 すべてのチェックを解除します。
- 10 削除ボタン

クリックすると機器リストでチェックされている 機器を削除することができます。

(1) ネットワークタブ
 機器の IP アドレスやポート番号を設定します。
 ( ■3 P. 3-28)

- 第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定 NX-300 設定ソフトウェア:設定編集画面
  - ② 放送スペックタブ
     放送品質を設定します。(■〒 P. 3-35)
  - ③ パターンタブ
     機器の放送先、接点ブリッジ先を設定します。
     [制御パターン]、[放送パターン]、[接点ブリッジパターン]の各ボタンでパターン設定画面を切り換え、各パターンの設定をします。
     ( ■③ P. 3-38)
  - ④ 制御入出力タブ
     機器の制御入力時(■3 P. 3-56)、制御出力時
     (■3 P. 3-61)の動作を設定します。
  - (5) シリアルタブ (NX-100のみ) シリアルデータ (RS-232C)の送受信をするための設定をします。
  - (6) 音源ファイル(NX-300のみ) 機器の内蔵メモリーに音源ファイルを保存しま す。

■ メニュー

### ● ファイル

上書き保存 : 編集中のファイルを保存します。
 名前を付けて保存 : 編集中の設定ファイルを別のシステムの設定ファイルとして保存します。
 パスワード変更 : システムに登録されているパスワードを変更します。
 終了 : このソフトウェアを終了します。

● ツール

設定アップロード : 設定内容を機器へ書き込みます。 設定ダウンロード : 機器の設定内容をパソコンにダウンロードします。 時刻アップロード : パソコンの時刻と同じ時刻を機器へ書き込みます。 オプション : ネットワーク設定の可否を選択することができます。

● ヘルプ

ダウンロードサイト: Web ブラウザーを起動し、TOA 商品データダウンロードサイトにアクセスします。 バージョン情報 : このソフトウェアのバージョン情報を表示します。 第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定 NX-300 設定ソフトウェア:システム構成の設定をする



システムを構成する機器を登録します。

1

機器検出結果の情報を取り込むとき

設定編集画面で [インポート] ボタンをクリックする。 ファイルの選択ダイアログが表示されます。

₩ 開く			×
$\leftarrow$ $\rightarrow$ $\checkmark$ $\uparrow$ $\blacksquare$ $\rightarrow$ PC	› ドキュメント	✔ ひ ドキュメントの検索	م
整理 ▼ 新しいフォルダー		Ĩ	- •
🖈 クイック アクセス	名前	更新日時	種類
a OneDrive	TOAUnits.xml	2016/07/29 10:51	XML ドキュメント
PC			
ネットワーク			
-			
	<		>
7ァイル	名( <u>N</u> ): TOAUnits.xml	~ *.xml	~
			キャンセル

2 NX-300検出ソフトウェアで保存した機器検出一覧データ(XML形式)を選択し、[開く] ボタンをクリックする。

指定したデータがインポートされ、機器リストおよび「ネットワーク」タブに反映されます。

署 StationSystem - NX-300設定ソフトウェア		-	
ファイル(E) ツール(I) ヘルプ(H)			
○システムを構成する機器			
NX-300: 5 NX-100: 3 NX-100S: 1 Total: 9/	500 全般設定		
追加インポート	ネットワーク 放送スペック パターン 制御入出力 音源ファイル		
機種名 機器名 IPアドレス	機器 その他		
NX-300 中央駅 192.168.10.11			
□ NX-300 A駅 192.168.10.12	機器名		
□ NX-300 B駅 192.168.10.13	IPアドレス		
NX-300 C駅 192.168.10.14	サブネットマスク		
□ NX-100 事務室 192.168.10.21	デフォルトゲートウェイ		
NX-100 駐車場 192.168.10.22			
NX-300 NX-300 192.168.1.11			
NX-100 NX-100 192.168.1.12	Webサーハー         開始ホート番号         開始ホート番号		
NX-100S NX-100S 192.168.1.13	FTPテーダ 放送制御 出力1放送		
	FTP制御 PC制御 出力2放送		
	機器間制御 接点フリッジ クロック補止		
	NADT		
	NAPI		
	有効		

第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定 NX-300 設定ソフトウェア:システム構成の設定をする

## ■ 機器リストに機器を追加するとき

**1** 設定編集画面で [追加] ボタンをクリックする。 追加ダイアログが表示されます。

追加	חו	×
追	加する機器の	の台数を入力してください。
	NX-300	2
	NX-100	0
	NX-100S	0
	ОК	キャンセル

## 2 追加する機器の台数を入力し、[OK] ボタンをクリックする。 設定した機器が機器リストに追加されます。

システムを構成する機器 NX-300: 6 NX-100: 2 NX-100S: 2 Total: 10	0/500 全般設定
追加 インポート	ネットワーク 放送スペック パターン 制御入出力 音源ファイル
通加         17/1-P           機種名         機器名         IPアドレス           NX-300         NX-300         192.168.1.31           NX-300         NX-300         192.168.1.32           NX-300         NX-300         192.168.1.32           NX-100         NX-100         192.168.1.33           NX-100         NX-100         192.168.1.41           NX-300         NX-100         192.168.1.41           NX-300         NX1         192.168.1.11           NX-300         NX2         192.168.1.12           NX-100S         NX3         192.168.1.13           NX-300         NX-300         192.168.1.1           NX-300         NX-300         192.168.1.1	機器     その他       機器名
全て選択 全て解除 削除	

■ 機器リストから機器を削除するとき

1 削除したい機器にチェックを入れる。

システムを構成する機器	
NX-300: 6 NX-100: 2 NX-100S: 2 Total: 1	0/500 全般設定
追加インポート	ネットワーク 放送スペック パターン 制御入出力 音源ファイル
機種名 機器名 IPアドレス	機器 その他
NX-300 NX-300 192.168.1.31	
NX-300 NX-300 192.168.1.32	機器:名 NX-300
NX-300 NX-300 192.168.1.33	IPアドレス 192.168.1.1
NX-100 NX-100 192.168.1.41	サブネットマスク 255.255.255.0
NX-100S NX-100S 192.168.1.42	デフォルトゲートウェイ 0.0.0.0
✓ NX-300 NX1 192.168.1.11	
✓ NX-100 NX2 192.168.1.12	
✓ NX-100S NX3 192.168.1.13	Webサーバー 80 開始小ー下番方 5000 開始小一下番方 5000
	FIPテーダ 20 放送制御 5000 出力1放送 5000
X NX-300 NX-300 192.168.1.1	FIP制御 21 PC制御 5001 田刀2放送 5002
2	NAPT □ 有効
全て選択 全て解除 削除	

メモ

[全て選択] ボタンですべての機器にチェックを入れることができます。 [全て解除] ボタンですべての機器のチェックを外すことができます。

2 [削除] ボタンをクリックする。

チェックを入れた機器が機器リストから削除されます。

第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定 NX-300 設定ソフトウェア:システム全般の設定をする

# 🖊 システム全般の設定をする

# 1 設定編集画面で「全般設定」ボタンをクリックする。

全般設定画面が表示されます。

この設定は、システムに NX-300 が存在する場合に設定することができます。

1	(2		(3	3)	(	4
全般設定						×
- 同一優先度の放送			- NX-100の優労		○故障検知	
◉ 先優先	() ON		6	~	00	N
○ 後優先	OFF		0		•	OFF
- NTP	][	- 44	-916		L	
□ 有効			有効			
NTPサーバーアドレス o	.0.0.0		開始日時 ———		~終了日時 -	
NTPサーバーポート 1.	23		月 1	2	月	1 ~
タイムゾーン し	UTC+09:00	*	週 1	0	週	1 ~
補正開始時刻 c	o ~: o ~: o	~	曜日 Sun	>	曜日	Sun 🗸
補正終了時刻 C	0 <sup>~</sup> :15 <sup>~</sup> :0	~	時 0	2	時 (	o v
						閉じる
	( <b>b</b> )			( <u>6</u> )		

# 2 各項目を設定する。

#### 同一優先度の放送

放送中に同じ優先度の放送が行われたときの動作を選択します。 先優先 :後の放送は、先の放送が終了してから行います。 後優先 :先の放送を終了し、後の放送を行います。

### ご注意

システムに NX-100/100S が含まれている場合、先優先に固定されます。

### ② 緊急放送

制御パターンの優先度を1にして放送したとき(INT P. 3-38「パターンの設定をする」)の出力音量を大きくすることができます。

ON : 優先度 2~8の放送よりも 6 dB 増加して放送します。

OFF : 優先度 2~8の放送と同じ音量で放送します。

第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定 NX-300 設定ソフトウェア:システム全般の設定をする

③NX-100の優先度

システム内に NX-100 が含まれている場合に、NX-100 を使用した放送の優先度を設定します。初期状態は「6」です。

④故障検知

故障検知機能の有効/無効を選択します。

- ON : 故障検知機能を有効にします。
- OFF : 故障検知機能を無効にします。
- (5) NTP

NTP クライアント機能を使用して時刻補正を行います。1日に1回、開始時刻にNTP サーバーから時刻 を取得し、調時に成功すると終了します。失敗した場合は、終了時刻まで再接続を行います。

有効	:NTP クライアント機能を使用するときにチェックします。	
NTP サーバーアドレス	: NTP サーバーのアドレスを入力します。(初期状態:0.0.0.0)	
NTP サーバーポート	:NTP サーバーのポート番号を入力します。	
タイムゾーン	: 機器のタイムゾーンを設定します。	
補正開始時刻	: 時刻補正を開始する時刻を設定します。	
補正終了時刻	: 時刻補正を終了する時刻を設定します。	

⑥サマータイム

サマータイムの設定をします。

有効	:	サマータイムを使用するかどうかを設定します。
開始日時/終了日時	:	サマータイムを開始/終了する日時を設定します。
		○月の第○番目の○曜日の○時という形で指定します。○月の最後の○曜日とい
		う指定も可能です。

(設定例)

-74-916-					6月						
✔ 有効					日	月	火	水	木	金	±
開始日時		終了日時	ŧ	サマータイム開始日		1	2	3	4	5	6
月	6 <sup>~</sup>	月	10 ~		7	8	9	10	11	12	13
调	1 ~	调	last 🗸		14	15	16	17	18	19	20
	C		Curry M		21	22	23	24	25	26	27
唯口	Sun *	唯口	Sun *		28	29	30				
時	0 ~	時	0 ~		10 月						
		·			日	月	火	水	木	金	±
上の画面のように設定すると、開始/終了								1	2	3	
日は石の	ように設定	されます。			4	5	6	7	8	9	10

サマータイム終了日。

11

18

25

12

19

26

13

20

27

14

21

28

15

22

29

16

23

30

17

24

31

■ ネットワークを設定する

● NX-300 の場合

- 1 設定編集画面の機器リストで設定する機器を選択する。
- **2** 「ネットワーク」タブを選択し、[機器] ボタンをクリックする。 ネットワーク設定画面が表示されます。

	クリックする	5		
	ネットワーク 放送スペッ	ック パターン 制御入出力 音源ファイル	]	
(	機器 うの他			
1)				
	機器名	中央駅		
(2)-	IPアドレス	192.168.10.11		
<u>(3</u> )	サブネットマスク	255.255.255.0		
(4)	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0		
	~TCPポート		- UDPポート	
	Webサーバー 80	開始ポート番号 5000	開始ポート番号 5000	
5	FTPデータ 20	放送制御 5000	出力1放送 5000	6
9	FTP制御 21	PC制御 5001	出力2放送 5002	Ŭ
	機器間制御 35285	5 接点ブリッジ 5002	クロック補正 5007	
				J
7	NAPT			
$\cup$	✔ 有効			
8	ネットワークID	1 WAN側IPアドレス 1	92.168.1.1	9
	- TCPポート		- UDPポ−ト	
	Webサーバー 80	開始ポート番号 5000	開始ポート番号 5000	
(10)	FTPデータ 20	放送制御 5000	出力1放送 5000	
	FTP制御 21	PC制御 5001	出力2放送 5002	
	機器間制御 352	85 接点ブリッジ 5002	クロック補正 5007	

3 各項目を設定する。

①機器名

機器の名前を入力します。最大で全角 15 文字、半角 31 文字まで入力できます。

② IP アドレス

機器の IP アドレスを入力します。 NX-300 検出ソフトウェアで IP アドレスを設定した後、機器検出一覧データをインポートしたときは、割 り当てられた IP アドレスが表示されています。

### ③サブネットマスク サブネットマスクを入力します。

④デフォルトゲートウェイ デフォルトゲートウェイを入力します。

(5) TCP # – h

Web サーバーで使用するポート、FTP で使用するポート、機器間制御で使用するポート、他の TCP ポー トの先頭番号を指定します。

設定できるポート番号の範囲は1~65535です。

「Web サーバー】

Web サーバーのポート番号を入力します。初期状態は「80」です。

[FTP データ]

本機の FTP サーバーデータポートの番号を入力します。 1~65535から設定できます。初期状態は「20」です。

[FTP 制御]

本機の FTP サーバー制御ポートの番号を入力します。 1~65535から設定できます。初期状態は「21」です。

「機器間制御〕

NX-300 間で放送、接点ブリッジ動作を制御するために使用します。初期状態は「35285」です。

[開始ポート番号]

機器で使用する上記以外の TCP ポートの先頭番号を入力します。 1~65532の範囲で入力してください。初期状態は「5000」です。

TCP ポートは、以下のように割り当てられます。

ポート	プロトコル	ポート番号	初期状態
放送制御	TCP	開始ポート番号 + 0	5000
PC 制御	TCP	開始ポート番号 + 1	5001
接点ブリッジ	TCP	開始ポート番号 + 2	5002

放送制御、接点ブリッジは NX-300 と NX-100/NX-100S 間で動作制御するために使用します。PC 制御は NX-300 操作ソフトウェアで動作制御するために使用します。

### ご注意

TCP の各ポートで、同じポート番号を使用することはできません。

(6) UDP  $\pi - h$ 

UDP で使用するポートの先頭番号を指定します。

[開始ポート番号]

機器で使用する UDP の先頭番号を入力します。 1~65526の範囲で偶数を入力してください。初期状態は「5000」です。 UDP ポートは以下のように割り当てられます。

ポート	プロトコル	ポート番号	初期状態
出力1放送	UDP	開始ポート番号 + 0	5000
出力2放送	UDP	開始ポート番号 + 2	5002
クロック補正	UDP	開始ポート番号 + 7	5007

ご注意

UDP のポート番号 15000 および 35286 を内部で使用しているので、14990 ~ 15000 および 35276 ~ 35286 は入力できません。

 $\bigcirc$  NAPT

グローバル IP アドレスを使ってこの NX-300 に接続する場合は、「有効」にチェックを入れてください。 以下の ⑨ ネットワーク ID ~ ⑫ WAN 側 UDP ポートが入力可能になります。

⑧ ネットワーク ID

グローバル IP アドレスを使って接続する場合、ローカルアドレスを使ってアクセスできる範囲ごとにネットワークを識別する番号を入力します。

例えば、下図のようなネットワーク接続をしている場合、LAN ①に接続する機器には「1」、LAN ②に接続 する機器には「2」、のように異なるネットワーク ID をつけます。

設定用のパソコンにはネットワーク ID:1 を割り当てています。パソコンからローカルアドレスを使って アクセスできる機器(例えば LAN ①に接続する機器)には、ネットワーク ID:1 を設定してください。



#### ⑨ WAN 側 IP アドレス

WAN 側から見たこの NX-300 の IP アドレスを入力します。

10 WAN 側 TCP ポート

WAN 側から見た各プロトコルで使用する TCP ポート番号を設定します。

[Web サーバー]

Web サーバーのポート番号を入力します。初期状態は「80」です。

[FTP データ]

本機の FTP サーバーデータポートの番号を入力します。 1 ~ 65535 から設定できます。初期状態は「20」です。

[FTP 制御]

本機の FTP サーバー制御ポートの番号を入力します。 1 ~ 65535 から設定できます。初期状態は「21」です。

[機器間制御]

機器間で動作制御するために使用します。初期状態は「35285」です。

[開始ポート番号] 機器で使用する上記以外の TCP ポートの先頭番号を入力します。 1 ~ 65532 の範囲で入力してください。初期状態は「5000」です。 TCP ポートは、以下のように割り当てられます。

ポート	プロトコル	ポート番号	初期状態
放送制御	TCP	開始ポート番号 + 0	5000
PC 制御	TCP	開始ポート番号 + 1	5001
接点ブリッジ	TCP	開始ポート番号 + 2	5002

ご注意

TCP の各ポートで、同じポート番号を使用することはできません。

① WAN 側 UDP ポート

WAN 側から見た各プロトコルで使用する UDP ポート番号を設定します。

[開始ポート番号]

機器で使用する UDP の先頭番号を入力します。 1 ~ 65526 の範囲で偶数を入力してください。初期状態は「5000」です。 UDP ポートは以下のように割り当てられます。

ポート	プロトコル	ポート番号	初期状態
出力1放送	UDP	開始ポート番号 + 0	5000
出力2放送	UDP	開始ポート番号 + 2	5002
クロック補正	UDP	開始ポート番号 + 7	5007

### ご注意

UDP のポート番号 15000 および 35286 を内部で使用しているので、14990 ~ 15000 および 35276 ~ 35286 は入力できません。

● NX-100/100S の場合

1 設定編集画面の機器リストで設定する機器を選択する。

# 2「ネットワーク」タブを選択する。

ネットワーク設定画面が表示されます。



# 3 各項目を設定する。

①機器名

機器の名前を入力します。最大で全角 15 文字、半角 31 文字まで入力できます。

②IP アドレス

機器の IP アドレスを入力します。

NX-300 検出ソフトウェアで IP アドレスを設定した後、機器検出一覧データをインポートしたときは、割り当てられた IP アドレスが表示されています。

③ **サブネットマスク** サブネットマスクを入力します。

④ **デフォルトゲートウェイ** デフォルトゲートウェイを入力します。 ⑤ TCP ポート

Web サーバーで使用するポートと、他の TCP ポートの先頭番号を指定します。 設定できるポート番号の範囲は 1 ~ 65535 です。

[Web サーバー]

Web サーバーのポート番号を入力します。初期状態は「80」です。

[開始ポート番号]

機器で使用する Web サーバー以外の TCP ポートの先頭番号を入力します。 1 ~ 65532 の範囲で入力してください。初期状態は「5000」です。

TCP ポートは、以下のように割り当てられます。

ポート	プロトコル	ポート番号	初期状態
放送制御	TCP	開始ポート番号 + 0	5000
PC 制御	TCP	開始ポート番号 + 1	5001
接点ブリッジ	TCP	開始ポート番号 + 2	5002
シリアルブリッジ(NX-100 のみ)	TCP	開始ポート番号 + 3	5003

⑥ UDP ポート

UDP で使用するポートの先頭番号を指定します。

[開始ポート番号]

機器で使用する UDP の先頭番号を入力します。

1~65526の範囲で偶数を入力してください。初期状態は「5000」です。

UDP ポートは以下のように割り当てられます。

ポート	プロトコル	ポート番号	初期状態
放送	UDP	開始ポート番号 + 0	5000
エラー訂正	UDP	開始ポート番号 + 2	5002
再送	UDP	開始ポート番号 + 4	5004
シリアルブリッジ(NX-100 のみ)	UDP	開始ポート番号 + 6	5006
周波数補正	UDP	開始ポート番号 + 7	5007

#### ご注意

UDP のポート番号 15000 および 35286 を内部で使用しているので、14990 ~ 15000 および 35276 ~ 35286 は入力できません。

第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定 NX-300 設定ソフトウェア:システム全般の設定をする

## ■ 外部サーバーを設定する(NX-300 のみ)

必要な外部サーバーを設定することができます。

1 設定編集画面の機器リストで設定する機器を選択する。

**2** 「ネットワーク」タブを選択し、[その他] ボタンをクリックする。 外部サーバー設定画面が表示されます。



# 3 各項目を設定する。

① DNS サーバーアドレス

DNS サーバーの IP アドレスを入力します。初期状態は「0.0.0.0」です。

② DNS サーバーポート
 DNS サーバーのポート番号を入力します。1~65535 から設定します。初期状態は「53」です。

## ■ 放送スペックを設定する

放送品質を設定します。 放送スペックの設定により、放送先の最大数が変わります。 放送スペックごとの最大放送先は P. 6-8「最大放送先」をお読みください。

7 機器リストで設定する機器を選択する。

# **2** NX-300 設定ソフトウェアの「放送スペック」タブを選択する。

放送スペック設定画面が表示されます。

Г	1	ネットワーク 放送スペック パターン 制御入出力   音源ファイル	
1		◉ チャンネル1 ○ チャンネル2 ○ 音源ファイル	
2		送信     音声入力       サンプリング周波数 [kHz]     16     ● 平       パケットサイズ [byte]     64     ● マ       受信     ゲイン調整       サンプリング周波数 [kHz]     16     □ スループ       パケットサイズ [byte]     64     マ	平衡 <sup>、</sup> 平衡 :[dB] 0 ~ アウト 有効
3	-1	音声圧縮 ON Ý	インフォメーション
4		<ul> <li>マルチキャスト有効</li> <li>マルチキャストアドレス1 225.0.0.1</li> <li>マルチキャストアドレス2 225.0.0.2</li> </ul>	达信 帯域幅 [kbps] 130.00 遅延 [秒] 0.08 6
5		<ul> <li>□ 音量制御スケジュール 有効</li> <li>開始時刻 終了時刻 音量 [dB] 追加</li> <li>編集</li> </ul>	受信 帯域幅 [kbps] 130.00 遅延 [秒] 0.08
		削除	

3 各項目を設定する。

① チャンネルの設定

設定するチャンネルを「チャンネル1」、「チャンネル2」、「音源ファイル」から選択します。 チャンネル1 : 音声入力1、音声出力1を使用する放送のスペックを設定する場合に選択します。 チャンネル2 : 音声入力2、音声出力2を使用する放送のスペックを設定する場合に選択します。 音源ファイル : wav ファイルを使用する放送のスペックを設定する場合に選択します。 メーモ

NX-100/100Sの場合は「チャンネル1」固定となります。

# チャンネルごとのパラメーター 設定するチャンネルを選択し、各パラメーターを設定します。

[送信サンプリング周波数 [kHz]]

送信時のサンプリング周波数を「8」、「16」、「32」、「48」 kHz から設定します。

大きくすると音質が良くなりますが、使用帯域幅が大きくなります。

メモ

- チャンネルの設定が「音源ファイル」のときは設定できません。音源放送時、音源のサンプリング周波 数により自動的に決定されます。
- NX-100/100S は「48」を選択できません。

[送信パケットサイズ [byte]]

送信時の音声パケットのサイズを設定します。

パケットサイズを小さくすると、使用帯域幅が大きくなりますが、遅延が小さくなります。

### ご注意

音源放送時、音源のサンプリング周波数によりパケットサイズが足りない場合は、放送できません。音源 のサンプリング周波数にあわせて適切に設定してください。(P. 6-8「最大放送先」)

[受信サンプリング周波数 [kHz]]

受信時のサンプリング周波数を「8」、「16」、「32」、「48」kHz から設定します。

大きくすると音質が良くなりますが、使用帯域幅が大きくなります。

メモ

- チャンネルの設定が「音源ファイル」のときは設定できません。
- ●スルーアウトの設定が「有効」のときは設定できません。
- ●NX-100/100Sは「48」を選択できません。

[受信パケットサイズ [byte]]

受信時の音声パケットのサイズを設定します。

パケットサイズを小さくすると、使用帯域幅が大きくなりますが、遅延が小さくなります。

メモ

- チャンネルの設定が「音源ファイル」のときは設定できません。
- スルーアウトの設定が「有効」のときは設定できません。

[音声入力]

チャンネルを「チャンネル1」または「チャンネル2」に設定したときのみ設定できます。 音声入力の平衡/不平衡を選択します。ただし、音声入力がマイクレベルの場合は、本設定にかかわらず 不平衡となります。

メモ

音声入力を平衡にすると、不平衡時と比べて音声を2dB 減衰して出力します。

#### [ゲイン調整 [dB]]

チャンネルを「チャンネル 1」または「チャンネル 2」に設定したときのみ設定できます。 入力信号のゲイン調整値を「0」、「-10」、「-20」、「-26」dB から設定します。 入力レベルが十分に大きい場合、ゲイン調整値を小さくすることで SN 比が改善されます。

[スルーアウト]

チャンネルを「チャンネル 1」または「チャンネル 2」に設定したときのみ設定できます。 チェックを入れると、音声入力と同じ音声信号を音声出力から常時出力します。

#### ③音声圧縮

「ON」と「OFF」から選択します。

ON にすると、使用帯域幅が小さくなります。ネットワークの使用帯域幅を小さくするために、ON(圧縮) にして使用することをおすすめします。

#### ④ マルチキャスト有効

チェックを入れると、マルチキャストによる設定が有効になります。

[マルチキャストアドレス 1]、[マルチキャストアドレス 2] マルチキャスト放送を行うときに使用します。自機の動作状況により、放送に使用するアドレスを自動的 に選択します。

### ご注意

マルチキャストアドレス1と2は、それぞれ別のアドレスを設定してください。 1、2とも同一ネットワーク上の他機のマルチキャストアドレスと重複しないように設定してください。

#### ⑤ 音量制御スケジュール 有効(NX-300 のみ)

設定した時刻の音声出力レベルを調節します。1 台につき5 パターンまで登録できます。 チェックを入れると、音量制御スケジュールが有効になります。

[追加] ボタンをクリックすると、音量制御スケジュール設定ダイアログが表示されます。

音量制御スケシ	x א-בל
開始時刻	0 ~: 00 ~
終了時刻	0 ~: 00 ~
音量 [dB]	-1 ×
ОК	キャンセル

#### [開始時刻]、[終了時刻]

音量制御スケジュールの開始時刻と終了時刻を設定します。日付をまたいで設定することもできます。

#### [音量 [dB]]

設定時間中の音声出力レベルを設定します。(-1 ~ -20 dB、またはミュート)

メモ

登録したパターンを選択してから[編集]ボタンをクリックすると、パターンを編集することができます。 同様に、[削除]ボタンをクリックするとパターンを削除できます。

#### ご注意

緊急放送が ON の状態で優先度 1 の放送を行った場合、緊急放送中は音量制御スケジュールが解除され、 優先度 2 ~ 8 の元の音量よりも 6 dB 増加して放送します。

#### ⑥ インフォメーション

チャンネル 1、またはチャンネル 2 選択時に、送信および受信時の使用帯域幅 [kbps]、遅延 [秒] を表示 します。

NX-100/100S のときのみ、放送スペック設定によってできない放送を表示します。

第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定 NX-300 設定ソフトウェア:パターンの設定をする

# パターンの設定をする

設定編集画面でパターンタブを選択すると、パターン設定画面が表示されます。 [制御パターン]、[放送パターン]、[接点ブリッジパターン]の各ボタンがあります。 ボタンごとにそれぞれ制御パターン設定画面、放送パターン設定画面、接点ブリッジパターン設定画面に切 り換わります。

ネットワーク 放送スペック	パターン 制御入出力 音源ファイ	۶.	
制御パターン	放送パターン 接点ブリッジパターン		
	•		
No. パターン名		優先度	追加
			1
Ne			
NO.	· · ·		
ハターク名 医生産	<b>-</b> V		
(変元)と 故注パター>ノ	0		
	No. バターン名		
	帯域幅 [kbps] -	]	
接点ブリッジパターン		$\vee$	

## ■ パターン設定の概要

### ● パターン設定が必要な機器

パターン設定は、制御入力や NX-300 操作ソフトウェアから放送を起動する機器に設定します。 制御入力から起動するときは、制御パターンを指定して行います。 NX-300 操作ソフトウェアから起動するときは、放送パターンを指定して行います。

### ● パターンの種類と構成

制御パターン、放送パターン、接点ブリッジパターンは次のような構成になっています。 制御パターンは放送パターンと接点ブリッジパターンの組み合わせから成ります。放送パターンまたは接点 ブリッジパターンのどちらか一方だけでも構いません。



● 制御パターン設定の手順

制御パターンを使用するときは、あらかじめ放送パターン、接点ブリッジパターンを設定してください。

1 設定編集画面の機器リストで設定する機器を選択する。

- 2 放送パターンを設定する。( № P.3-40)
- 3 接点ブリッジパターンを設定する。( 🖙 P. 3-46)
- **4** 制御パターンを設定する。( № P. 3-51)

## ■ 放送パターンを設定する

放送パターンとは、NX-300 操作ソフトウェアから放送を起動する機器に設定しておく、放送方向と接続先の 組み合わせです。

放送パターンとして設定できるのは、ネットワークを使用しないローカル放送か、1 ストリームで放送可能 な組み合わせです。(受信接続先:1カ所、ユニキャスト送信接続先:16カ所\*、マルチキャスト送信接続先: 64カ所)

\* 音声スペックの設定によっては、16 カ所より少なくなります。詳しくは、P. 6-8「最大放送先」をお読みください。

### ● 放送パターン設定画面

[放送パターン] ボタンをクリックすると、放送パターン設定画面が表示されます。



① **放送パターンリスト** 登録されている放送パターンの一覧が表示されま す。

1台につき、20パターンまで設定できます。

- ② 放送パターン追加ボタン 新しい放送パターンを追加するときに使います。
- ③ 放送パターン削除ボタン 登録されている放送パターンを削除するときに使います。
- ④ 編集エリア 放送パターンの内容を設定します。

## ● 放送パターンを新規に作成する

ネットワーク 放送スペック パターン 制御入出力 音源ファイル
制御パターン 放送パターン 接点ブリッジパターン
1
No. パターン名 追加
削除
Z
NO. 接枕九 パターン名 準設かの
方向
入力音源 🗸
出力先

**1** 放送パターン追加ボタンをクリックする。 編集エリアで編集可能になります。

2 各項目を設定する。( II 2 P. 3-44 「放送パターンの設定項目」)

● 放送パターンの設定内容を変更するとき

1 新	しいバターン	削除	0
No. パターン名 方向 入力音源 出力先	1     ×       新しいパターン     送信       入力1     ×       山力1     ×	<b>接続先</b> 機器数:0 機器名 A駅 B駅 C駅 事務室 正車場	

**1** 放送パターンリストで、変更したい放送パターンを選択する。 編集エリアで編集可能になります。

2 変更したい項目の設定内容を変更する。( № P. 3-44 「放送パターンの設定項目」)

ネット・ワーク 制御パら	1-ン	放送パターン	接点ブリッ	ョ 源ファイル ジパターン			
No. 1	パターン名 新しいパター	У V			追加	<b>&gt;</b> 2	

**1** 放送パターンリストで、削除したい放送パターンを選択する。

2 放送パターン削除ボタンをクリックする。 確認ダイアログが表示されます。



**3** [OK] ボタンをクリックする。

第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定 NX-300 設定ソフトウェア:パターンの設定をする

### ● 放送パターンの設定項目

() (2) (3) (4)	No.     1     ×       パターン名     新しいパターン       方向     送信     ×       入力音源     音源ファイル     ×	機器数:0         機器名         一       機器名         □       A駅         □       B駅         □       C駅	
5	<u>音源ファイル選択</u> 回数:制限なし > 出力先 出力1 >	中務室           日         駐車場	

1 No.

放送パターン番号を選択します。

② パターン名

放送パターンの名称を設定します。 全角 15 文字、半角 31 文字以内で設定してください。

③方向

放送をする方向を選択します。

送信 : 自機から他機へ放送を送信します。

受信:他機から自機へ放送を受信します。

ローカル : 自機の音声入力から音声出力へ放送します。

④入力音源

入力として使用するチャンネルを「入力1」、「入力2」、「音源ファイル」から選択します。

ご注意

方向(3)を「受信」に設定したときは、「音源ファイル」を選択することはできません。

[音源ファイル選択ボタン] (入力音源を「音源ファイル」に設定したときのみ) 音源ファイルを選択できます。

[回数](入力音源を「音源ファイル」に設定したときのみ) 1回の放送で音源を再生する回数を設定します。(1~10、制限なし)

7 音源ファイル選択ボタンをクリックする。 音源ファイル選択ダイアログが表示されます。

音源ファイル選択	×
<ul> <li>音源ファイル番号から選択</li> <li>1 、</li> </ul>	<b>)2</b> -1 <b>2</b> -2
○ 音源ファイル名から選択	<ul> <li>ダウンロード</li> </ul>
3⊄	OK キャンセル

2 音源ファイルを選択する。

- **2-1** 音源ファイル番号から選択するとき(機器と接続できないとき) 「音源ファイル番号から選択」をクリックし、プルダウンリストから番号を選択します。
- 2-2 音源ファイル名から選択するとき(機器と接続できるとき)

「音源ファイル名から選択」をクリックし、ダウンロードボタンをクリックすると、機器から音源ファ イル一覧を取得してプルダウンリストに表示します。プルダウンリストからファイル名を選択します。

**3** [OK] ボタンをクリックする。

⑤ 出力先

出力先で使用するチャンネルを「出力1」、「出力2」から選択します。

⑥接続先

放送に使用する機器の一覧です。 システムを構成する機器の機器名が表示されています。 機器名の左側のチェックボックスをクリックすることで選択できます。 選択した機器の合計が、「機器数」の右に表示されます。 第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定 NX-300 設定ソフトウェア: パターンの設定をする

# ■ 接点ブリッジパターンを設定する

接点ブリッジパターンとは、制御入力や NX-300 操作ソフトウェアから放送を起動する機器に設定しておく 制御出力の組み合わせです。 接点ブリッジパターンとして設定できる接続先は 64 カ所までです。

### ● 接点ブリッジパターン設定画面

[接点ブリッジパターン] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。

	クリックする
ネットワーク 放送スペック パターン 制御入出力	音源ファイル
制御パターン 放送パターン 接点ブリッ	ジパターン
No. パターン名	追加 (2)
<b>1</b>	削除 3
No. 🗸	
ハターン名 (おうていいい)	
機器数:0	
機器名 1 2 3 4	5 6 7 8 9 10
	(4)

① 接点ブリッジパターンリスト 登録されている接点ブリッジパターンの一覧が表示されます。

1 台につき、20 パターンまで設定できます。

- (2) 接点ブリッジパターン追加ボタン 新しい放送パターンを追加するときに使います。
- ③ 接点ブリッジパターン削除ボタン 登録されている放送パターンを削除するときに使います。
- ④ 編集エリア 放送パターンの内容を設定します。

## ● 接点ブリッジパターンを新規に作成する

ky/ワーク 放送スペック パターン 制御入出力 音源ファイル 制御パターン 放送パターン 接点ブリッジパターン No. パターン名 1 新しいパターン 追加 削除	1
No.       1         パターン名       新しいパターン         接点ブリッジ       接線ない         機器数:0       機器名       1       2       3       4       5       6       7       9       10         中央駅	2

**1** 接点ブリッジパターン追加ボタンをクリックする。 編集エリアで編集可能になります。

**2** 各項目を設定する。( № P. 3-50 「接点ブリッジパターンの設定項目」)

● 接点ブリッジパターンの設定内容を変更するとき

	新しいパターン 創除
No	1 × 2
パタ	シン名 新しいパターン
接	(ブリッジ
	器数:0
	機器名 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
	BWY ロロロロ ロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロ
	847
	587

1 接点ブリッジパターンリストで、変更したい放送パターンを選択する。 編集エリアで編集可能になります。

**2**変更したい項目の設定内容を変更する。( II № P. 3-50 「接点ブリッジパターンの設定項目」)

● 接点ブリッジパターンを削除するとき

	ネットワーク 制御パタ	放送スペック パタ−ン 制御入出力 音源ファイル −ン 放送パタ−ン 接点ブリッジパタ−ン	
1	No. 1	パターン名 新しいパターン	<sup>追加</sup> 削除 2

**1** 接点ブリッジパターンリストで、削除したい放送パターンを選択する。

2 接点ブリッジパターン削除ボタンをクリックする。 確認ダイアログが表示されます。



**3** [OK] ボタンをクリックする。

### ● 接点ブリッジパターンの設定項目



1 No.

接点ブリッジパターン番号を選択します。

- ② パターン名
  - 接点ブリッジパターンの名称を設定します。 全角 15 文字、半角 31 文字以内で設定してください。
- ③ 接点ブリッジ

制御出力 ON する機器の制御出力番号を設定します。 機器一覧に表示されている機器を使って接点ブリッジを行います。システムを構成する機器の機器名と、 制御出力番号一覧が表示されています。 機器名の右側にある制御出力番号のチェックボックスをクリックすることで選択できます。 選択した機器の合計が「機器数」の右に表示されます。
### ■ 制御パターンを設定する

放送パターンと接点ブリッジパターンを組み合わせたパターンを設定することができます。 放送パターンは、最大6パターンまで設定することができます。(送信パターンは最大4パターンまで、受信 パターンおよびローカルパターンは最大2パターンまで)

### ご注意

●3種類以上の入力音源を送信する放送パターンの組み合わせを設定することはできません。

(例)入力1送信+入力2送信+音源1ファイル送信

音源ファイル1送信+音源ファイル2送信+音源ファイル3送信 など

●放送パターン(受信、ローカル)は、出力1、出力2にそれぞれ1パターンのみ設定することができます。

● 制御パターン設定画面

[制御パターン] ボタンをクリックすると、制御パターン設定画面が表示されます。

削除       No.     /パターン名       優先度     6       放送パターン     No.
No. パターン名 優先度 6 放送パターン No. パターン名
No.     ✓       パターン名
No. パターン名 優先度 6 放送パターン No. パターン名
パターン名 優先度 6 * 放送パターン No. パターン名
使先度     6
No. バターン名

① 制御パターンリスト

登録されている制御パターンの一覧が表示されま す。

1 台につき、20 パターンまで設定できます。

- ② **制御パターン追加ボタン** 新しい制御パターンを追加するときに使います。
- ③制御パターン削除ボタン 登録されている制御パターンを削除するときに使います。
- ④ 編集エリア 制御パターンの内容を設定します。

● 制御パターンを新規に作成する

ネットワーク 放送スペック	7 パターン 制御入出力 音源ファイル			
制御パターン	放送パターン 接点ブリッジパターン			
			<u> </u>	
No. パターン名		優先度	追加	
1 新しいパタ-	-7	6	削除	
No.	1 *		12	
パターン名	新しいパターン			
優先度	6 <sup>v</sup>			
放送パターン	No. パターン名			
	▲ 1 放送パターン1			
		1		
	帯域幅 [kbps]  130.00	]		
接点ブリッジパターン	接点ブリッジパターン1	*		

1 制御パターン追加ボタンをクリックする。 編集エリアで編集可能になります。

**2** 各項目を設定する。( 🖙 P. 3-55 「制御パターンの設定項目」)

● 制御パターンの設定内容を変更するとき

No. パターンネ	3	優先度	追加	
1 新しいパ	ターン	6	削除	
			_ 2	
No.	1 *			
パターン名	新しいパターン			
優先度	6 ×			
放送パターン	No. パターン名			
	✓ 1 放送パターン1			
	· · ·			
	帯域幅 [kbps] 130.00			
++ E-THUSSICE S		~		

**1** 制御パターンリストで、変更したい制御パターンを選択する。 編集エリアで編集可能になります。

2 変更したい項目の設定内容を変更する。( II № P. 3-55 「制御パターンの設定項目」)

● 制御パターンを削除するとき

Ne	184-210	 / 压 牛 奔	10 to	0
1	新しいパターン	12元/HE 6		2
			削除	

- **1** 制御パターンリストで、削除したい制御パターンを選択する。
- 2 制御パターン削除ボタンをクリックする。 確認ダイアログが表示されます。



**3** [OK] ボタンをクリックする。

### ● 制御パターンの設定項目



#### **1** No.

制御パターン番号を選択します。

② パターン名

制御パターンの名称を設定します。 全角 15 文字、半角 31 文字以内で設定してください。

③優先度

制御パターンの優先度を設定します。(1:緊急、2:高~8:低)

④放送パターン

放送パターン設定画面で設定した放送パターンが一覧に表示されます。 使用する放送パターンにチェックを入れてください。

#### [帯域幅]

チェックを入れた放送パターンで使用する帯域幅を表示します。

### ご注意

チェックを入れた放送パターンに音源ファイルを使用する放送パターンが含まれる場合、帯域幅は表示されません。

⑤ 接点ブリッジパターン

接点ブリッジパターン設定画面で設定した接点ブリッジパターンから選択します。

第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定 NX-300 設定ソフトウェア:制御入力を設定する

# 制御入力を設定する

## ■NX-300 の場合

1 設定編集画面の機器リストで、設定する機器を選択する。

**2** [制御入出力] タブを選択し、[制御入力] ボタンをクリックする。 制御入力設定画面が表示されます。



## 3 各項目を設定する。

①制御入力番号

設定する制御入力番号をクリックします。

②有効

チェックを入れると制御入力の項目設定が有効になります。

### ③故障検知 有効

全般設定で故障検知を ON にした場合のみ、制御入力 8 で設定することができます。 チェックを入れると、故障検知機能を使用することができます。

#### ④種類

制御入力の種類を選択します。

- モーメンタリー :入力が ON の間、指定された制御パターンが起動します。OFF になると、起動が停止します。
- ラッチ : 入力が一度 ON になると指定された制御パターンが起動し、OFF になっても状態が継 続します。もう一度 ON になると、起動が停止します。

### ご注意

- ●入力音源を「音源ファイル」、音源再生回数を「1 ~ 10」に設定した放送パターンを起動したとき、制 御入力を OFF にしても、指定回数を放送するまで止まりません。
- 複数の制御入力を同時に ON にしたとき、それぞれの制御パターンは 20 ms 以上離れて起動します。
   制御パターンの起動を停止すると、受信側の放送はすぐに停止します。



\*チャタリング時間が「長め」に設定されているときは300 ms以上になります。

5 極性

制御入力の極性を選択します。

- メイク :制御入力クローズ時を ON とします。
- ブレイク :制御入力オープン時を ON とします。
- ⑥ チャタリング時間

制御入力のチャタリング防止のために、制御入力が安定するまでの待機時間を設定します。

- 標準 :標準の設定時間(50 ms)です。
- 長め : 標準よりも待機時間を長く取ります (300 ms)。標準でチャタリングが発生する場合、長めに設 定してください。

#### ⑦制御パターン

制御入力が ON になったときに起動する制御パターンを指定します。

### 第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定 NX-300 設定ソフトウェア:制御入力を設定する

### ■ NX-100/100S の場合

NX-300 設定ソフトウェアを使用して、NX-100 および NX-100Sの制御入力設定をすることができます。

1 設定編集画面の機器リストで、設定する機器を選択する。

**2** [制御入出力] タブを選択し、[制御入力] ボタンをクリックする。 制御入力設定画面が表示されます。



## 3 各項目を設定する。

### ①制御入力番号

設定する制御入力番号をクリックします。

### ②有効

チェックを入れると制御入力の項目設定が有効になります。

### ③種類

制御入力の種類を選択します。

- モーメンタリー : 入力が ON の間、指定された制御パターンが起動します。OFF になると、起動が停止 します。
- ラッチ : 入力が一度 ON になると指定された制御パターンが起動し、OFF になっても状態が継続します。もう一度 ON になると、起動が停止します。



[ラッチ]



④ 極性

制御入力の極性を選択します。 メイク :制御入力クローズ時を ON とします。

ブレイク : 制御入力オープン時を ON とします。

⑤ 放送パターン

制御入力が ON になったときに起動する放送パターンを指定します。 接続先は、最大で受信:1 カ所、ユニキャスト送信:4 カ所、マルチキャスト送信:64 カ所となります。 ※ 放送スペック設定によって、複数送信先放送、双方向放送、ローカル放送ができないことがあります。

⑥帯域幅 [kbps]

指定した放送パターンの帯域幅の合計を表示します。

### 第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定 NX-300 設定ソフトウェア:制御入力を設定する

### ⑦ 接点ブリッジ

接点ブリッジする機器および制御出力番号を選択します。 機器一覧に表示されている機器を使って接点ブリッジを行います。 システム構成の機器名と制御出力番号一覧が表示されています。 機器名の右側にある制御出力番号のチェックボックスをクリックすることで選択できます。 選択した機器の合計が「機器数」の右に表示されます。

### ご注意

NX-100 および NX-100S を使用して、NX-300 の制御出力 9、10 を制御することはできません。

第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定 NX-300 設定ソフトウェア:制御出力を設定する

# 制御出力を設定する

7 設定編集画面の機器リストで設定する機器を選択する。

**2** [制御入出力] タブを選択し、[制御出力] ボタンをクリックする。 制御出力設定画面が表示されます。

	クリ ネットワーク 放送スペック パ 制御入力 制御出力	リックする ターン 制御入出力 音源ファイル	
1	制御出力番号 ◉ 1 ○ 2 ○ 3	○4 ○5 ○6 ○7 ○8 ○9 ○10	
(2)-	☑ 有効		
<u>3</u>	τ−ド	標準 ~	
4	種類	モーメンタリー	
5	極性	×17 ~	
6	OFF遅延時間 [秒]	0 ~	

3 各項目を設定する。

### ①制御出力番号

設定する制御出力番号をクリックします。 NX-300 では1~10、NX-100/100S では1~8 から選択できます。

②有効

初期状態では「有効」となっています。 制御出力を使用しない場合は、チェックを外して制御出力の設定を無効にします。

### ③モード

動作モードを選択します。設定する機器によって選択できる内容が異なります。

NX-300の場合

- 標準 :標準の動作モードです。パソコンや、自機または他機の接点ブリッジ制御により制御出力 を ON にします。
- 放送中 : 放送中のとき制御出力を ON にします。
- 出力1放送中 : 出力1の音声出力から音声が出力されているとき制御出力を ON にします。
- 出力2放送中 : 出力2の音声出力から音声が出力されているとき制御出力を ON にします。
- エラー : ERROR 表示灯が点灯しているとき制御出力を ON にします。

### 第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定 NX-300 設定ソフトウェア:制御出力を設定する

● NX-100/100S の場合

- 標準 : 標準の動作モードです。パソコンや、自機または他機の接点ブリッジ制御により制御出力 を ON にします。
- ステータス : STATUS 表示灯が点灯しているとき制御出力を ON にします。

エラー : ERROR 表示灯が点灯しているとき制御出力を ON にします。

④種類

制御出力の種類を選択します。 設定する機器によって選択できる内容が異なります。

● NX-300 の場合

「モーメンタリー」に固定されています。

● NX-100/100S の場合

モーメンタリー : 起動要求を受信してから停止要求を受信するまでの間出力します。

ラッチ : 起動要求および停止要求を受信すると、1秒間出力します。

### ご注意

1秒以内に起動・停止動作が行われた場合は、動作保証されません。

メモ

制御出力でモードを「標準」以外にしている場合は、「モーメンタリー」に固定となります。

[モーメンタリー]



#### ⑤ 極性

制御出力の極性を選択します。

メイク : ON のときに電流を流し、OFF のときに電流を遮断します。 ブレイク : ON のときに電流を遮断し、OFF のときに電流を流します。

⑥ OFF 遅延時間

終了要求を受信してから、実際に制御出力を OFF にするまでの遅延時間を、0 ~ 60 秒の範囲で設定します。 動作モードが標準以外の場合は設定できません。

ON

第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定 NX-300 設定ソフトウェア:シリアルブリッジを設定する

# / シリアルブリッジを設定する(NX-100のみ)

NX-100を設定する場合のみ、シリアルブリッジを設定できます。



## 2 各項目を設定する。

①有効

チェックを入れると各項目が入力可能な状態になります。

②プロトコル

シリアルブリッジの通信方式を選択します。

TCP サーバー : この機器が TCP サーバーになって通信を行います。

- TCP クライアント: この機器が TCP クライアントになって通信を行います。チェックすると、接続先が 選択可能になりますので、設定値を選択してください。
- UDP
   : UDP 通信を行います。チェックすると、接続先が選択可能になりますので、設定値

   を選択してください。

③接続先

接続する機器を選択します。

ご注意

選択できるのはプロトコルで「TCP クライアント」または「UDP」を設定しているときのみです。

④ボーレート

「9600」、「19200」、「38400」、「57600」、または「115200」から選択します。

⑤ データ長

「7 bit」または「8 bit」から選択します。

⑥ パリティ

「偶数」、「奇数」、または「なし」から選択します。

- ストップビット
   「1 bit」または「2 bit」から選択します。
- ⑧フロー制御

フロー制御の種類を選択します。

- なし : フロー制御をしません。
- Xon/Xoff : ソフトウェアフロー制御をします。
- ハードウェア : ハードウェアフロー制御をします。
- ⑨自動切断時間 [分]

接続先の通信がない場合の切断までの時間(タイムアウト時間)を 0 ~ 60 分の範囲で設定します。 「0」に設定すると切断しません。 プロトコルで「TCP サーバー」または「TCP クライアント」を設定しているときのみ有効です。

10 RAW データを送受信する

データを RAW データで送受信するときにチェックします。 通常はデータ以外に NX-100 間で利用する制御情報が流れます。RAW データは制御情報を付加しないで通 信を行います。ただし、相手機器との通信が切断しても検知できないことがあります。 プロトコルで「TCP サーバー」または「TCP クライアント」を設定しているときのみ有効です。

### ご注意

シリアルブリッジ機能のデータ送信タイミングは、次のどちらかになります。

- 20 ms 間隔
- 20 ms 以内に送信データが 1024 byte になったとき

20 ms より短い間隔で、1024 byte 未満のデータを通信する機器には使用できません。

## 音源ファイルを設定する

NX-300 に音源ファイルをアップロードしたり、NX-300 にアップロードされた音源ファイルを削除したりす ることができます。NX-300に音源ファイルを追加する条件は、以下のとおりです。

ファイル形式	5	WAV
サンプリング周波数	:	8 kHz、16 kHz、32 kHz、48 kHz
コーデック	:	PCM、Sub-Band ADPCM
最大保存件数	:	8件
最大保存サイズ	:	1 件あたり 1 MB
量子化ビット数	:	16 bit
チャンネル数	:	モノラル

### ご注意

- 音源ファイルの追加、削除中は本機前面の BUSY 表示灯が点滅します。絶対に再起動したり、電源を切っ たりしないでください。
- コーデックが Sub-band ADPCM のとき、または音源回数を 1 ~ 10 に設定するときは、音源ファイルの先 頭と末尾に無音を挿入してください。

メモ

音源ファイルのアップロードおよび削除は、ブラウザーで設定することもできます。詳しくは、P. 4-7「音 源ファイル管理」をお読みください。

## 音源ファイルをアップロードする

1 設定編集画面の機器リストで設定する機器を選択する。

2 「音源ファイル」タブを選択し、[音源ファイルアップロード] ボタンをクリックする。 音源ファイルアップロード画面が表示されます。 機器に接続できない場合は、エラーダイアログが表示されます。

ž	5源ファイルアップロード		x	
	参照ボタンを押して、音 (アップロード可能	源ファイルを選択してく な音源ファイル数:≀	ください。 3)	
	C:¥Melody.wav		参照	3
		アップロード	キャンセル	

3 [参照] ボタンをクリックする。

ファイル選択ダイアログが表示されます。

Ctrl ボタンを押しながらクリックすると、複数のファイルを選択することができます。

### 第3章 NX-300 設定ソフトウェアによるシステムの設定 NX-300 設定ソフトウェア: 音源ファイルを設定する

₩ 開く				×
← → · ↑ 🖺 > PC	› ドキュメント	ٽ ~	ドキュメントの検索	Q
整理 ▼ 新しいフォルダー				•
🖈 クイック アクセス	~ 名前	トラ タイトル	参加アーティスト	דוע
a OneDrive	Melody.wav			
PC				
	<		_	>
77411	名(N): Melody.way	~	*.way	~
	Heledy.Wav	-	問((0) = #	21711

**4** 音源ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックする。

アップロードする音源ファイルの一覧が表示されます。

音源ファイルアップロード	x
参照ボタンを押して、音 (アップロード可能	源ファイルを選択してください。 な音源ファイル数:8)
C:¥Melody.wav	参照
5	アップロード キャンセル

5 [アップロード] ボタンをクリックする。 NX-300 に音源ファイルがアップロードされます。

## ■ 音源ファイルを削除する

1 設定編集画面の機器リストで設定する機器を選択する。

2 「音源ファイル」タブを選択し、[音源ファイル削除] ボタンをクリックする。 音源ファイル削除画面が表示されます。 機器に接続できない場合は、エラーダイアログが表示されます。

音	源ファイル削除			x
	削除する音源ファイルを選	【択してください。		
	Melody1.wav			
	Melody2.wav			
		削除	キャンセル	

3 削除したい音源ファイルをクリックし、[削除] ボタンをクリックする。 音源ファイルを削除します。 複数の音源ファイルを選択して削除することもできます。

## 一設定編集画面のメニューからの操作

### ■ 機器設定ファイルを保存する

機器設定ファイルを規定の場所\*に保存します。
\* NX-300 設定ソフトウェアのデータフォルダーです。場所を指定して保存することはできません。

メニューから [ファイル] → [上書き保存] を選択します。

## ■ システム名・パスワードを変更するとき

現在のシステム名を変更したいときは、名前をつけて保存すると変更できます。パスワードも変更できます。

**1** メニューから [ファイル] → [名前を付けて保存] を選択する。 システムを保存するダイアログが表示されます。

	名前を付けて保存	×
	システム名 StationSystem2	2
	パスワード	
	(●●●●● パスワード (再入力)	3
4	ОК <i>キャンセル</i>	

2 システム名とパスワードを入力する。

システム名およびパスワードは半角英数記号1~15文字で設定してください。

### ご注意

システム名に ¥/:\*?"<> | および半角スペースは使用できません。

3 確認のため、「パスワード(再入力)」に、手順2で入力したパスワードを入力する。

**4** [OK] ボタンをクリックする。

## ■ システムのパスワードを変更するとき

現在のシステムのパスワードを変更することができます。

1 メニューから [ファイル] → [パスワード変更] を選択する。 パスワードを変更するダイアログが表示されます。

	パスワード変更 ×	
	古いパスワード	2
	新しいパスワード	2
	新しいバスワード(再入力)	3
4	ОК <i>キャンセル</i>	

- 2 古いパスワードと新しいパスワードを入力する。 パスワードは半角英数記号1~15文字で設定してください。
- 3 確認のため、「新しいパスワード(再入力)」に、手順2で入力した新しいパスワードを入力する。
- **4** [OK] ボタンをクリックする。
- 5 メニューから [ファイル] → [上書き保存] を選択する。 パスワードを変更した機器ファイルが保存されます。

## ■ 機器設定ファイルをアップロードする

現在開いている機器設定を NX-300、NX-100 または NX-100S ヘアップロードします。

1 メニューから [ファイル] → [上書き保存] を選択する。 機器設定ファイルが保存されます。

2 メニューから [ツール] → [設定アップロード] を選択する。 アップロードする機器を選択するダイアログが表示されます。

設	設定アップロード >				
ſ		機種名	機器名	IPアドレス	
	-	NX-300	中央駅	192.168.10.11	
	-	NX-300	A駅	192.168.10.12	
	-	NX-300	B駅	192.168.10.13	
	-	NX-300	C駅	192.168.10.14	
	✓	NX-100	事務室	192.168.10.21	
l	✓	NX-100	駐車場	192.168.10.22	
				74774	
	Ê	É(選択		( 肝 际 OK キャンセル	

**3** 機器一覧からアップロードする機器を選択し、[OK] ボタンをクリックする。

ご注意

機器設定ファイルのアップロードには時間がかかりますが、アップロード中は絶対に NX-300、NX-100 また は NX-100S の電源を切らないでください。

アップロード終了後、機器が自動的に再起動します。

## ■ 機器設定ファイルをダウンロードする

現在接続されている NX-300、NX-100 および NX-100S の設定内容を NX-300 設定ソフトウェアに読み込みます。

**1** メニューから [ツール] → [設定ダウンロード] を選択する。 ダウンロードする機器を選択するダイアログが表示されます。

	機種名	機器名	IPアドレス
✓	NX-300	中央駅	192.168.10.11
~	NX-300	A駅	192.168.10.12
✓	NX-300	B駅	192.168.10.13
~	NX-300	C駅	192.168.10.14
✓	NX-100	事務室	192.168.10.21
✓	NX-100	駐車場	192.168.10.22
		A-	7 42 R

**2** 機器一覧からダウンロードする機器を選択し、[OK] ボタンをクリックする。

ダウンロード後、NX-300 設定ソフトウェアが保持している設定と、機器が保持している設定の比較結 果が表示されます。

設定が一致する場合は「差分なし」、一致しない場合は「差分あり」と表示されます。

機種名	機器名	IPアドレス	結果
NX-300	中央駅	192.168.10.11	差分あり
NX-300	A駅	192.168.10.12	差分なし
NX-300	B駅	192.168.10.13	差分なし
NX-300	C駅	192.168.10.14	差分なし
NX-100	事務室	192.168.10.21	差分あり
NX-100	駐車場	192.168.10.22	差分なし

**3** 内容を確認し、[OK] ボタンをクリックする。

機器からダウンロードした設定が NX-300 設定ソフトウェアに反映されます。

メモ

NX-300 設定ソフトウェアに反映させないときは [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

4 ダウンロードした設定を保存する場合は、メニューから [ファイル] → [上書き保存] を選択する。

機器設定ファイルが保存されます。

## ■ パソコンの時刻をアップロードする

システムの時刻は、NTP 機能により補正できますが、パソコンの時刻情報を NX-300 ヘアップロードすることもできます。

**1** [ツール] → [時刻アップロード] を選択する。 アップロードする機器を選択するダイアログが表示されます。

2 機器一覧からアップロードする機器を選択し、[OK] ボタンをクリックする。 NX-300の時刻が、パソコンの時刻に補正されます。

## ■ ネットワーク項目を編集できないようにする

ネットワーク設定項目を編集するかどうかを設定することができます。 誤ってネットワーク設定を書き換えてアップロードし、パソコンと NX-300 がつながらなくなってしまうこ とを防ぐことができます。

**1** メニューから [ツール] → [オプション] を選択する。 オプション画面が表示されます。

2 「機器のネットワーク設定を変更する」のチェックを外す。

**3** [OK] ボタンをクリックする。 オプション画面が閉じます。

[ネットワーク] タブを表示すると、ネットワーク設定ができないようになっています。

メモ

再びネットワーク設定を編集する場合は、オプション画面の「機器のネットワーク設定を変更する」にチェックを入れてください。

## ■ TOA 商品データダウンロードサイトにアクセスする

TOA 商品データダウンロードサイトにアクセスします。 メニューから [ヘルプ] → [ダウンロードサイト] を選択してください。 パソコン既定のブラウザーが起動します。

## ■ NX-300 設定ソフトウェアのバージョンを確認する

NX-300 設定ソフトウェアのバージョンを表示します。 メニューから [ヘルプ] → [バージョン情報] を選択してください。

### [バージョンアップ情報]

NX-300 ファームウェア、ソフトウェア(NX-300 設定ソフトウェア、NX-300 検出ソフトウェア、NX-300 操 作ソフトウェア)、および説明書(設置・設定説明書、操作説明書)の最新版を TOA 商品データダウンロー ドサイト(https ://www.toa-products.com/)で公開しています。 ダウンロードサイトにアクセスし、最新のものをダウンロードしてお使いください。

# / システム設定例

システム例に沿って、制御パターン、放送パターン、接点ブリッジパターン、制御入出力などの設定のしかたを具体的に説明します。

## ■システム例

ネットワークで結ばれている鉄道の駅間で使用する放送システムの例です。 3つの駅(A駅、B駅、C駅)の放送を中央駅で管理することを想定しています。



各駅には次のような機器が設置されます。

設置場所	設置機器	備考
中央駅	NX-300	
	マイク	
	ミキサー	ラインレベルの音声信号を本機の音声入力1に接続します。
	スイッチボックス	押している間だけ無電圧信号を出力するモーメンタリースイッチを 使います。このシステム例の使用例をすべて行うには、スイッチは 3 つ必要です。
	パソコン	あらかじめ NX-300 検出ソフトウェア、NX-300 設定ソフトウェア、 NX-300 操作ソフトウェアをインストールしておきます。 ( <b>I</b> ☞ P. 3-3「ソフトウェアをインストールする」)
A駅、B駅、	NX-300	
C 駅 	アンプ	無電圧の制御信号で起動できるものを使用します。 また、本機の音声出力1をライン入力端子に接続します。
	スピーカー	

## ■ 駅構内にアナウンスを放送するとき

使用例 ①

中央駅からA駅に、スイッチボックスを使ってアンプを接点起動させ、マイクで駅構内 アナウンスを放送する

● 設定のしかた

1 中央駅のパソコンでNX-300検出ソフトウェアを立ち上げ、それぞれの駅に設置してある NX-300のIPアドレスを設定する。

設定のしかたは、P. 3-10「NX-300 検出ソフトウェアを起動する」をお読みください。

2 中央駅のパソコンでNX-300 設定ソフトウェアを立ち上げ、中央駅に設置されているNX-300 に対して次のとおりに放送パターンの設定をする。

🖥 StationSystem - NX-300設定ソフトウェア		_	×
ファイル(E) ツール(I) ヘルプ(H)			
システムを構成する機器			
NX-300: 4 NX-100: 0 NX-100S: 0 Total: 4/5	00		
	王成政定		
追加 インポート	ネットワーク 放送スペック パターン 制御入出力 音源ファイル		
	制御パカ 按洋パタ 接方ゴリッジパタ		
	前面ハック 派区ハック 送点フラフラハック		
NX-300 492168 10 12			 
NX-300 B駅 192,168,10.13	No. バターン名 追加		
□ NX-300 C駅 192.168.10.14	1         A駅向けマイク放送         削除		
	ハターン名 A駅向けマイク放送 機器数:1		
	方向 送信 > 機器名		
	入力音源 入力1 × ▲ A駅		
	出力先 出力1 × B駅		
全て選択 全て解除 削除			

パターン名	A 駅向けマイク放送
方向	送信
入力音源	入力 1
出力先	出力 1
接続先	A 駅の NX-300 機器名

3 手順2同様、NX-300 設定ソフトウェアで中央駅に設置されている NX-300 に対して、次のとおりに接点ブリッジパターンの設定をする。

🖥 StationSystem - NX-300設定ソフトウェア - ロ 🗙
ファイルE ツールロ ヘルプ(H)
>>ステムを壊成する機器
NX-300: 4 NX-100: 0 NX-1005: 0 Total: 4/500 全時時定
NX-300-4       NX-100:0       NX-100:0       total:4/500       全般変         第200       インボート       第200       全般変         第484-6       1977/1/2       新潟スパック       パターン         第485-6       1972/1/2       新潟スパック       パターン         第485-7       192.166.10.11       1       新潟(19-2)       致生点ブリッジ(ワーン         NN-300       日秋       192.166.10.12       1       ASR(1972)       1       ASR(1972)         NN-300       日秋       192.166.10.13       1       ASR(1972)       1       ASR(1972)       1       ASR(1972)       1       1       ASR(1972)       1       1       1       ASR(1972)       1

パターン名		A 駅向けアンプ起動
接点ブリッジ 機器名		A 駅の NX-300 機器名
	制御出力番号	1(A 駅の NX-300 にアンプが接続されている制御出力番号)

**4** 手順2同様、NX-300 設定ソフトウェアで中央駅に設置されている NX-300 に対して、次のとおりに制御パターンの設定をする。

🐺 StationSystem - NX-300設定ソフトウェア		_	×
ファイル(E) ツール(I) ヘルプ(H)			
○システムを構成する機器			
NX-300: 4 NX-100: 0 NX-100S: 0 Total: 4/50	00 全般設定		
追加 インポート	ネットワーク 放送スペック パターン 制御入出力 音源ファイル		
	制御パターン 放送パターン 接点ブリッジパターン		
□ NX-300 中央駅 192.168.10.11			
□ NX-300 A駅 192.168.10.12	No パターンタ 優失度 追加		
□ NX-300 B駅 192.168.10.13	1 Δ駅向け駅場内ア±ήソス 6		
NX-300 C駅 192.168.10.14	Ballstratight / / / / / / / / / / / / / / / / / / /		
	No. 1 *		
	パターン名 A駅向け駅横内アナウンス		
	優先度 6 <sup>∨</sup>		
	No. //ターン名		
	I A駅向けマイク放送		
	帝观隘 [kbps] 130.00		
	接点ブリッジパターン A駅向けアンプ起動 ×		
全て選択 全て解除 削除			

パターン名	A駅向け駅構内アナウンス
優先度	6
放送パターン	A駅向けマイク放送
接点ブリッジパターン	A駅向けアンプ起動

5 手順2同様、NX-300 設定ソフトウェアで中央駅に設置されている NX-300 に対して、次のとおりに制御入力の設定をする。

🖥 StationSystem - NX-300設定ソフトウェア - ロ X										
ファイル(ビーツール(ビーヘルプ(円)										
システムを構成する機器										
NX-300: 4 NX-100: 0 NX-100S: 0 Total: 4/500	全般設定									
追加 インボート ネットワーク 放送スペック パターン 制御入出力 音源ファイル										
	制御入力制御出力									
□ NX-300 中央駅 192.168.10.11										
NX-300 A駅 192.168.10.12	制御入力番号									
NX-300 B駅 192.168.10.13	● 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 ○ 5 ○ 6 ○ 7 ○ 8									
L NX-300 C駅 192.168.10.14										
	☑ 有効									
	種類 モーメンタリー 、									
	極性 メイク 、									
	ノヤフリンク 時間 伝生									
	制御八ダーン A版同び取儀内アナリンス									
全て選択 全て解除 削除	全で選択 全て解除 <u>削除</u>									

制御入力番号	1
有効/無効	有効
種類	モーメンタリー
極性	メイク
チャタリング時間	標準
制御パターン	A 駅向け駅構内アナウンス

## 6 設定を各機器にアップロードする。

アップロードのしかたは、P. 3-70「機器設定ファイルをアップロードする」をお読みください。

### ● 操作のしかたと機器の動作

1 中央駅のスイッチボックスのスイッチ1を押し続ける。 A 駅の NX-300 の制御出力端子1 がメイクされ、A 駅のアンプが接点起動します。

**2** スイッチを押したままで、中央駅のマイクでアナウンスする。 アナウンスした内容が、A駅で放送されます。

**3** スイッチ1を押すのを止める。 マイク放送が終了します。

## ■ 駅構内に発車メロディーを放送するとき

### 使用例 ②

中央駅から B 駅に、スイッチボックスを使ってアンプを接点起動させ、発車メロディー 音源を放送する

### ● 設定のしかた

1 中央駅のパソコンでNX-300検出ソフトウェアを立ち上げ、それぞれの駅に設置してある NX-300のIPアドレスを設定する。

設定のしかたは、P. 3-10「NX-300 検出ソフトウェアを起動する」をお読みください。

2 中央駅のパソコンで中央駅に設置されている NX-300 に対して、発車メロディー音源(Melody. wav)をアップロードする。

NX-300 設定ソフトウェアからの音源ファイルのアップロードのしかたは、P. 3-65「音源ファイルをアッ プロードする」をお読みください。

ブラウザー接続からの音源ファイルのアップロードのしかたは、P. 4-7「音源ファイル管理」をお読み ください。

3 中央駅のパソコンでNX-300 設定ソフトウェアを立ち上げ、中央駅に設定されているNX-300 に対して次のとおりに放送パターンの設定をする。

M StationSystem - NX-300時定ソフトウェア		_	Π	×
シバール(ビ) シール(ビ) パルン(ビ)				
V人Tムを構成9回機器     NV 200-4 NV 100-0 NV 1005-0 Tetel 4/				
NA-500: 4 NA-100: 0 NA-1005: 0 16tal: 4/:	200 全般設定			
	ネットワーク 放送スペック パターン 制御入出力 音源ファイル			
機種名 機器名 IPアドレス	制御パターン 放送パターン 接点プリッジパターン			
NX-300 中央駅 192.168.10.11				
NX-300 A駅 192.168.10.12	No. パターン名 追加			
□ NX-300 B駅 192.168.10.13	1 A駅向けマイク放送			
LINX-300 C歌 192.168.10.14	2 B駅向け発車メロディー放送 削除			
	No. 2 Y 接続先			
	パターン名 B駅向け発車メロディー放送 機器数:1			
	方向 送信 > 111.88.4			
	音源ファイル:Melody.wav			
	音源ファイル選択			
	回数:制限なし、 >			
	出力先 出力1 ~			
全て選択 全て解除 削除				

パターン名	B 駅向け発車メロディー放送
方向	送信
入力音源	音源ファイル:選択した音源ファイル
	回数:制限なし
出力先	出力 1
接続先	B 駅の NX-300 機器名

**4** 手順3同様、NX-300設定ソフトウェアで中央駅に設置されている NX-300に対して、次のとおりに接点ブリッジパターンの設定をする。

\overline StationSystem - NX-300設定ソフトウェア		_	×
ファイル(F) ツール(T) ヘルプ(H)			
- システムを構成する機器			
NX-300: 4 NX-100: 0 NX-100S: 0 Total: 4/500			
	王权权人		
追加 インポート オ	▼ットワーク 放送スペック パターン 制御入出力 音源ファイル		
	制御パターン 放送パターン 接点ブリッジパターン		
□ NX-300 中央駅 192.168.10.11			
NX-300 A駅 192.168.10.12	No パターンタ 追加		
□ NX-300 B駅 192.168.10.13			
NX-300 C駅 192.168.10.14	2         B駅向けアンプ記動         削除		
			— I
	No. 2 👻		
	パターン名 B駅向けアンプ記動		
	後点ノリック ##25%。1		
全て選択 全て解除 削除			

パターン名		B駅向けアンプ起動
接点ブリッジ	機器名	B 駅の NX-300 機器名
	制御出力番号	1(B 駅の NX-300 にアンプが接続されている制御出力番号)

5 手順3同様、NX-300 設定ソフトウェアで中央駅に設置されている NX-300 に対して、次のとおりに制御パターンの設定をする。

TationSys	tem - NX-300設定ソフトウェフ	<del>ب</del>		_	×
ファイル(F) ツー	ル(T) ヘルプ(H)				
ーシステムを構成	する機器				
NX-300: 4	NX-100-0 NX-10	005:0 Total: 4/5			
100 0001 4		0001 0 10tall 4/3	王般設定		
追加	インポート		ネットワーク 放送スペック パターン 制御入出力 音源ファイル		
機種名	機器名 IPアドレス		制御パターン 放送パターン 接点ブリッジパターン		
NX-300	中央駅 192.168.10.11				
NX-300	A駅 192.168.10.12		No パターン名 優先度 追加	1	
NX-300	B駅 192.168.10.13			_	
NX-300	C駅 192.168.10.14		2         R駅向け発車メロディー制御         6         削除		
			No. 2 *		
			パターン名 B駅向け発車メロディー制御		
			優先度 6 >		
			前洋パターン		
			▲」2 Bit(同1)完单人口71-003		
			帯域幅 [khns] -		
			Abrahatin (knhol -		
			接点ブリッジパターン B駅向けアンプ起動 ×		
全て選択	全て解除	削除			

パターン名	B駅向け発車メロディー制御
優先度	6
放送パターン	B駅向け発車メロディー放送
接点ブリッジパターン	B駅向けアンプ起動

6 手順3同様、NX-300 設定ソフトウェアで中央駅に設置されている NX-300 に対して、次のとおりに制御入力の設定をする。

👹 StationSystem - NX-300設定ソフトウェア			-	×
ファイル(E) ツール(I) ヘルプ(H)				
システムを構成する機器				
NX-300: 4 NX-100: 0 NX-100S: 0 Total: 4/50	00 全般設定			
追加 インポート	ネットワーク   放送スペック   バ	9-2 制御入出力 音源ファイル		
機種名 機器名 IPアドレス	制御入力 制御出力			
NX-300 中央駅 192.168.10.11				
□ NX-300 A駅 192.168.10.12	制御入力番号			
□ NX-300 B駅 192.168.10.13 □ NX-300 C駅 192.168.10.14	○ 1	○ 4 ○ 5 ○ 6 ○ 7 ○ 8		
	_			
	✓ 有効			
	種類 7	E-メンタリ- ~		
	極性 ン	イク ~		
	チャタリング時間 オ	票準		
	制御パターン E	駅向け発車メロディー制御 ~		
全て選択 全て解除 削除				

制御入力番号	2
有効/無効	有効
種類	モーメンタリー
極性	メイク
チャタリング時間	標準
制御パターン	B駅向け発車メロディー制御

## 7 設定を各機器にアップロードする。

アップロードのしかたは、P. 3-70「機器設定ファイルをアップロードする」をお読みください。

### ● 操作のしかたと機器の動作

1 中央駅のスイッチボックスのスイッチ2を押し続ける。
B 駅の NX-300 の制御出力端子1 がメイクされ、B 駅のアンプが接点起動します。
スイッチ2を押している間、発車メロディー音源が放送されます。

# 2 スイッチ2を押すのを止める。

発車メロディーの放送が終了します。

## ■ パソコンを使って駅構内に発車メロディーを放送するとき

### 使用例 ③

中央駅から C 駅に、NX-300 操作ソフトウェアを使ってアンプを接点起動させ、発車メ ロディー音源を放送する

### ● 設定のしかた

7 中央駅のパソコンでNX-300 検出ソフトウェアを立ち上げ、それぞれの駅に設置してある NX-300 の IP アドレスを設定する。

設定のしかたは、P. 3-10「NX-300 検出ソフトウェアを起動する」をお読みください。

2 中央駅のパソコンで中央駅に設置されている NX-300 に対して、発車メロディー音源(Melody. wav)をアップロードする。

NX-300 設定ソフトウェアからの音源ファイルのアップロードのしかたは、P. 3-65「音源ファイルをアッ プロードする」をお読みください。

ブラウザー接続からの音源ファイルのアップロードのしかたは、P. 4-7「音源ファイル管理」をお読み ください。

3 中央駅のパソコンでNX-300 設定ソフトウェアを立ち上げ、中央駅に設定されているNX-300 に対して次のとおりに放送パターンの設定をする。

StationSustam_NV.300設定Vコトウェア	_	 ×
		~
NA-300:4 NA-100:0 NA-1003:0 IOtal: 4/500 全般設定		
19+19 ハーゼ ネットワーク 放洋フバック パクーン 制御入出力 奈適ファイル		
機種名 機器名 IPアドレス 制御パターン 放送パターン 接点ブリッジパターン		
□NX-300 中央駅 192.168.10.11		
□ NX-300 A駅 192.168.10.12 No. パターン名 追加		
□ NX-300 B駅 192.168.10.13 1 A駅向けマイク放送		
□□□NX-300□Cm 192.768.70.14 2 B駅向け発車メロディー放送 削除		
3  C駅向け発車メロディー放送		
No. 3 送続先		
パターン名		
方向送信 > 横县名		
入力会演 会演ファイル × 日本		
音源:ファイカ:Melody.wav		
音源ファイル選択		
回数:1		
出力先 出力1 ~		
全て羅択 全て解除 削除		

パターン名	C 駅向け発車メロディー放送
方向	送信
入力音源	音源ファイル
	回数:1
出力先	出力 1
接続先	C 駅の NX-300 機器名

### **4** 設定を各機器にアップロードする。 アップロードのしかたは、P. 3-70「機器設定ファイルをアップロードする」をお読みください。

5 中央駅のパソコンでNX-300 操作ソフトウェアを立ち上げ、中央駅に設置されている NX-300 に対して次のとおりに個別選択ボタンの設定をする。

ボタン設定 個別選択 一括選択		
登録内容一覧 表示 表示名 ✓ C駅向け発車>	表示名 放送パターン クリア	C駅向け発車メロディ       NAME     放送パターン名称       中央駅     A駅向けマイク放送       中央駅     B駅向け発車メロディー放送       中央駅     C駅向け発車メロディー放送
	制御出力端子 クリア	選択       NAME       1       2       3       4       5       6       7       8       9       10         □       中央駅       □ <td< td=""></td<>
ボタンの色		
		設定削除 完了

表示名	C 駅向け発車メロディー制御
放送パターン選択	C駅向け発車メロディー放送
制御出力番号	1(C 駅の NX-300 にアンプが接続されている制御出力番号)

● 操作のしかたと機器の動作

₩ NX-300操作ソフトウェア	
ファイル(F) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)	
ボタン 機器リスト ステータス	
	放送オプション 優先度 5 、 案急
	開始終了

手順:NX-300 操作ソフトウェアで [C 駅向け発車メロディー制御] ボタンをクリックする。 C 駅の NX-300 の制御出力端子 1 がメイクされます。 C 駅のアンプが接点起動し、発車メロディー音源が放送されます。

## ■ 発車メロディーの放送中にマイクから緊急放送をするとき

### 使用例 ④

中央駅から C 駅に、NX-300 操作ソフトウェアを使ってアンプを接点起動させ、発車メ ロディー音源を放送しているときにマイクから緊急放送をする

● 設定のしかた

**1** 使用例 ③の手順 1~5を設定する。

2 NX-300 設定ソフトウェアで、中央駅に設定されている NX-300 に対して次のとおりに放送パターンの設定をする。

StationSystem - NX-300設定ソフトウェア		_	×
ファイル(F) ツール(T) ヘルプ(H)			
->/7=/, 友進成する機器			
シスノムを備成9回機会 NV 200-4 NV 100-0 NV 1005-0 T-4-1-4/5			
NA-500: 4 NA-100: 0 NA-1003: 0 10tal: 4/5	全般設定		
	ネットワーク 放送スペック パターン 制御 3 出力 一会須ファイル		
道加 1フルート			
機種名 機器名 IPアドレス	制御パターン 放送パターン 接点ブリッジパターン		
■ NX-300 中央駅 192.168.10.11			
□ NX-300 A駅 192.168.10.12	No. パターン名 追加		
NX-300 B駅 192.168.10.13	1         A駅向けマイク放送		
└ NX-300 C駅 192.168.10.14	2         B駅向け発車メロディー放送         削除		
	3 C駅向け発車メロディー放送		
	<ol> <li>C駅向けマイク緊急放送</li> </ol>		
	No. 4 Y 接続先		
	パターン名 C駅向けマイク緊急放送 機器数:1		
	方向 送信 > +## 早夕		
		_	
		-	
	出力先 出力1 ~	-	
全て選択 全て解除 削除			

パターン名	C 駅向けマイク緊急放送
方向	送信
入力音源	入力 1
出力先	出力 1
接続先	C 駅の NX-300 機器名

3 手順2同様、NX-300 設定ソフトウェアでC駅に設置されている NX-300 に対して、次のとおりに制御パターンの設定をする。

フノボルE       *2.72/24       *2.73/24       *2.75/24       生放設工         第2302 4       NX-1006 N       NX-1005 0       Total: 4/500       生放設工         第2302 4       NX-1006 N       NX-1005 0       Total: 4/500       生放設工         第2302 4       NX-1006 N       NX-1005 0       Total: 4/500       生放設工         第456 第236 4       192.168.10.11             NX-300 4       192.168.10.12              NX-300 CFI       192.168.10.13               NX-300 CFI       192.168.10.14              NX-300 CFI       192.168.10.14              NX-300 CFI       192.168.10.14              NX-300 CFI       192.168.10.14               NX-300 CFI       192.168.10.14               No.	🕷 StationSystem - NX-300設定ソフトウェア					-	×
9.75/Lを構成する場響         NX-300:4       NX-1005;0       Total: 4/500         単加       インボート       金融放西         単加       インボート       水ン105;0       Total: 4/500         ● MX-300:4       192:168:10.11       ・       メントワーク       放点パクーグ         ● NX-300:0       中央根       192:168:10.12       ・       バクーンキ       ●         ● NX-300:0       FR       192:168:10.12       ・       ・       バクーンキ       ●         ● NX-300:0       FR       192:168:10.12       ・       ・       ・       ・       ●         ● NX-300:0       FR       192:168:10.14       ● <td< td=""><td>ファイル(E) ツール(T) ヘルプ(H)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>	ファイル(E) ツール(T) ヘルプ(H)						
NX-300:4       NX-100:0       NX-100:0       Total: 4/500       全般設置         通加       インボート       キットワーク       放送パワーク       第時の、出力       音雨ファイル         単振振       192:168.10.11        100.000       第日の「クック       第日の「クック       第日の「クック       第日の「クック       第日の「クック       第日の目が現在のファクンス       100.000       10	システムを構成する機器						
センボート     マッパレス     マッパレス	NX-300: 4 NX-100: 0 NX-100S: 0 Total: 4/5	600 全般設定					
通加       インボト       第271-27       第355人152       第35.75%         W444       W454       IP2-168.10.11        1         NX-300       BS       192.168.10.12        1       AR(n)15%/(B/S) (G/S)       6       1         NX-300       BS       192.168.10.14        No.       1/9-2/6       使先度       第30         NX-300       CR       192.168.10.14        No.       1/9-2/6       使先度       第30         NX-300       CR       192.168.10.14        No.       1/9-2/6       (G/S, R)       1/9/10         NX-300       CR       192.168.10.14        No.       3           NA:300       CR       192.168.10.14        No.       3           No.       192.168.10.14        No.       3			1875 St. 440000 (1) 1 (1) 100000 (1)				
<ul> <li>職種名 職員名 IPアドレス         <ul> <li>NX-300 中央駅 192-166.10.11</li> <li>NX-300 月</li> <li>122.166.10.12</li> <li>NX-300 日</li> <li>132.166.10.14</li> </ul> </li> <li>NX-300 C駅 192.166.10.14</li> <li>No. 1(9-)2(4 保先度         <ul> <li>14.4駅内1好福内7/1000 6</li> <li>3</li> <li>C駅内10月空(7)(200)</li> <li>1122.166.10.14</li> </ul> </li> <li>No. 1(9-)2(4 保先度         <ul> <li>14.4駅内1好福内7/1000 6</li> <li>3</li> <li>C駅内10月空(7)(200)</li> <li>1122.166.10.14</li> </ul> </li> <li>No. 1(9-)2(4 保用1)(2(200)</li> <li>122.166.10.14</li> <li>No. 1(9-)2(4 保用1)(2(200)</li> <li>122.166.10.14</li> </ul> <li>No. 1(9-)2(4 保用1)(2(200)</li> <li>132.166.10.14</li> <li>No. 1(9-)2(4 保用1)(2(200)</li> <li>122.166.10.14</li> <li>No. 1(9-)2(4 保用1)(2(200)</li> <li>132.166.10.14</li> <li>No. 1(9-)2(4 (R)(10)(2(200))</li> <li>123.166.10.14</li> <li>No. 1(12-)2(1200)</li> <li>132.166.10.14</li> <li>No. 1(12-)2(1200)</li> <li>124.101(12(1000))</li> <li>132.166.10.14</li> <li>No. 1(12-)2(1200)</li> <li>132.166.10.14</li> <li>No. 1(10-)2(1200)</li> <li>124.101(12(1000))</li> <li>124.101(12(1000))</li> <li>130.00</li>	追加インポート	ネットリーク   放送人ベック	ハターン 制御人出力   音源ノアイル				
□         Nx-300         中央駅         192.168.10.12         10.0           □         NX-300         日駅         192.168.10.13         10.0 <td>機種名 機器名 IPアドレス</td> <td>制御パターン放</td> <td>送パターン 接点ブリッジパターン</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	機種名 機器名 IPアドレス	制御パターン放	送パターン 接点ブリッジパターン				
Nx-300         A駅         192.168.10.12         通加           NX-300         B駅         192.168.10.13         日本町町が居内アナウンス         6         日本町町が居内アナウンス         6         日本町町が居内アナウンス         6         日本町町が居内アナウンス         6         日本町町が居内アナウンス         6         日本町町が居内アナウンス         6         日本町         町         町         町         町         町         町         町         日本町         回         町         町         回         町         回         0         1         1         回         0         1	NX-300 中央駅 192.168.10.11						
NX-300       B駅       192.168.10.13         1       A駅向け発車パワナイシジス       6         2       B駅向け発車ズロディー制添       6         3       C駅向けマイク緊急制添       1	□ NX-300 A駅 192.168.10.12	No. パターン名		優先度	追加		
NX-300 C部       192.168.10.14         2       B駅向け発車Xロディ和卵         3       C駅向けぞク緊急制御         1       1         No.       3         パターン名       C駅向けアイク緊急制御         (パターン名       C駅向けアイク緊急制御         1       A駅向ウマイク放送         2       B駅内中発車XDディー放送         2       B駅内中発車XDディー放送         2       B駅内中発車XDディー放送         2       B駅内中発車XDディー放送         2       B駅内中発車XDディー放送         2       C駅向中アイク緊急放送         第城幅 [kbps]       130.00         按点ブリッジパターン       C駅向中アイク緊急放送	NX-300 B駅 192.168.10.13	1 A駅向け駅構	内アナウンス	6			
3       C駅向けマイク緊急刺卵       1         No.       3       *         パターン名       C駅向けマイク緊急刺卵       (ワイク緊急刺卵)         愛先度       1:緊急       *         放送パターン       No.       パターン名         No.       パターン名       (駅向けマイク緊急刺卵)         (ワーン)       No.       パターン名         (日)       A駅向けマイク放送       2         2       日駅向け没意裏入口ディー放送       3         3       C駅向けマイク緊急刺卵       (ワーク)         (日)       A駅向け没で分放送       (日)         第城幅 [kbp3]       130.00       (日)         接点ブリッジパターン       C駅向けアンブ起動       *	□ NX-300 C駅 192.168.10.14	<ol> <li>B駅向け発車&gt;</li> </ol>	メロディー制御	6	削除		
No.       3 、         パターン名       C駅向けマイク緊急制御         優先度       1-緊急         放送パターン       No.         No.       パターン名         1       A駅向け交車メロディー放送         2       B駅向け交車メロディー放送         3       C駅向け交車メロディー放送         3       C駅向け交イク緊急数送         第城幅 [kbps]       130.00         接点ブリッジパターン       C駅向けアンブ起動		3 C駅向けマイク	緊急制御	1			
No.       3         パターン名       (股内1747)緊急刺激         優先度       1:緊急         放送パターン       No.         1       A駅内1747の放送         2       日駅向1分車取口ディ放送         3       C駅向1747の繁急放送         3       C駅向1747の繁急放送         第城幅 [kbp3]       130.00         接点ブリッジパターン       C駅向1777起動							
No.       3 、         パターン名       C駅向けマイク緊急制御         優先度       1:緊急 、         放送パターン       No.       パターン名         1       A駅向けマイク放送         2       B駅向け発車メロディー放送         3       C駅向けマイク緊急放送         第城幅 [kbps]       130.00         接点ブリッジパターン       C駅向けアンブ起動 、							
No.       3 、         パターン名       C駅向けマイク緊急制御         優先度       1.緊急 、         放送パターン       No. パターン名         No.       パターン名         回       1         A駅向けマイク緊急期御         三       2         B駅向け発車メロディー放送         □       1         A駅向けマイク緊急放送         第城幅 [kbps]         130.00         接点ブリッジパターン         (駅向けアンプ起動)、							
No.       3       *         パターン名       C駅向けマイク緊急制御         優先度       1.緊急         放送パターン       No.       パターン名         1       A駅向けマイク放送         2       B駅向け発車メロディー放送         3       C駅向けアマイク緊急放送         ダ4       C駅向けアンプ起動         接点ブリッジパターン       C駅向けアンプ起動							
パターン名       C駅向けマイク整急制御         優先度       1-緊急         放送パターン       No. パターン名         1       A駅向けマイク数送         2       D駅向け発車メロデイ-放送         3       C駅向けマイク数急放送         ダ       4         ご駅向けマイク数急放送         (Kbps]         130.00         接点ブリッジパターン         (駅向けアンプ起動 v)		No.	3 *				
使先度     1:緊急     ×     放送パターン     No. パターン名     1 A駅向けマイク放送     2 B駅向け発車メロデー放送     2 B駅向け発車メロデー放送     3 C駅向け発車メロデー放送     3 C駅向けマイク緊急放送     ボ幅 [kbps] 130.00     接点ブリッジパターン     「駅向けアンプ起動     ×		パターン名(	C駅向けマイク緊急制御				
xixパターン       No. パターン名         1       A駅(向けマイク放送         2       B駅(向け発車メロディ放送         3       C駅(向けアイク放き)         3       C駅(向けマイク緊急放送)         単点ブリッジパターン       C駅(向けアンブ起動)         全て編択       全て解除		優先度	1:緊急 *				
□       1       A駅向けマイク放送         □       2       B駅向け発車メロディ放送         □       3       C駅向けアイク放送         □       3       C駅向けマイク緊急放送         □       4       C駅向けマイク緊急放送         ■       帯城幅 [kbps]       130.00         接点ブリッジパターン       C駅向けアンプ起動 ×		放送パターン	No. パターン名				
□       2       B駅向け発車メロディー放送         □       3       C駅向け及車メロディ放送         □       3       C駅向けマイク緊急放送         ▼       4       C駅向けマイク緊急放送         事城幅 [kbps]       130.00         接点ブリッジパターン       C駅向けアンブ起動         全て編択       倉(時)			□ 1 A駅向けマイク放送				
3       C駅向け発車メロディー放送         ✓       4         ○       4         ○       4         ○       5         ○       5         ○       5         ○       130.00         按点ブリッジパターン       C駅向けアンブ起動         ◆       130.00		-	□ 2 B駅向け発車メロディ-	-放送			
全て選択       全て解除       削除			□ 3 C駅向け発車メロディ-	一放送			
事城幅 [kbps] 130.00         接点ブリッジパターン         C駅向けアンブ起動			✓ 4 C駅向けマイク緊急放	送			
第城幅 [kbps] 130.00         接点ブリッジパターン         C駅向けアンブ起動         全て選択         全て期除							
第城幅 [kbps] 130.00         接点ブリッジパターン         C駅向けアンブ起動							
金て選択       全て解除       削除							
全て選択       全て解除       削除							
電域幅 [kbps] 130.00         接点ブリッジパターン       C駅向けアンブ起動 、         全て選択       全て解除							
全て選択     全て解除     削除			帯域幅 [kbps] 130.00	]			
全て選択 全て解除 削除		接占ブリッジパターン	C駅向けアンプ記動	¥			
全て選択 全て解除 削除		BARTOTONY - 1	~ ゆくい リップノン 人名里加				
全て選択 全て解除 削除							
全て選択   全て解除   削除							
	全て選択 全て解除 削除						

パターン名	C駅向けマイク緊急制御
優先度	1
放送パターン	C駅向けマイク緊急放送
接点ブリッジパターン	C駅向けアンプ起動
4 手順2同様、NX-300設定ソフトウェアで中央駅に設置されている NX-300に対して、次のとおりに制御入力の設定をする。

		_	~
California StationSystem - NX-30U設定ソノトウェア	_	Ц	×
ファイルビーツールコーヘルプモ			
システムを構成する機器			
NX-300: 4 NX-100: 0 NX-1005: 0 Total: 4/500 全般設定			
追加 インポート ネットワーク 放送スペック パターン 制御入出力 音源ファイル			
###4 # ###4   PPドレフ   創御入力 創御出力			
NX:300 由本职 192158 1011			
- NX-30 A駅 192.168.10.12 単約3.5 共長			
□ NX-300 C駅 192.168.10.14			
種類 モーメンタリー ・			
極性 メイク ~			
チャタリング時間 標準 、			
創御パター>>			

制御入力番号	3
有効/無効	有効
種類	モーメンタリー
極性	メイク
チャタリング時間	標準
制御パターン	C駅向けマイク緊急制御

# 5 設定を各機器にアップロードする。

アップロードのしかたは、P. 3-70「機器設定ファイルをアップロードする」をお読みください。

#### ● 操作のしかたと機器の動作

- 1 中央駅の NX-300 操作ソフトウェアで [C 駅向け発車メロディー制御] ボタンをクリックする。 C 駅の NX-300 の制御出力端子 1 がメイクされます。 C 駅のアンプが接点起動し、発車メロディー音源が放送されます。
- 2 緊急放送が必要になったときは、スイッチ3を押し続ける。 発車メロディー放送が終了します。
- **3** スイッチ3を押したままで、中央駅のマイクでアナウンスする。 アナウンスした内容が、C駅で放送されます。
- **4** スイッチ3を押すのを止める。 マイク放送が終了します。

### ■ 夜間の放送音量を下げるとき

#### 使用例 ⑤

A駅、B駅、C駅では、夜間(23:00~2:00)は日中よりも低音量で構内放送をする

#### ● 設定のしかた

1 中央駅のパソコンでNX-300検出ソフトウェアを立ち上げ、それぞれの駅に設置してある NX-300のIPアドレスを設定する。

設定のしかたは、P. 3-10「NX-300 検出ソフトウェアを起動する」をお読みください。

2 NX-300 設定ソフトウェアで、各駅に設定されている NX-300 に対して、次のとおりに音量制 御スケジュールの設定をする。

🖏 StationSystem - NX-300設定ソフトウェア		- 🗆 X
ファイル(E) ツール(I) ヘルプ(H)		
システムを構成する機器		
NX-300: 4 NX-100: 0 NX-100S: 0 Total: 4/5	500 全般設定	
追加インポート	ネットワーク 放送スペック パターン 制御入出力 音源	ファイル
機種名 機器名 IPアドレス	◉ チャンネル1 ○ チャンネル2 ○ 音源ファイル	
□ NX-300 中央駅 192.168.10.11 □ NX-300 A駅 192.168.10.12	送信	音声入力
□ NX-300 B駅 192.168.10.13	サンプリング周波数 [kHz] 16 Y	● 平衡
□ NX-300 C駅 192.168.10.14	パケットサイズ [byte] 64 、	○ 不平衡
	受信	ゲイン調整 [dB] 0 V
	サンプリング周波数 [kHz] 16 ×	□ スルーアウト 有効
	Il trubit d' [bute] 64 Y	
	音声圧縮 ON ×	インフォメーション
	「マルチキャフト右効	送信
	マルチキャストアドレス1 225.0.0.1	帯域幅 [kbps] 130.00
	マルチキャストアドレス2 225.0.0.2	遅延 [秒] 0.08
		受信
	✓ 音重制御スリシュール 有効	帯域幅 [kbps] 130.00
	開始時刻 終了時刻 音量 [dB]	追加 遅延 [秒] 0.08
	23:00 2:00 -6	編集
		削除
全て選択 全て解除 削除		

有効	ON
開始時刻	時:23
	分:00
終了時刻	時:02
	分:00
音量 [dB]	-6

### 3 設定を各機器にアップロードする。 アップロードのしかたは、P. 3-70「機器設定ファイルをアップロードする」をお読みください。

#### ● 機器の動作

各駅では、放送される内容が、毎日 23:00 ~ 2:00 の間は日中よりも 6 dB 小さい音量になります。

メモ 設定後に各機器の操作は必要ありません。

第4章

ブラウザーによる 設定と管理

# ブラウザーでの設定について

システムを管理するパソコンからブロードキャストが伝送できない範囲にある NX-300 の場合は、別のパソ コンを使ってブラウザー\*からその NX-300 に接続し、ネットワーク設定を書き換えてください。 ブラウザーでは、ネットワーク設定と保守機能の操作のみ行えます。

\* 動作確認済みのブラウザー:Internet Explorer 11、Google Chrome、Mozilla Firefox、Microsoft Edge

#### ご注意

- ●ブラウザーですべての設定を行うことはできません。ネットワーク設定を書き換えた後は、システムを管理するパソコンで、NX-300 設定ソフトウェアを使って手動でその機器を追加し、必要な設定を行ってください。(■③ P. 3-8 「設定手順」)
- ●工場出荷時は IP アドレスが重複していたり、パソコンと本機が同一ネットワークではない設定になっていることがあります。ブラウザーでネットワーク設定をする場合は、同一ネットワーク内に本機を1台だけ接続するか、設定するパソコンと設定する機器をネットワークから切り離し、クロスケーブルで直接接続して設定をしてください。
- 設定変更中に電源が切れると、故障の原因となります。
- ●設定の変更は、設定した機器の再起動後に反映されます。設定を変更したら必ず再起動してください。
   再起動時は放送が停止されます。

# 設定メニュー画面を表示させる

#### ご注意

パソコンと本機が通信できるように、パソコンのネットワーク設定をあらかじめ行ってください。 パソコンのネットワーク設定を適切に行わないと、ユーザー認証画面が表示できません。

1 ブラウザーを起動して URL を入力する。

※ 本機の工場出荷時の IP アドレスは「192.168.1.1」、Web サーバーポート番号は「80」です。 Web サーバーポート番号が「80」のときは、次の例のとおり、「: 80」の記述は省略できます。

URL	例
http://〈IP アドレス〉:〈Web サーバーポート番号〉	http://192.168.1.1

ユーザー認証画面が表示されます。

※使用するブラウザーによって、表示される画面は異なります。

Windows セキュリティ ×
iexplore.exe サーバー 192.168.1.100 がユーザー名とパスワードを要求しています。サーバーの 報告によると、これは TOA Product. からの要求です。 警告: ユーザー名とパスワードは、セキュリティで保護されていない接続で基本認証を 使用して送信されます。
<ul> <li>         トーザー名         <ul> <li>                 パスワード                 資格情報を記憶する                 </li> </ul> </li> </ul>
ОК +7>ZIL

2 ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックする。
※ ユーザー名には、接続しようとしている NX-300 に設定されているシステム名を入力します。
※ ユーザー名、パスワードは大文字、小文字を区別します。

工場出荷時は、システム名:NX-300、パスワード:guest になっています。 システム名とパスワードの変更は、P. 4-21 をお読みください。 ユーザー名とパスワードが正しく入力されると、設定メニュー画面が表示されます。

Packet Audio       NX-300       設置設定       IOP       ネットワーク設定       音源ファイル管理       ログ管理       システム管理	<u>Packet Audio</u> ネットワークオーディオアダプター NX-300
	<ul> <li>機器名称 NX-300</li> <li>IPアドレス 192:168:1:1</li> <li>サブネットマスク 255:255:05</li> <li>デフォルトゲートウェイ 0:0:0:0</li> <li>MACアドレス 00 - 05 - F9 - FF - 80 - 94</li> </ul>

#### ご注意

ブラウザーの各設定画面を表示するときに、ブラウザーの[戻る] ボタン、[進む] ボタンを使用すると 正しく表示されません。画面左側のメニューを使用してください。

/ >	くニュー項目	
×=	── ネットワーク設定 ( I® P. 4-5)	接続している NX-300 の IP アドレス、サブネット マスク、デフォルトゲートウェイを変更します。
·	──── 音源ファイル管理 ( 📭 P. 4-7)	接続している NX-300 に保存されている音源ファ イルを表示します。音源ファイルの追加・削除も できます。
	ー ログ管理 ( 📭 P. 4-11)	動作ログ、ストリームログを閲覧・保存すること ができます。現在の動作状況を閲覧することもで きます。
		パスワードの変更、機器設定ファイルのアップロー ド、ダウンロードなどを行います。 ※ システム管理メニューは、ソフトウェアを使っ てシステム設定および機能設定が完了している NX-300の保守田に使田します。

/ ネットワーク設定

画面左側のメニューから「ネットワーク設定」をクリックします。



①IPアドレス

接続している NX-300 の IP アドレスを入力します。(工場出荷時:192.168.1.1)

② サブネットマスク

サブネットマスクを設定してください。(工場出荷時:255.255.255.0)

③デフォルトゲートウェイ

所属するサブネット外の機器を使用する場合は設定してください。(工場出荷時:0.0.0.0)

④ポート番号

[TCP ポート番号割り当て]

- Web サーバー : Web サーバーのポート番号を入力します。入力可能な範囲は 1 ~ 65535 です。(工 場出荷時:80)
- FTP(データ用): FTP サーバーデータポートの番号を入力します。(工場出荷時:20)
- FTP(制御用) : FTP サーバー制御ポートの番号を入力します。(工場出荷時:21)
- 機器間制御 : NX-300 間の制御ポートの番号を入力します。(工場出荷時:35285)
- 開始ポート番号 : 本機で使用する Web サーバー、FTP、機器間制御以外の TCP ポートの先頭番号を 入力します。(工場出荷時:5000)

種類、ポート番号: NX-100/100S、NX-300 操作ソフトウェアの制御で使用するポートの種類とポート 番号の一覧を表示します。TCP ポートは以下のように割り当てられます。

種類	ポート番号	工場出荷時
放送制御	TCP 開始ポート番号 + 0	5000
PC 制御	TCP 開始ポート番号 + 1	5001
接点ブリッジ	TCP 開始ポート番号 + 2	5002

[UDP ポート番号割り当て]

開始ポート番号 : 本機で使用する UDP ポートの先頭番号を入力します。(工場出荷時:5000)

種類、ポート番号: UDP で使用するポートの種類とポート番号の一覧を表示します。UDP ポートは以下のように割り当てられます。

種類	ポート番号	工場出荷時
出力1放送	UDP 開始ポート番号 + 0	5000
出力2放送	UDP 開始ポート番号 + 2	5002
クロック補正	UDP 開始ポート番号 + 7	5007

⑤決定ボタン

接続している NX-300 の中の機器設定ファイルに書き込みます。

ご注意

ネットワークの設定は、変更してもすぐに更新されません。本機を再起動すると、新しい設定内容になります。 設定変更後は、画面右上に[再起動]ボタンが表示されますので、そのボタンを押して再起動してください。 / 音源ファイル管理

画面左側のメニューから「音源ファイル管理」をクリックします。

Packet Audio	■音源ファー	いて	雪理							
設置設定	ファイル追加						参照	追加	]	-1
ר=דא		No.	ファイル名	fs(kHz)	コーデック	サイズ(KB)	時間(秒)	削除		
TOP		1	FILE1.wav	16	PCM	312	10			
		2	FILE2.wav	16	PCM	312	10			
百線ノアイル管理		3	FILE3.wav	48	PCM	937	10			
<u>システム管理</u>	ファイル一覧	4	FILE4.wav	8	SBADPCM	27	4			-2
		5	FILE5.wav	16	SBADPCM	54	4			
		6	FILE6.wav	48	PCM	782	8			
		7	FILE7.wav	8	PCM	130	8			
		8		0		0	0			
	全消去	Ţ	〔 行							
			3)							

①ファイル追加

接続している NX-300 に音源ファイルを追加します。

②ファイル一覧

接続している NX-300 に保存されている音源ファイルを一覧表示します。 音源ファイルを削除したいときは、チェックを入れて[削除]ボタンをクリックします。

- ファイル名 :ファイル名を表示します。
- fs(kHz) :音源ファイルのサンプリング周波数を表示します。
- コーデック :音源ファイルの圧縮方式を表示します。
- サイズ(KB):音源ファイルのデータサイズを表示します。
- 時間(秒) :音源ファイルの時間を表示します。

③全消去

接続している NX-300 に保存された音源ファイルすべてを削除したいときは、[実行] ボタンをクリックします。

■ 音源ファイルを追加する

接続している NX-300 に音源ファイルを追加します。音源ファイルを追加する方法は次のとおりです。

**1** [参照] ボタンをクリックする。

[ファイルの選択] ダイアログが開きます。

🥝 アップロードするファイルの選択					×
🚱 🕞 🗣 📜 « Administrator 🕨 デスクト	ップ	<b>▼</b> 47	デスクトッ	プの検索	٩
整理 ▼ 新しいフォルダー				:≕ ▼ 🗖	0
名前	更新日時	利	類	サイズ	
FILE1.WAV					
FILE2.WAV					
FILE3.WAV					
FILE4.WAV					
FILE5.WAV					
FILE6.WAV					
ETLET WAY					
FILE8.WAV					
ファイル名(N):		-	すべてのファ	イル (*.*)	•
		2	開く( <u>O</u> )	+72	

**2** 音源ファイル(拡張子 wav)を選択し、[開く] ボタンをクリックする。

選択した音源ファイルのファイル名が表示されます。

<u>Packet Audio</u> NX-300 設置設定	<mark>■音源ファイ</mark> ファイル追加	イル管 (C¥	<b>ഈ</b> Users¥Admini	strator¥De	sktop¥FILE8.W	AV	参照	追加	<b>3</b> ⊃
רב_⊁		No.	ファイル名	fs(kHz)	コーデック	サイズ <mark>(KB)</mark>	時間(秒)	削除	
TOP		1	FILE1.wav	16	PCM	312	10		
<u>ネットワーク設定</u> 奈源コーイル 管理		2	FILE2.wav	16	PCM	312	10		
<u> 百源ノアイル官理</u> ログ管理		3	FILE3.wav	48	PCM	937	10		
<u>システム管理</u>	ファイル一覧	4	FILE4.wav	8	SBADPCM	27	4		
		5	FILE5.wav	16	SBADPCM	54	4		
		6	FILE6.wav	48	PCM	782	8		
		7	FILE7.wav	8	PCM	130	8		
		8		0		0	0		
	全消去	Ţ	行						

3 [追加] ボタンをクリックする。

選択した音源ファイルが接続している NX-300 に送られ、再起動後、ファイル一覧に追加されます。

Packet Audio	■音源ファイ	いて	雪理						
設直設正	ファイル追加						参照	追加	
メニュー		No.	ファイル名	fs(kHz)	コーデック	サイズ <mark>(KB)</mark>	時間(秒)	削除	
TOP		1	FILE1.wav	16	PCM	312	10		
<u>ネットワーク設定</u>		2	FILE2.wav	16	PCM	312	10		
<u> 百源ノアイル官理</u> ログ管理		3	FILE3.wav	48	PCM	937	10		
<u>システム管理</u>	ファイル一覧	4	FILE4.wav	8	SBADPCM	27	4		
		5	FILE5.wav	16	SBADPCM	54	4		
		6	FILE6.wav	48	PCM	782	8		
		7	FILE7.wav	8	PCM	130	8		
		8	FILE8.wav	16	PCM	260	8		
	 全消去	Į	ēîī -						

ご注意

- 音源ファイルの追加中は本機前面の BUSY 表示灯が点滅します。点滅中は再起動したり、電源を切ったりしないでください。
- 追加できる音源ファイルの条件は以下のとおりです。 ファイル形式 : WAV
   サンプリング周波数: 8 kHz、16 kHz、32 kHz、48 kHz
   コーデック : PCM、Sub-Band ADPCM
   最大保存件数 : 8 件
   最大保存サイズ : 1 件あたり 1 MB
   量子化ビット数 : 16 bit
   チャンネル数 : モノラル
- コーデックが Sub-band ADPCM のとき、または音源回数を 1 ~ 10 に設定するときは、音源ファイル の先頭と末尾に無音を挿入してください。
- 追加された音源ファイルは、再起動後から使用できます。BUSY 表示灯が消灯した後、再起動してく ださい。

### ■ ファイルー覧から音源ファイルを削除する

接続している NX-300 に保存されているファイル一覧から音源ファイルを削除します。

								2
	No.	ファイル名	fs(kHz)	コーデック	サイズ <mark>(KB)</mark>	時間(秋	削除	>
	1	FILE1.wav	16	PCM	312	10		
	2	FILE2.wav	16	PCM	312	10		
	3	FILE3.wav	48	PCM	937	10		
ファイル一覧	4	FILE4.wav	8	SBADPCM	27	4		1
	5	FILE5.wav	16	SBADPCM	54	4		1
	6	FILE6.wav	48	PCM	782	8		
	7	FILE7.wav	8	PCM	130	8		
	8	FILE8.wav	16	PCM	260	8		

1 削除したい音源ファイルにチェックを入れる。

2 [削除] ボタンをクリックする。

選択した音源ファイルが削除されます。

#### ご注意

- 音源ファイルの削除中は本機前面の BUSY 表示灯が点滅します。点滅中は再起動したり、電源を切ったりしないでください。
- ●再起動後、ファイル一覧から削除されます。

### ∎音源ファイルをすべて削除する

接続している NX-300 に保存された音源ファイルすべてを削除したいときは、全消去の [実行] ボタンをクリッ クしてください。



#### ご注意

- 音源ファイルの削除中は本機前面の BUSY 表示灯が点滅します。点滅中は再起動したり、電源を切ったり しないでください。
- ●再起動後、ファイル一覧から削除されます。

# ログ管理

画面左側のメニューから[ログ管理]をクリックすると、ログ管理メニューが表示されます。 接続している NX-300 の動作履歴を表示、保存します。



- 動作ログボタン 動作履歴を表示します。
- ストリームログボタン ストリーム受信履歴を表示します。
- ③ **ログ保存ボタン** 履歴をファイルとしてパソコンに保存します。
- ④ 動作状況ボタン 接続している NX-300 の現在の動作状況を表示します。

### ■ 動作ログ

ログ管理メニュー画面で [動作ログ] ボタンをクリックすると、 動作ログ画面が表示されます。 複数ページにわたり動作ログが表示されます。





#### [操作ボタン]

- 最新ボタン 動作ログを現在の情報に更新します。
- 前ページボタン 前のページに移動します。
- ③ 次ページボタン 次のページに移動します。
- ④ クリアボタン 動作ログをすべて消去します。

[表の項目]

⑤時刻

イベントが発生した時刻を表示します。

#### 6種類

ログの種類を表示します。

- SESSION : 機器間通信 REMOTE : パソコンからの制御 SWITCH : 制御入力の監視、接点ブリッジの制御 SYSTEM : システム情報 STREAM : 音声ストリームの状況
- CLOCK :時刻補正

#### ⑦要求元

通信相手の IP アドレスや制御入力などのイベントの要求元を示します。

⑧内容

イベントの内容を示します。 注意レベルの内容は黄色で、エラーは赤色で表示されます。

メモ

制御出力の動作モードを「エラー」に設定している場合、異常が発生している機器の動作ログのページを 表示させることで、制御出力を OFF にすることができます。 ■ ストリームログ

ログ管理メニュー画面で [ストリームログ] ボタンをクリック すると、ストリームログ画面が表示されます。





[操作ボタン]

- 更新ボタン 最新の情報に更新します。
- ② クリアボタン
  - ストリーム受信ログをすべて消去します。

#### [表の項目]

#### ③現在のストリーム

・ストリーム情報

現在受信中のストリーム情報を出力先ごとに表示します。

・受信ログ

出力先 : 出力先のチャンネルを表示	しま	す。	
--------------------	----	----	--

- 開始時刻 : イベントが発生した時刻を表示します。
- 送信元 : 音声ストリームの送信元 IP アドレスを表示します。
- 欠落補正 : 音声パケットが欠落したときの補正方式を表示します。
- 正常受信数 : 正しく受信したパケット数を表示します(エラーパケットや回復したパケット数は含まれません)。
- 欠落数 : ネットワーク障害により欠落したパケットのうち、回復しなかったパケットの数を表示します。
- 無音挿入数 : 音声出力で無音再生したパケットの数を表示します。

④過去の受信ログ

過去に受信したイベントのログを表示します(最大 20 件)。

「欠落」が増えると、ネットワークが混雑している可能性があります。

### ■ ログ保存

履歴をパソコンに保存するときは、以下の手順で行います。 使用するパソコンの OS、ブラウザーによって、表示される画面 は異なります。



	ブ管理メニュー
	動作ログ
	ストリームログ
(	ログ保存
	動作状況

通知バーが表示されます。

<b>192.168.1.1</b> から <b>192-168-1-1.log (</b> 21.4 KB) を開くか、または保存しますか?	ファイルを開く( <u>0</u> )	保存(S) +ヤンセル(C)	×
		2	

2 [保存] ボタンの右にある • をクリックし、「名前を付けて保存」を選択する。

保存場所を選択する画面が表示されます。

2 名前を付けて保存		x
<ul> <li>          ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	デスクトップの検索	٩
整理 ▼ 新しいフォルダー		?
名前		
検索条件に一致する項目はありません。		
<		+
ファイル名( <u>N</u> ): 192-168-1-1.log		Ţ
ファイルの種類( <u>I</u> ): テキスト ドキュメント (*.log)		•
<ul> <li>フォルダーの非表示</li> </ul>	保存(S) キャンセ	
	3	

**3**保存場所を選択してファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックする。

最初、ファイル名は [IP アドレス].log になっています。

### ■ 動作状況

ログ管理メニュー画面で [動作状況] ボタンをクリックすると、 動作状況画面が表示されます。



Packet Audio NX-300 設置設定	■動作状況 2016/03/09 15:54:04現在 更新	1
<mark>メニュー TOP</mark> <u>ネットワーク設定</u> 音源ファイル管理	D     制御セッション     方向     接続相手     圧縮     fs     欠落補正       1     クライアント     送信(入力1)     192.168.1.115     なし     48k     標準	2
<u>ログ管理</u> システム管理	制御入出力端子         チャンネル       1       2       3       4       5       6       7       8       9       10         入力       OFF       ON       OFF       OF	3
	点検結果       点検内容     結果       電源     -	
	<ul> <li>制御入力8 -</li> <li>音源ファイルNo.1 -</li> <li>音源ファイルNo.2 -</li> <li>音源ファイルNo.3 -</li> <li>音源ファイルNo.4 -</li> </ul>	(4)
	音源ファイルNo.5 - 音源ファイルNo.6 - 音源ファイルNo.7 - 音源ファイルNo.8 -	

[操作ボタン]

① **更新ボタン** 最新の状態に更新します。

#### [表の項目]

2放送

実行中の放送の状態を表示します。

③制御入出力端子

制御入出力の状態(ON/OFF)を表示します。無効に設定されている場合は「-」と表示されます。

④点検結果

故障検知機能( 📭 P. 3-27)の点検結果を表示します。

正常のときは「OK」と表示され、異常が見つかった場合は「NG」と表示されます。故障検知機能が無効のときは「一」と表示されます。

電源 :電源電圧の低下を検知します。

制御入力8 :制御入力8の回路の故障を検知します。

制御入力8の故障検知(┖☞ P. 3-56)を有効にした場合に表示されます。

音源ファイル No. 1 ~ 8 : NX-300 にアップロードされている音源ファイルの起動時読み込み失敗を検知 します。

音源ファイルがアップロードされている場合に表示されます。

システム管理

Packet Audio	■システム管理		
設置設定	機器情報 機器名称 NX-300		
メニュー TOP	機器情報変更		-(2)
<u>ネットノーン設定</u> 音源ファイル管理 ログ管理	システム名 (15文字以下の半角) 新しいパスワード	英数字) NX-300	
	(15文子以下の手角:	央数子) 新しいバスワード(確認)	-5
	 システム管理ユーティ	リティー [設定ファイルアップロード]	
		参照… アップロード [設定ファイルダウンロード]	
	設定ファイル	<u>タウンロード</u>	
		全設定を消去し、出荷時の設定に戻します。 現在のバージョン:1.0.0	
	ファームフェア更新	参照… ファームウェア更新 2016/03/15 19:23:34 時刻取得 設定	
	機器再起動	再起動	
		(11)	]

#### [機器情報]

機器の名前を入力します。最大で全角 15 文字、半角 31 文字まで入力できます。

#### ②機器情報変更ボタン

機器設定ファイルの機器の情報のみ更新します。

①機器名称

[ユーザー情報]

- ③ **システム名** システム名の変更をします。半角英数記号 1 ~ 15 文字で設定してください。
  - ご注意

システム名に¥/:\*?"<> | および半角スペースは使用できません。

④新しいパスワード

パスワードの変更をします。半角英数記号 1 ~ 15 文字以内で設定してください。

⑤ **ユーザー情報変更** 変更したシステム名、パスワードを更新します。

#### [システム管理ユーティリティー]

 設定ファイルアップロード バックアップしてある機器設定ファイルをアップロードします。

⑦ 設定ファイルダウンロード
 機器設定ファイルをパソコンにダウンロードします。

全設定消去
 全設定を消去し、工場出荷時の設定に戻します。
 工場出荷時は以下の設定になります。

IP アドレス : 192.168.1.1

- 機器名称 : NX-300
- システム名 : NX-300
- パスワード : guest

※ その他の設定については、ブラウザーまたは NX-300 設定ソフトウェアで接続してご覧ください。

- ファームウェア更新
   ファームウェア更新を行います。
- 時刻設定 NX-300の時刻を設定します。
- ⑪機器再起動

[再起動] ボタンをクリックすると本機を再起動します。設定内容を変更したら必ず再起動してください。 再起動後、変更が反映されます。

#### ご注意

- ●設定ファイルやプログラムの更新中は絶対に再起動しないでください。
- ●再起動すると、放送は停止されます。

■ システム名とパスワードを変更する

システム名とパスワードを変更することができます。



「システム名」に変更後のシステム名を入力する。

#### ご注意

システム名に¥/:\*?"<> | および半角スペースの記号は使用できません。

メモ

- ●表示されているのは現在のシステム名です。
- ●半角英数記号1~15文字で入力してください。
- 2 「新しいパスワード」に変更後のパスワードを入力する。 半角英数記号1~15文字以内で入力してください。

**3** 確認のため、「新しいパスワード(確認)」に手順2で入力した変更後のパスワードを入力する。 パスワードは確認のため同じものをもう一度入力してください。

**4** [ユーザー情報変更] ボタンをクリックする。 機器設定ファイルのユーザー情報のみ更新します。

#### ご注意

更新中は再起動したり、電源を切ったりしないでください。

■ 機器設定ファイルをアップロードする

バックアップしてある機器設定ファイルをアップロードします。

システム管理ユーテ	(リティー
	[設定ファイルアップロード] 参照アップロード
設定ファイル	[設定ファイルダウンロード] ダウンロード
	<b>[全設定消去]</b> 全設定消去 全設定を消去し、出荷時の設定に戻します。

**1** [参照] ボタンをクリックする。 [ファイルの選択] ダイアログが開きます。

🥝 アップロードするファイルの選択		
Cool Cool Cool Cool Cool Cool Cool Cool	◆ ◆ デスクトップの検索	P
整理 ▼ 新しいフォルダー	i= • 🔟 🔞	
名前 ¥ 192.168.1.1.cfg		
۲ <u>۱۱۱</u>		Þ
ファイル名(N): <b>2</b>	<ul> <li>カスタム ファイル (*.cfg)</li> <li></li></ul>	)   

**2** バックアップファイル(拡張子 cfg)を選択し、[開く] ボタンをクリックする。

選択したバックアップファイル名が表示されます。

#### システム管理ユーティリティー



**3** [アップロード] ボタンをクリックする。 機器設定ファイルの更新を開始します。

ご注意

更新中は再起動したり、電源を切ったりしないでください。

### | 機器設定ファイルをダウンロードする

機器設定ファイルをパソコンにバックアップします。 使用するパソコンの OS、ブラウザーによって、表示される画面は異なります。

#### システム管理ユーティリティー

	[設定ファイルアップロード] 参照 アップロード
設定ファイル	[設定ファイルダウンロード] ダウンロード 1
	[全設定消去] 全設定消去 全設定を消去し、出荷時の設定に戻します。

**1** [ダウンロード] ボタンをクリックする。

通知バーが表示されます。

<b>192.168.1.1</b> から <b>192-168-1-1.cfg</b> (120 KB) を開くか、または保存しますか?	ファイルを開く( <u>0</u> )	保存( <u>S</u> ) マキャンセル( <u>C</u> )	×
		2	

2 [保存] ボタンの右にある • をクリックし、「名前を付けて保存」を選択する。

保存場所を選択する画面が表示されます。



**3**保存場所を選択してファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックする。 メーモ 最初、ファイル名は [IP アドレス].cfg になっています。

### ■ すべての機器設定を工場出荷時の状態にする

すべての設定を消去して工場出荷時の設定に戻します。

システム管理ユーティリティー
----------------

	【設定ファイルアップロード】 参照… アップロード
設定ファイル	[設定ファイルダウンロード] ダウンロード
	[全設定消去] 全設定消去 全設定を消去し、出荷時の設定に戻します。

手順:[全設定消去]ボタンをクリックする。

すべての設定を消去し、工場出荷時の設定に戻します。

工場出荷時は以下の設定になっています。 IP アドレス: 192.168.1.1 機器名称 : NX-300 システム名: NX-300 パスワード: guest その他の設定については、ブラウザーまたは NX-300 設定ソフトウェアで接続してご覧ください。 ■ ファームウェアを更新する

ファームウェア更新を行います。

現在のバージョン:1.0.0 ファームウェア更新 参昭 ファームウェア更新

7 [参照] ボタンをクリックする。

[ファイルの選択] ダイアログが開きます。

6	アップロードするファイルの選択
0	→ Comparison → デスクトップ → → デスクトップの検索
	整理 ▼ 新しいフォルダー 🔠 ▼ 🗍 🔞
	名前
	INX-300.bin
•	4
	ファイル名(N):

**2** NX-300 ファームウェア(拡張子 bin)を選択し、[開く] ボタンをクリックする。

選択したファームウェアのファイル名が表示されます。



3 [ファームウェア更新] ボタンをクリックする。

ファームウェアの更新を開始します。

#### ご注意

更新中は本機前面の BUSY 表示灯が点滅します。絶対に再起動したり、電源を切ったりしないでください。

メモ

NX-300 ファームウェアおよび説明書(設置・設定説明書、操作説明書)の最新版を TOA 商品データダ ウンロードサイト(https://www.toa-products.com/)で公開しています。 最新のものを上記サイトからダウンロードしてお使いください。

### ■ 時刻を設定する

時刻設定をパソコンの年月日および時刻に合わせることができます。

#### メモ

時刻設定には、本機に設定されている現在時刻が表示されています。



### | 設定変更を反映させる(機器再起動)

[再起動] ボタンをクリックすると本機を再起動します。設定内容を変更したら必ず再起動してください。



**手順:[再起動] ボタンをクリックする**。 再起動を開始し、起動後に変更した内容が反映されます。

#### ご注意

- 設定ファイルやプログラム更新中\* は絶対に再起動しないでください。 \* 本機前面の BUSY 表示灯が点滅します。
- ●再起動すると、放送は停止されます。

第5章

# NX-300 操作ソフトウェア を使用するときの設定

# NX-300 操作ソフトウェアの概要

このソフトウェアは、放送に使用するボタンを設定し、NX-300に設定されている放送パターン\*1を起動し たり、制御出力\*2を操作したりします。

- \*<sup>1</sup> 放送パターンとは、音源と放送先を組み合わせた放送内容のことで、あらかじめ各 NX-300 に設定しておきます。 放送先は、1 チャンネルにつきユニキャストのときは 16 カ所、マルチキャストを使用すると 64 カ所設定することが できます。ボタン1つにつき、1つの放送パターンを設定することができます。 ※ 放送パターンの設定については、P. 3-40「放送パターンを設定する」をお読みください。
- \*<sup>2</sup> NX-300 の制御出力をネットワーク経由で制御します。ボタン 1 つにつき最大 500 機器× 10 チャンネルの制御出力を 制御することができます。

# 起動のしかたと初期画面

7 インストール時 (INS P. 3-4)、デスクトップに作成された NX-300 操作ソフトウェアのショー トカットをダブルクリックする、またはインストールしたフォルダーに作成された 「NX-300OperationSoftware.exe」をダブルクリックして起動する。 次の画面が表示されます。

システム選択
システムを選択してください
ОК



あらかじめ作成したシステムを選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。

メモ

複数のネットワークインターフェースカードを搭載したパソコンでは、システムの選択後に以下の画面 が表示されます。システムに接続されているネットワークインターフェースカードを選択し、[OK] ボ タンをクリックしてください。

接続先の選択				
接続先	を選択してください			
	•			
	ОК			

システムの選択後、初期状態(何も設定していない状態)では、次の画面が表示されます。





操作画面の設定例をもとに、画面の説明をします。

### | ボタン画面

「ボタン」タブをクリックすると、ボタン画面が表示されます。

	<ul> <li>■ NX-300擾作ソフトウェア</li> <li>ファイル(E) 表示(Y) ツール(I) ヘルプ(出)</li> <li>ボタン 機器リスト ステータス</li> </ul>		
1-		放送オプション	
			-3

①一括選択ボタン

個別選択ボタンを同時に複数選ぶためのボタンです。登録できるボタンの数は最大 100 個です。

②個別選択ボタン

起動する放送パターンや制御出力を選択するボタンです。登録できるボタンの数は最大 3200 個です。 1 つの選択ボタンにつき、放送パターンは 1 個、制御出力は最大 500 機器× 10 チャンネルの出力を設定 できます。

③放送オプション

放送の優先度を選択することができます。 [緊急] ボタンを選択すると、放送の優先度は1となります。

メモ

NX-300 設定ソフトウェアの緊急放送の設定を ON にした場合、優先度 2 ~ 8 よりも出力音量が 6 dB 増加 して放送されます。

④開始ボタン

個別選択ボタンまたは一括選択ボタンを押して選んだ起動内容(放送パターン、制御出力)を開始します。

⑤ 終了ボタン

起動されている放送や制御出力を終了します。

■ 機器リスト画面

「機器リスト」タブをクリックすると、機器リスト画面が表示されます。

		2	3 4	
		NX 300	0操作シフトウェア	
	5	ファイ <mark>ル(E</mark>	(E) 表示(Y) ツール(I) ヘルプ(H)	
		ボタン	2 (器リスト ステータス)	
		NAME	STATUS I IN 1 C IN 2 C IN 3 C IN 4 C IN 5 C IN 6 C IN 7 C IN 8 C OUT 1 C OUT 2 C OUT 3 C OUT 4 C OUT 5 C OUT 6 C	
		甲央駅		
		A駅	待機中	
		B駅	待機中	
$\cup$		C駅	待機中	
		事務室		
		駐車場	易 待機中	
			m	· · ·

#### ①機器リスト

管理している機器の状態を表示します。 リスト行をダブルクリックすると、詳細な情報を表示します。

[右クリックメニュー]

リスト行を右クリックすると、以下のようなメニューが表示されます。

フ	ファイル( <u>E</u> ) 表示( <u>V</u> ) ツール( <u>T</u> ) ヘルプ( <u>H</u> )				
	ボタン	機器し	リスト ステータス		
	NAME	STATUS	C_IN 1 C_IN 2 C_IN 3 C_IN 4 C_I		
	中央駅	待機中	=*{m==_		
	A駅	待機中	計神衣小…		
	B駅	待機中	ノフワサー接続		
	C駅	待機中			

詳細表示 : 機器の詳細な情報を表示します。( **■** P. 5-8 「詳細画面」) ブラウザー接続 : ブラウザーを起動し、機器の設定画面を表示します。
- NAME 機器名称を表示します。
- **③STATUS**

機器の状態を表示します。
待機中 :機器が待機状態であることを示します。
放送中 :機器が放送中であることを示します。
通信不可 :機器が通信不可状態であることを示します。

- ④C\_IN 1 ~ 8、C\_OUT 1 ~ 10
  - ー\_\_\_\_ 制御入力、制御出力の状態を表示します。

## ■ ステータス画面

「ステータス」タブをクリックすると、NX-300 操作ソフトウェアの動作状況を表示するステータス画面が表示されます。

	7	■ NX-300撮作ソフトウェア ファイル(E) 表示(Y) ツール(I) ヘルプ(出)	
		ボタン 機器リスト ステータス	
		システム名	 ^ ^
U		StationSystem	
		PCネットワーク設定	
		接続先のネットワーク: ローカル エリア接続	
2		システムの通信設定: IPV4 IPv4 アドレス: 10.3.40.222	
⊌		172.169.1.11	
		192.168.101 192.168.101.100	
	L		

①システム名

システム名を表示します。

② PC ネットワーク設定

パソコンのネットワーク情報を表示します。
 接続先のネットワーク :使用するネットワークインターフェースカードを表示します。
 システムの通信設定 : IPv4 で動作していることを表示します。
 IPv4 アドレス :パソコンの IPv4 アドレスを表示します。

## ■ 詳細画面

機器の詳細な情報を表示します。

#### ● 詳細画面の説明

#### [全般タブ]

■ 中央駅機器詳細情報						
全般放送先制御入出力						
NAME: 中央駅 機種名: NX-300						
IP アドレス: 192.168.101.101						
状態: 待機中						
	更新 ブラウザー接続 閉じる					

#### 1. NAME

機器名称が表示されます。

#### 2. 機種名

機種名が表示されます。

- 3. IP アドレス IP アドレスが表示されます。
- **4. 状態** 放送中、待機中などの状態が表示されます。
- 5. [更新] ボタン 詳細画面の表示内容を最新の状態に更新します。
- 6. [ブラウザー接続] ボタン ブラウザーを起動して、機器にアクセスします。
- **7. [閉じる] ボタン** 詳細画面を閉じます。

[放送先タブ]

機器が放送中のときは、その機器が放送を行っている放送先が一覧表示されます。

🗃 中央駅 機器詳細情報	
全般放送先制御入出力	
ID 方向 接続先 プロトコル 圧縮 fs パケットサイズ 放送先 音源 音源リピート 優先	度 IPアドl ^
更新 フランサー接続	ଞ∪ବ

[制御入出力タブ]

機器の制御入出力状態が表示されます。

中央駅 機器詳細情報
全般放送先制御入出力
端子 状態
C_IN 1:
C_IN 2:
C_IN 3:
C_IN 4:
C_IN 5:
C_IN 6:
C_IN 7:
C_IN 8:
C_OUT 1:
C_OUT 2:
C_OUT 3:
C_OUT 4:
C_OUT 5:
C_OUT 6:
C_OUT 7:
更新 ブラウザー接続 閉じる



#### ● ファイル

終了:NX-300 操作ソフトウェアを終了します。

#### ● 表示

個別選択ボタンサイズ : 個別選択ボタンの大きさを変更します。 一括選択ボタンサイズ : 一括選択ボタンの大きさを変更します。 動作ログ : 動作ログ画面を表示します。

#### ● ツール

設定ツール :設定ツール画面を表示します。 ボタン設定 :個別選択ボタン、一括選択ボタンの作成や編集を行います。

#### ● ヘルプ

バージョン情報 :NX-300 操作ソフトウェアのバージョン情報を表示します。

# NX-300 操作ソフトウェアでの設定手順

## NX-300 操作ソフトウェアでの設定の前に

NX-300 設定ソフトウェアで、システム上の NX-300 を設定する。 NX-300 操作ソフトウェアで起動する放送接続先の設定は「放送パターン」としてシステム上の NX-300 および NX-100/100S にすべて設定しておく必要があります。

## ① ボタンの設定をする

起動する放送パターンや制御出力を選択する選択ボタンの設定をします。

## ② ボタンレイアウトの設定をする

操作画面上での一括選択ボタンと個別選択ボタンのレイアウトを設定します。



放送先選択用の個別選択ボタンと一括選択ボタンを作成します。

## ■ 個別選択ボタンを作成する

放送パターンと制御出力を選択するボタンを作成します。

**1** メニューバーから [ツール] → [ボタン設定 ...] を選択する。 ボタン設定画面とボタン設定パレットが表示されます。



ボタン設定画面

ボタン設定パレット

第5章 NX-300 操作ソフトウェアを使用するときの設定

<ul> <li>宝碑1/96~見</li> <li>表示</li> <li>表示名</li> <li>マ 中央駅</li> <li>単務室</li> <li>マ A駅</li> <li>マ B駅</li> <li>マ C駅</li> </ul>	表示名 <u>放送パターン</u> クリア	中央駅       NAME 放送パターン名称       中央駅 事務室Tx       中央駅 ローカル       中央駅 軍務室Rx       事務室 中央駅Tx       事務室 構内放送       事務室 中央駅Rx	
	制御出力端子 クリア	選択       NAME       1       2       3       4       5       6       7       8       9       10         中央駅       - <td< th=""><th></th></td<>	
ボタンの色			

2 ボタン設定パレットの「個別選択」タブを選択する。

タン設定			
活躍択	個別選択		
緊急放送	中央駅    事務室		
新しいボタン	AUR		
	BR 3		
	CIR		
	< m		,

# 3 ボタン設定画面でボタンの配置場所を選択する。

個別選択ボタンの配置領域で、ボタンを配置したいグリッドをクリックして選択します。

## 4 ボタンの色を選択する。

ボタン設定パレットから作成したいボタンの色をクリックすると、クリックした色が浮き出た表示になります。

- 5 ボタン設定パレットの [設定] ボタンをクリックする。 ボタン設定画面のグリッドにボタンのイメージが表示されます。
- 6 ボタン設定パレットの編集エリアに表示名を入力する。
- 7 放送パターン一覧で、起動させる放送パターンを選択する。

メモ

- 放送パターン一覧には、システム上のすべての NX-300、NX-100 および NX-100S に登録された全 パターンが表示されています。
- ●放送パターンは1つしか選択できません。
- 選択した NX-300、NX-100 または NX-100S の放送パターンの設定内容をクリアするときは、放送 パターン一覧の左にある [クリア] ボタンをクリックします。

## 9 制御出力のチャンネル番号をチェックする。

選択した NX-300、NX-100 または 100S の制御出力の設定内容をすべてクリアするときは、制御出力 一覧の左にある [クリア] ボタンをクリックします。

ボタン設定 個別選択 - 括選択		<u>6</u>
登録内容一覧 表示 表示名 ✓ 中央駅 ✓ 事務室 ✓ A駅 ✓ B駅 ✓ C駅	表示名 放送パターン クリア 制御出力端子	中央駅     NAME 放送パターン名称       中央駅 事務室TX     =       中央駅 ローカル     =       中央駅 事務室RX     =       事務室R     =       事務室     +       事務室     +       申中見     +       事務室     +       ●
ボタンの色	8	
		5 〕 設定 削除 完了
		11

- 10 手順2~9を必要なだけ繰り返す。
- **11** ボタン設定パレットの [完了] ボタンをクリックする。 ボタン設定画面とボタン設定パレットが閉じて、設定したボタンがボタン画面に表示されます。

**<sup>8</sup>** 制御出力一覧で、起動させる制御出力をチェックする。 制御出力のチャンネル番号が選択できるようになります。

## ■ 一括選択ボタンを作成する

一括選択ボタンは、個別選択ボタンを同時に複数選ぶためのボタンです。
 一括選択ボタンに関連付ける個別選択ボタンを登録します。

# **1** メニューバーから [ツール] → [ボタン設定 ...] を選択する。

ボタン設定画面とボタン設定パレットが表示されます。



ボタン設定画面

ボタン設定パレット

第5章 NX-300 操作ソフトウェアを使用するときの設定

ボタン設定				
個別選択(一括選択)	2			
登録内容一覧 表示 表示名	表示名 登録ボタン クリア	選択     名称       中央駅     事務室       本駅     新しいボタン       B駅     CED		
ボタンの色				
			設定	削除
				完了

2 ボタン設定パレットの「一括選択」タブを選択する。

ボタン設定		
─括選択	個別選択	
緊急放送	中央駅	
新しいボタン	A駅 新しいボタン	=
	BBR	
3	CR	
U		
		•

3 ボタン設定画面でボタンの配置場所を選択する。

一括選択ボタンの配置領域で、ボタンを配置したいグリッドをクリックして選択します。

**4** ボタンの色を選択する。 ボタン設定パレットから、作成したいボタンの色をクリックすると、クリックした色が浮き出た表示 になります。

5 ボタン設定パレットの [設定] ボタンをクリックする。 ボタン設定画面のグリッドにボタンのイメージが表示されます。

6 ボタン設定パレットの編集エリアに表示名を入力する。

7 登録ボタン一覧で、一括選択する個別選択ボタンにチェックを入れる。

8 手順2~7を必要なだけ繰り返す。

<ul> <li>ボタン設定</li> <li>個別選択 -括選択</li> <li>登録内容一覧</li> <li>表示 表示名</li> <li>▼ 緊急放送</li> <li>▼ 新しいボタン</li> </ul>	表示名 登録ボタン クリア 7	新しいボタン 選択 名称 中央駅 事務室 A駅 新しいボタン B駅 テロ	) 6		
ボタンの色					
				5	削除 完了
					9

9 ボタン設定パレットの[完了]ボタンをクリックする。 ボタン設定画面とボタン設定パレットが閉じて、設定したボタンがボタン画面に表示されます。

## ■ 作成したボタンを削除する

個別選択ボタン、一括選択ボタンのいずれも、同じ手順で削除することができます。

オボタン設定パレットで、削除するボタンの種類を選択する。 個別選択ボタンを削除する場合は「個別選択」タブを、一括選択ボタンを削除する場合は「一括選択」 タブを選択します。



# 2 ボタン設定画面で、削除するボタンを選択する。

削除したいボタンが配置されたグリッドをクリックして選択します。 選択したグリッドにボタンが配置されていると、ボタン設定パレットの [削除] ボタンがクリックでき るようになります。



**3** ボタン設定パレットの [削除] ボタンをクリックする。 ボタン設定画面で選択したボタンが削除されます。

■ ボタン設定				
一括選択	個別選択			
緊急放送	中央駅 事務	9至		Â
新しいボタン	AIR			E
	B駅 ボタン	ン設定		
	CSR	個別選択 ─括選択 登録内容一覧 ≠〒ダ		
			NAME 放送/ウーン名称 中央駅 事務変12	
		<ul> <li>▼ 事務室</li> <li>✓ A駅</li> </ul>	中央駅 ローカル ▼	
		■ 日駅 ■ 日駅 ■ C駅 ■ C駅	選択     NAME     1     2     3     4     5     6     7     8     9     10     4       中央駅               A駅	
		タンの色		
			18/2 N/2 3	
			7.7	
			<b>7</b>	

**4** ボタン設定パレットの [完了] ボタンをクリックする。 ボタン設定画面とボタン設定パレットが閉じて、指定したボタンがボタン画面から削除されます。

# 各種設定をする

設定ツールを使用して各種設定をすることができます。

## ■管理者用パスワードを設定する

管理者用パスワードを設定することで、予期せぬ設定の編集を 防ぐことができます。

パスワードを設定すると、「設定ツール」および「ボタン設定」 の操作を行うときに、右のようなユーザー認証画面が表示され ます。 ユーザー認証画面が表示されたときは、パスワードを入力して [OK] ボタンをクリックしてください。

📱 ユーザー認証 📃 💌
パスワードを入力してください
OK キャンセル





設定ツール画面が表示されます。

0	🖥 設定ツール
Ζ	管理 ソフトウェア
	官理者用バスリート
	パスワードを変更するには [パスワード変更] をクリックして パスワード変更…
	3
	OK キャンセル

2 設定の種類を選択する。

設定ツールの [管理] タブを選択します。

**3** [パスワード変更 ...] ボタンをクリックする。 パスワード変更画面が表示されます。



**4** 新しいパスワードを入力する。

パスワードは半角英数 15 文字以内で入力してください。

メモ 新しいパスワードを空欄にしたまま変更を行うと、パスワード設定を解除することができます。

- 5 確認のため、「新しいパスワードの確認入力」に、手順4で入力した新しいパスワードを入力 する。
- 6 [変更] ボタンをクリックする。 確認画面が表示されます。

7 確認画面で [はい] ボタンをクリックする。 パスワードが設定されます。

## ■ NX-300 操作ソフトウェアのタイトルを変更する

NX-300 操作ソフトウェアのタイトルバーと、タスクバーに表示されるタイトルを変更することができます。

1	メニューバーから	[ツール] →	「設定ツール]	を選択する。
	×=-			で (広)// みっつ。

闍 NX-300操作ソフトウェア	
ファイル(F) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)	
ボタン 機器リス 設定ツール	
「一括選択」 個別選択	-

設定ツール画面が表示されます。

🖥 設定ツール 🛛 🙎	
管理 ソフトウェア	
タイトルの設定	]
NX-300操作ソフトウェア	
	2
	3
L	
	4

**2** [ソフトウェア] タブをクリックする。 ソフトウェア画面が表示されます。

**3** タイトルの設定欄のタイトル入力ボックスに、設定するタイトルを入力する。 ※ 初期状態では、「NX-300 操作ソフトウェア」となっています。

**4** [OK] ボタンをクリックする。 設定ツール画面が閉じ、タイトルが変更されます。



NX-300 操作ソフトウェアの操作中にエラーメッセージが表示されたときは、次のように対処してください。

表示メッセージ	確かめるところ
ネットワーク情報の取得に失敗しました。ネット ワーク設定を確認して再起動してください。	ネットワークインターフェースが有効になっているか 確認してください。
機器リストの読み込みに失敗しました。	機器リストファイルを確認してください。
操作可能なシステム情報が存在しません。機器情 報を作成してから、再起動してください。	NX-300 設定ソフトウェアでシステム設定を作成して から、NX-300 操作ソフトウェアを起動してください。
編集結果の保存に失敗しました。	ー度 NX-300 操作ソフトウェアを終了し、再起動して からやり直してください。
放送に失敗しました。	ー度操作を終了し、しばらく経ってからやり直してく ださい。
起動中の放送・制御出力端子の制御を終了してか ら閉じてください。	終了ボタンを押して、NX-300 操作ソフトウェアを終 了させてください。
エラーが発生しました。終了します。	NX-300 操作ソフトウェアを再度起動してご利用くだ さい。

# 第6章

# 付 録



## ■ IP ネットワークとアドレス

NX-300 で使用可能な IP ネットワークには、社内や構内など小規模地域で使用する LAN (ローカルネットワーク)や、広域遠隔地で使用するインターネットなどがあります。



ローカルネットワークとインターネットでは使用する IP アドレスが異なります。

ローカルアドレス (プライベート IP アドレス):

ローカルネットワークで使用します。ローカルネットワーク内では自由に設定できるアドレスです。

グローバル IP アドレス:

インターネットを利用するために使用する1つしかないアドレスです。

NX-300 をインターネット経由で使用するときは、固定のグローバル IP アドレスを取得し、NX-300 に割り 当てる必要があります。ルーターを使用するときは、ルーターにグローバル IP アドレスを設定します。

機器 B から機器 A に接続するときはローカルアドレスを使用することができますが、機器 C から機器 A に接 続するときはグローバル IP アドレスを使用する必要があります。

インターネット経由で接続する場合、接続先の機器に、固定のグローバル IP アドレスを割り当てる必要があ ります。固定のグローバル IP アドレスの取得については、ネットワーク管理者またはインターネットプロバ イダーにお問い合わせください。

#### 第6章 付 録

## ■ ネットワークアドレスポート変換(NAPT)

ローカルネットワークで使用されているローカルアドレスではインターネットに接続できないため、ネット ワークアドレスポート変換(NAPT: Network Address Port Translation)により、ローカルアドレスをグロー バル IP アドレスに変換する必要があります。



機器 C から機器 A へ接続するときはグローバル IP アドレスで接続します。 接続に使用されたグローバル IP アドレスはルーター 1 により機器 A のローカルアドレスへ変換されます。

NX-300 設定ソフトウェアは NAPT に対応しています。 NAPT を使用して接続された機器の設定をする場合は、「ネットワーク」 タブで表示される「NAPT 有効」ボッ クスにチェックを入れ、必要項目を入力してください。( III P. 3-28 「ネットワークを設定する」)

## ■ ブロードキャストと機器検出

ローカルネットワーク上に接続された機器の検出には、ブロードキャストという通信方法を利用します。 したがって、機器の検出は、ブロードキャストが有効な範囲でのみできます。 使用するアドレスは、255.255.255.255 です。

ローカルネットワーク内でもルーターを超える場合は、ブロードキャストが届きません。



上図の NET1 はネットワークを表しています。NET2 はブロードキャストが有効な範囲です。例えば図のパ ソコンから機器の検出をした場合、機器Cは同一ローカルネットワーク内でも検出できません。

※ ブロードキャストが有効な範囲は、ネットワーク管理者にご相談ください。

## マルチキャストと複数同時放送

複数の機器に同時放送をする場合、マルチキャストという通信方法を利用することができます。 マルチキャストを利用すると、トラフィックを少なくできるというメリットがあります。 マルチキャストを使用するネットワークには、マルチキャストアドレスと IGMP (Internet Group Management Protocol)のサポートが必要です。 有効なマルチキャストアドレス範囲は 224.0.0.0 から 239.255.255.255 です。

※ 設定する場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

## ■ 接点ブリッジ動作の詳細

#### ● 基本動作

制御入力に変化が発生すると、それに同期して、登録されている出力先に変化情報を伝達します。 ※制御入力に変化がないときは通信を行いません。



● リトライ動作

接点ブリッジの制御に失敗すると、5秒後に自動的に再制御を行います(=リトライ動作)。 接点ブリッジの制御に成功する、または制御入力の状態が変化するまでリトライ動作は継続します。



#### 起動時の動作

接点ブリッジの登録がある場合、制御入力機器 は電源起動直後に制御入力の状態を制御出力機 器に伝送します。登録があるすべての制御入力 で実行します。

#### ご注意

接点ブリッジの出力先の機器がネットワークに 接続されていない、または電源 OFF の場合、制 御入力機器は電源投入後リトライを繰り返し続 けます。制御結果が NG になるたびに、前面パ ネルの ERROR 表示灯が1秒間点灯します。



#### ● 電源断時および復電時の動作

制御入力機器または制御出力機器が電源 ON から OFF になったとき、および電源 OFF から ON になったと きの接点の状態は以下のとおりになります。 下図の状態からの変化を例に示しています。





[制御入力機器および出力機器の電源の変化による動作]



● 同一の制御出力に対して接点ブリッジを行った場合の動作

先に入力された制御入力①の接点ブリッジを受け付けているときに制御入力②を受け付けたときは、①の接 点ブリッジは終了し、②の接点ブリッジを行います。



## ■ 最大放送先

●1 チャンネルあたりの放送先の最大数は、次のとおりです。

機種	マルチキャストのとき	ユニキャストのとき
NX-300	64 力正	16 カ所*
NX-100/100S	04 77 P/	4 カ所

(例)

マルチキャストの場合、NX-300のチャンネル1から64カ所、チャンネル2から64カ所へ同時に放送することが可能です。

\*音声スペックの設定によっては、放送先の最大数は以下のとおり、16カ所より少なくなります。

送信サンプリング			9 16		6	20		40		
周波数 [kHz]		'	5	1	16		32		40	
音声圧縮		ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	
送信パケット	8	4 カ所	—	—	—	—	—	—	—	
サイズ [Byte]	16	4 カ所	—	4 カ所	—	—	—	—	—	
	32	16 カ所	4 カ所	4 カ所	—	4 カ所	—	—	—	
	64	16 カ所	4 カ所	16 カ所	4 カ所	4 カ所	—	4 カ所	—	
	128	16 カ所	16 カ所	16 カ所	4 カ所	16 カ所	4 カ所	4 カ所	—	
	256	16 カ所	4 カ所	16 カ所	4 カ所					
	512	16 カ所	4 カ所							
	1024	16 カ所								

 ●チャンネルごとに、上記最大数を超えて放送を起動すると、以下のとおり優先制御が働き、最大数以上の 放送はできません。

放送中の放送より優先度が高い場合は、優先度の低い放送が中断されて、放送されます。 放送中の放送と同一優先度の場合、「同一優先度の放送」の設定が「後優先」のときは、放送中の放送が中 断されて、放送されます。「先優先」のときは、放送できません。

※「同一優先度の放送」の設定は NX-300 設定ソフトウェアで行います。( ■③ P. 3-26「システム全般の設 定をする」)

NX-100/100Sが混在するシステムの場合は、「同一優先度の放送」の設定は「先優先」に固定されます。

### ■ 優先度

放送を起動したときに、放送先で他の放送が行われているときの動作は、次のようになります。

●優先度が高い音源の放送中は、放送できません。
 優先度が高い音源の放送が終わってから放送されます。



「後優先」設定時:優先度が同じ音源の放送中は、割り込んで放送されます。 割り込み放送が終わってからも、元の放送は復帰しません。

先の放送



後の放送

#### ご注意

放送

- ●NX-300 設定ソフトウェアで設定する優先度(1~8)は、NX-300を受信側とする放送にのみ有効です。
- NX-100/100S が混在するシステムで NX-100/100S を受信側とする放送では、優先度の設定に関係なく、 常に「先優先」で動作します。
- 放送と接点ブリッジを組み合わせて使用した場合、接点ブリッジは放送状態に関係なく、常に制御入 力情報に基づいて動作します。

### ■1つの音源を複数のチャンネルに入力するとき

本機は1つの音源をネットワーク経由で複数箇所に伝送できますが、1つの音源を1チャンネルでの伝送箇 所数\*を超えて伝送したい場合、スルーアウト機能を使うと、音源をNX-300の複数のチャンネルに順番に送っ て伝送できます。複数の出力端子があるミキサーなどで分配しなくても、1つの音源を伝送できます。

\* ユニキャストの場合 : 16 カ所 マルチキャストの場合 : 64 カ所

#### ご注意

本機の入力設定により1チャンネル通過あたりのゲインが変わりますので、複数台接続時には注意してください。

- LINE 設定、不平衡入力設定の場合 : 0 dB
- LINE 設定、平衡入力設定の場合 : -2 dB
- MIC 設定、不平衡入力設定の場合 :+40 dB

メモ

- 順番に送って使用できるのは、最大で4 チャンネルまでです。
- ●本機能を使うには NX-300 設定ソフトウェアでの設定が必要です。( ■③ P. 3-35 [放送スペックを設定する])

[スルーアウト機能を使って音源を分配する場合]



[ミキサーを使って音源を分配する場合(スルーアウト機能を使わない場合)]



## ■ 動作ログの取得について

#### ● 動作ログの取得のしかた

前面の SD カード挿入口に SD カード(市販品)を挿入してください。本機に保存されている動作ログとスト リームログ\*が自動的に SD カードに保存されます。(動作ログのファイルサイズは、最大約2 MB です。)

\*ストリームログは、動作ログのファイルの中に一緒に保存されます。単独のファイルは作成されません。



- ●動作ログはテキストファイル形式で、次のファイル名で保存されます。 ファイル名 : [IP アドレス].log
- ●取得した動作ログの内容は、パソコンで確認してください。

#### ● 使用できる SD カードについて

- ●使用する SD/SDHC カードは別途ご用意ください。容量 32 GB までの SD/SDHC カードが使用できます。
- mini SD カード、micro SD カードは使用できません。
- SDXC カードには対応していません。
- 使用する SD/SDHC カードは、2 GB までの SD カードの場合は FAT16、 32 GB までの SDHC カードの場合は FAT32 でフォーマットされたカード を使用してください。パソコンでのフォーマットには必ず SD アソシエー ションが提供している専用フォーマッターソフトを使用してください。



SD/SDHC ロゴは登録商標です。

●動作確認済み SD/SDHC カードは次のとおりです。

メーカー名	品番	メーカー名	品番
Transcend	TS32GSDHC10E	TOSHIBA	SD-AH32GWF
TDK	T-SDHC32GB10	TOSHIBA	SD-K08GR7W4
TDK	T-SDHC8GB10UT	TOSHIBA	SD-L004G4
TDK	T-SDHC4GB4	Panasonic	RP-SDWA32GJK
SanDisk	SDSDU-032G	Panasonic	RP-SDUC16GJK
SanDisk	SDSDB-008G-J35U	Panasonic	RP-SDWA04GJK

#### ご注意

上記条件に合致したものでも、SD/SDHC カードの特性、記録状態などにより、本機では使用できないことが あります。

## ■ 入力レベル調節器を出力レベル調節器に変更するとき



ここに記載の作業は専門業者にご依頼ください。 お客様ご自身で、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電 の原因となります。

本機の音声出力端子からの音声信号レベルが高い場合、パワーアンプなどで音声がひずむことがあります。 そのときは、次の方法で入力レベル調節器を使い、出力レベルが調節できるように変更できます。 変更は、チャンネル 1、2 を個別に行うことができます。

#### ご注意

- ●この作業は、電源 OFF の状態で行ってください。
- ●基板上の部品には触れないでください。静電気により、故障の恐れがあります。



## 2 基板上のジャンパーを差し換える。

■■がジャンパーを示します。下図のようにチャンネル1の設定は#E内、チャンネル2の設定は#F内の ジャンパーを前面パネル側に差し換えてください。



#### 第6章 付 録

# 表示灯の状態と異常時の対処のしかた



 $\bigcirc$ 

 $\bigcirc$ 

Ο

 $\bigcirc$ 

Ο

 $\bigcirc$ 1

Ο (1秒間点灯後、 消灯)

(高速)

または

 $\bigcirc$ または

Ο

または

 $\bigcirc$ 

使用中

優先制御により

ファームウェ

データ書き込

ア更新中

み中

拒否した場合

放送中に優先度が低い放送が入り、放

ファームウェア更新またはデータの書

き込みが終了すると、自動的に起動中

の状態になります。起動中の状態にな

この状態のときには、絶対に NX-300 を 再起動したり、電源を切ったりしない

送できなかったときの状態です。

るまでお待ちください。

ご注意

でください。

#### ● 異常時の表示灯の状態

INPUT	OUTPUT ②	LNK/ACT	BUSY ④	STATUS 5	ERROR 6	RUN ⑦	NX-300 の状態と対処のしかた
0	0	0	0	0	0	0	<b>電源断</b> AC アダプターが抜けているなどの可能性があ ります。 →接続を確認して、電源を正しく入れてください。
						● または ○	ファームウェアエラー(ファームウェア暴走) →自動的に再起動します。再起動後も発生する 場合は、当社営業所に連絡してください。
			0	<b>、</b> (同時(	た点滅)	0	データ書き込みエラー データ書き込み中またはファームウェア更新中 に停電などが発生して、書き込みに失敗した可 能性があります。 →当社営業所に連絡してください。
					<b>、</b> (数秒間隔で 1 秒点灯)		ネットワーク、制御に関連する通信、制御、設 定のエラー 設定された制御相手の機器の電源断やネット ワーク断、NX-300の設定間違い(制御不可、 通信不可の設定)、ネットワーク機器の設定間 違いなどの可能性があります。 →制御相手の機器との接続を確立する、または 各機器の設定を変更してください。
		0					<ul> <li>ネットワーク断</li> <li>LAN ケーブルが抜けているか、ネットワーク機</li> <li>器の電源が切れている可能性があります。</li> <li>→ネットワーク機器と正しく接続してください。</li> </ul>
					•		<ul> <li>故障検知</li> <li>→電源、制御入力の接続を確認し、正しく接続してください。</li> <li>→音源ファイルを正しくアップロードしてください。</li> </ul>
0							<ul> <li>音声入力信号なし</li> <li>音声入力を使用しているのにこのような状態になるときは、音声入力機器の電源が切れている、または配線が外れている、あるいはNX-300の入力レベル調節器が最小になっている可能性があります。</li> <li>→音声入力の配線、接続機器の電源、NX-300の入力レベル調節器を確認し、正しく接続、調節を行ってください</li> </ul>
・ または							過大レベルの音声入力(出力側の音声がひずみ ます。) 音声入力レベルが大き過ぎます。 →入力レベル調節器、音声入力レベル切換ス イッチで入力レベルを調節してください。

※ 上記以外の表示状態の場合は、当社営業所までご連絡ください。

レベルダイヤグラム

■ ブロック図



■ レベルダイヤグラム



## ■ 音声入力のレベル設定値と調節について

		設定値	出7	り値	
入力音源レ ベル(dB * <sup>1</sup> )	PAD 設定*2	MIC/LINE 設定*2	ゲイン調整* <sup>3</sup> (dB)	ストリーミング 先 NX-300 出力 (dB * <sup>1</sup> )	スルーアウト設 定時出力(dB * <sup>1</sup> )
+22 * 4	ON * 4	LINE	-26	0	+6
+6	OFF	LINE	-20	0	+6
-20	OFF * ⁵	LINE * 5	0 * 5	0	-20
-45	OFF	MIC	-20	-5	-5
-60	OFF	MIC	0	0	-20

\* 1 0 dB = 1 V

- \*2 後面の機器設定用 DIP スイッチで設定します。
- \*3 NX-300 設定ソフトウェアで設定します。
- \*4 このレベルの音源を入力する場合は、必ず PAD 設定を ON にしてください。
- \*5 工場出荷時設定

設定後、INPUT 表示灯が赤色で点滅または点灯する場合は音がひずんでいます。入力レベル調節器で INPUT 表示灯が緑色で点灯するように調節するか、設定値を変更してください。

メモ

- ●入力レベル調節器は工場出荷時には入力ボリュームに設定されていますが、ジャンパーの設定変更(■
   P. 6-12)により出力ボリュームに変更することができます。出力ボリュームに変更した場合でも、音声入力の設定値と出力値は上記どおりです。
- ジャンパーの設定を変更した場合、入力レベル調節器で本機からの音声出力レベルが調節できます。
   本機に接続されているアンプへの音声出力レベルが大きい場合などは、入力レベル調節器で音量を適切なレベルに調節してください。
- ●「音量制御スケジュール機能」\*6 が有効な場合、出力値は上表の出力値から -1 ~ -20 dB の範囲で変更、 またはミュートできます。
- ●「緊急放送機能」\*<sup>6</sup> が有効で、優先度 1 の放送が行われた場合は、次の値で出力されます。
   優先度 1 の出力
   : 上表の出力値
   優先度 2 ~ 8 の出力
   : 上表の出力値から 6 dB 減衰した値

\*6 同時に有効になっている場合は、「緊急放送機能」が優先されます。

# **故障かな?と思ったら**

症状	対策
起動しない。すべての LED が点灯	電源が正しく接続されているかお確かめください。
しない。	電源を入れ直してください。
LNK/ACT 表示灯が点灯しない。	LAN ケーブルが正しく接続されているかお確かめください。
	スイッチングハブなどとの接続が正しい種類のケーブル、適切な ポートに接続されているかお確かめください。 → 他のネットワーク機器との接続は、P. 2-3「ネットワークの接 続」を参照してください。
NX-300 ソフトウェア*が起動しな い。	NX-300 ソフトウェア*を使用するパソコンに「Microsoft .NET Framework 4.5.2」 がインストールされているか、または有効になっ ているかお確かめください。
NX-300 ソフトウェア*が本機を認 識できない。	NX-300 ソフトウェア*を使用するパソコンが正しくネットワーク に接続されているかお確かめください。
	本機の IP アドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイ が適切に設定されているかお確かめください。 → ネットワークの設定は、P. 3-12「機器を検出する」または P. 3-28「ネットワークを設定する」を参照してください。
	ルーターを介して別のネットワークと接続している場合、ネット ワーク管理者にそのルーターが正しく設定されているかお確かめ ください。
ブラウザーによる設定画面が正し く表示されない。	ブラウザーを使用するパソコンが正しくネットワークに接続され ているか、またブラウザーが正しく設定されているかお確かめく ださい。
	設定画面は JavaScript を使用しています。ご使用のブラウザーが JavaScript 対応で同機能が ON になっているかお確かめください。
	ブラウザーがプロキシを経由する設定になっていると正しく表示で きない場合があります。プロキシ経由の設定を解除してください。
制御入力・出力が動作しない。	本機の制御入力・出力仕様に適する機器と正しく接続されているか お確かめください。
音声が出ない、またはひずむ。	音源機器、アンプ、スピーカーなどが正しく接続されているかお 確かめください。
	入力レベル調節器の調節が適切かお確かめください。
	音声入力 PAD 設定スイッチ(機器設定用 DIP スイッチ 5、6)、音 声入力レベル切換スイッチ(機器設定用 DIP スイッチ 7、8)の位置 が適切かお確かめください。
	音声起動の制御入力が正しく設定されているかお確かめください。 → 制御入力起動の設定は、P. 3-56「制御入力を設定する」を参照 してください。
	サンプリング周波数・圧縮など音声に関する設定が適切かお確か めください。 → 音声に関する設定は、P. 3-35「放送スペックを設定する」を参 照してください。

\* NX-300 設定ソフトウェア、NX-300 検出ソフトウェア、NX-300 操作ソフトウェア

#### 第6章 付 録

症状	対策
音声にノイズがある、または途切 れる。	「ブーン」というようなノイズ音の場合は、本機の SIGNAL GND 端子が正しく接続されていない可能性があります。 → 正しく接続されているかお確かめください。
	「プチッ」というノイズ音、または途切れるような場合は、ネット ワークが混雑している可能性があります。ログ内容をお確かめく ださい。混雑が確認されたときは、ネットワーク管理者にご相談 ください。 → ログ内容の確認は、P. 4-14「ストリームログ」を参照してくだ さい。
音声が混ざる。	マルチキャストを使用した放送で音声が混ざって聞こえる場合、 放送スペックの設定において、マルチキャストアドレスが複数の 放送で同じものを使用している可能性があります。 → システム上の機器にはマルチキャストアドレスを重複しないよ うに設定してください。
その他の動作不良。	その他の動作不良が起こったとき、ERROR表示灯が点灯するこ とがあります。 → ERROR表示灯が点灯していたら、高度な不良が発生している おそれがありますので、ログをお確かめください。ログ内容の 確認は、P. 4-12「動作ログ」を参照してください。
パスワードを忘れた。	当社営業所に連絡してください。
## 仕 様

電源	外部電源 DC24 V(21.6 ~ 26.4 V)、AC100 V、50/60 Hz (別売の AC アダプターから供給)		
消費電力/電流	10 W(AC 動作時)、310 mA(DC 動作時)		
音 声 入 力	2 系統、平衡(トランスアイソレート)/不平衡切り換え可、2 k Ω、 LINE/MIC レベル 切り換え可、VR 調整可 定格入力:-20 dB*1(LINE レベル時)/-60 dB*1(MIC レベル時) PAD 機能(-16 dB*1)、着脱式ターミナルブロック(6P)		
音声出力	2 系統、平衡(トランスアイソレート)、600 Ω以下 定格出力:0 dB*1(不平衡入力時) / -2 dB*1(平衡入力時) 着脱式ターミナルブロック(6P)		
周波数特性	50 Hz ~ 18 kHz (サンプリング周波数 48 kHz、PCM 時、0 ~ -6 dB ※1 kHz 基準)		
歪率	0.2 % 以下 (1 kHz、LINE レベル、サンプリング周波数 48 kHz、PCM 時、BPF)		
S N 比	73 dB 以上(JIS-A、LINE レベル、定格出力時)		
セパレーション	70 dB 以上(1 kHz、LINE レベル、BPF)		
音 源 方 式	WAV ファイル		
保存可能音源数	最大8音源		
保存可能音源時間	1 音源あたり最大 2 分 (サンプリング周波数 16 kHz、Sub-band-ADPCM、モノラル時)		
制御入力	8系統、無電圧メイク接点入力、開放電圧:DC24 V、短絡電流:2 mA 以下、 着脱式ターミナルブロック(9P)(系統 8 のみ故障検出機能を有する)		
制御入力の故障検出部	ノンアクティブ状態にするための接続抵抗値 :20 kΩ ± 5 % アクティブ状態にするための接続抵抗値 :10 kΩ ± 5 % 接続線 :ツイストペアケーブル(シールド付きを推奨) 最大延長距離:10 m		
制御出力	8 系統、オープンコレクター出力(極性あり) 耐電圧:DC30 V、制御電流:最大 50 mA、着脱式ターミナルブロック(9P) 2 系統、リレー出力(極性なし) 耐電圧:DC30 V、制御電流:最大 500 mA、着脱式ターミナルブロック(4P)		
ネットワーク部	ネットワーク I/F   : 10BASE-T/100BASE-TX、全二重/半二重、自動切 り換え     ネットワークプロトコル   : TCP、UDP、ARP、HTTP、RTP、IGMP、FTP、 NTP     音声パケット伝送方式   : ユニキャスト(最大同時 16 カ所)、マルチキャスト(最 大同時 64 カ所)     接続コネクター   : RJ45 コネクター     音声サンプリング周波数   : 8 kHz、16 kHz、32 kHz、48 kHz (ソフトウェア切り 換え式)     量子化ビット数   : 16 ビット     音声符号化方式   : PCM、Sub-band ADPCM (ソフトウェア切り換え式)     音声遅延時間   : 無音挿入		

操	作	部	2 系統、音声入力レベル調節器(音声出力レベル調節器に変更可能)	
表	示	部	2 系統 音声入力 SIGNAL(緑) / PEAK (赤)、 2 系統 音声出力 SIGNAL(緑)、LNK/ACT(緑)、BUSY(緑)、STATUS(緑)、 ERROR(黄)、RUN(緑)	
設 定 ス イ ッ チ リセット、グランドリフト切り換え、音声入力 2 系統 PAD 切り 2 系統 LINE/MIC レベル切り換え		リセット、グランドリフト切り換え、音声入力2系統 PAD 切り換え、音声入力 2系統 LINE/MIC レベル切り換え		
S	S   D   部   ログ保存用(最大 10000 件)     メディア   : SD/SDHC カード(最大 32 GB) *2     ファイルシステム   : FAT16、FAT32     ※ SD カードは動作確認済品(■③ P. 6-11)の使用を推奨します。     ※ SD カードは付属していません。		ログ保存用(最大 10000 件) メディア : SD/SDHC カード(最大 32 GB)* <sup>2</sup> ファイルシステム : FAT16、FAT32 ※ SD カードは動作確認済品(『☞ P. 6-11)の使用を推奨します。 ※ SD カードは付属していません。	
設	置方	法	ラック型/据置型/壁掛型兼用	
使	用温度範	,囲	-10 ~ +50℃(ただし AC アダプター使用時は 0 ~ +40℃)	
使	用湿度範	,囲	90%RH 以下(ただし結露のないこと)	
仕	Ŀ	げ	プレコート鋼板、黒(マンセル N1.0 近似色)、3 分艶	
寸		法	210(幅)× 44.3(高さ)× 258(奥行)mm	
質		量	1.7 kg	

\*10 dB = 1 V

\*2 SDXC カードには対応していません。

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ● 付属品

着脱式ターミナルプラグ	(3P) 1	着脱式ターミナルプラグ(9P)
着脱式ターミナルプラグ	(4P) 1	プラスチック足
着脱式ターミナルプラグ	(6P) 2	小ねじ M3 × 8 4

## ● 別売品

 ラックマウント金具 : MB-15B-BK (NX-300 を 1 台ラックマウントする場合) MB-15B-J (NX-300 を 2 台連結してラックマウントする場合)
I/F ユニット壁掛金具 : YC-850
AC アダプター : AD-246

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル(固定電話専用)	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、および カタログのご請求については、取り扱い店または最寄 りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所に ついては、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、操作方法について のお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00(土日、祝日除く)	ー 0120-108-11/ ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供すること があります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ https://www.toa.co.jp/